

# 尼崎市社会福祉協議会 地域福祉推進計画

2022年(令和4年)4月～2027(令和9年)年3月

## 社協は ほっとき ません!

### 【地域福祉推進計画とは】

子どもも、高齢者も、障がいのある人も、誰もが住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられる地域づくりを目指し、尼崎市と連携した地域住民が主体となった地域福祉活動の取り組みをすすめていくために民間の立場から策定した活動計画です。

社協イメージ  
キャラクター  
あまりん





# 目 次

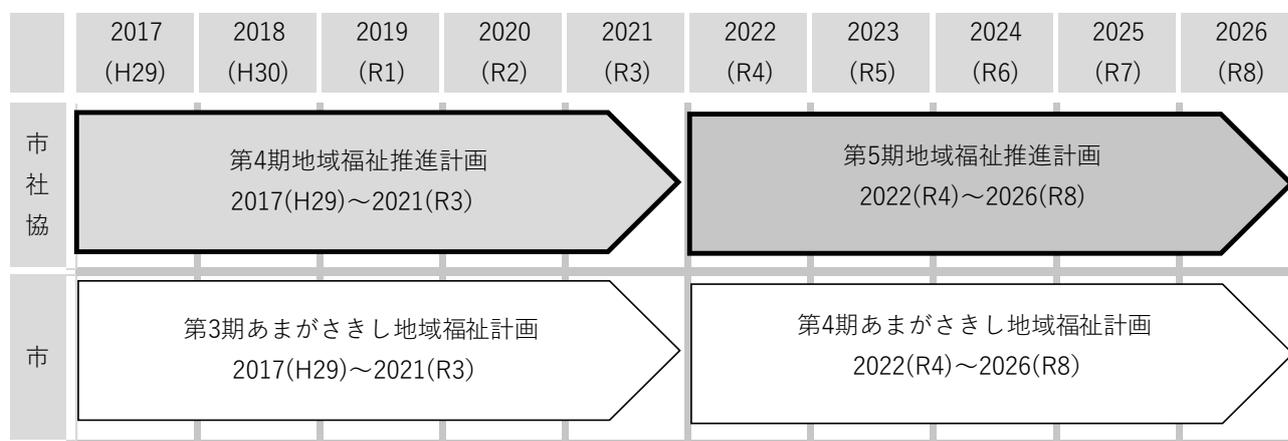
---

|                                         |    |
|-----------------------------------------|----|
| 第1章 地域福祉推進計画とは                          | 1  |
| 1. 地域福祉推進計画策定の趣旨                        |    |
| 2. 地域福祉推進計画とは                           |    |
| 3. 地域福祉をめぐる動向と課題                        |    |
| 4. 尼崎市について                              |    |
| 5. 第4期計画の評価と課題                          |    |
| 第2章 地域福祉をすすめるために                        | 17 |
| 1. 地域福祉推進計画でめざすこと                       |    |
| 2. 各基本目標の方向性                            |    |
| 基本目標1 誰でも気軽に相談できる場をつくる                  |    |
| 基本目標2 地域で安心して暮らすための地域福祉活動をひろげる          |    |
| 基本目標3 みんなが支えあえるつながりづくりをすすめる             |    |
| 3. 地域福祉をすすめるネットワークの展開イメージ               |    |
| 第3章 計画の推進体制と進行管理                        | 65 |
| 1. 計画の推進体制                              |    |
| 2. 計画の進行管理                              |    |
| 3. 評価の方法                                |    |
| 4. 成果目標の設定                              |    |
| 参考資料                                    | 68 |
| 1. 用語説明                                 |    |
| 2. 地域福祉推進計画策定にかかるアンケート調査等結果             |    |
| 「地域福祉活動に関するアンケート調査」・「地域福祉活動団体に対するヒアリング」 |    |
| 3. 策定委員会設置要綱                            |    |
| 4. 策定委員会委員名簿、専門部会部会員名簿                  |    |
| 5. 委員会等開催状況                             |    |

# 第1章 地域福祉推進計画とは

## 1 地域福祉推進計画策定の趣旨

- わが国では少子高齢化や核家族化の急激な進行により、「無縁社会」に象徴されるように、地域社会における人間関係の希薄化がすすむなかで、既存の制度やシステムだけで対応できない課題が発生し、新たな対応が更に必要となっています。
- 尼崎市社会福祉協議会(以下、「市社協」という。)は、尼崎市における地域福祉を推進する中核として、地域でのコミュニティ<sup>(注)</sup>活動を基盤に、各種の地域福祉事業を展開しています。
- 尼崎市はこれまで『市社協は、地域福祉の推進を目的とした社会福祉法人であるとともに、地域の団体の多くを構成組織としている尼崎市における最大の自治組織という強みを活かし、地域の様々な課題を発見し、地域と様々な主体をつなげ、連携して課題解決に向けた協働の取り組みを広げている』と位置付けています。  
また、市社協は、こうした地域福祉活動に関するノウハウ等をもとに、これまでも尼崎市への提言、提案や先駆的な取り組みを行っており、こうした取り組みが一層、期待されています。
- 以上のことを踏まえ、2017(H29)年度に策定した第4期「市社協地域福祉推進計画」に掲げた基本理念、基本方針を踏襲しつつ、近年の社会経済情勢の変化や、それに伴う新たな課題に対応し、計画的・総合的に地域福祉の推進を図るため、これからの地域福祉活動の基本方針となる第5期「市社協地域福祉推進計画」を策定します。



地域福祉推進計画のあゆみ

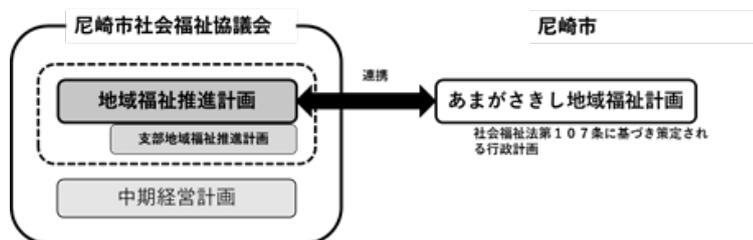
(注)の表記のあるものは P69 以降の用語説明参照

## 2 地域福祉推進計画とは

### (1) 計画の性格と位置づけ

- 本計画は、尼崎市が策定した「あまがさきし地域福祉計画」と連携しながら、住民が主体となった地域における福祉活動の取り組みをすすめていくための方策や、尼崎市における地域福祉を推進するためのしくみづくりについて、民間の立場から具体的な活動について策定する計画です。
- 市社協の組織と経営の強化、安定的な財源の確保、人材の確保と育成等の内容が含まれている「市社協中期経営計画」とも連動をとりながら、すすめていきます。
- 「支部地域福祉推進計画」(P 48～P 54)は、各支部で地域のありたい姿を住民と共有しながら、各地域の強み・弱みについて意見交換を行いながら策定した支部の活動指針となるもので、これに基づいて、毎年度の支部事業計画が策定されます。
- 「あまがさきし地域福祉計画」と「市社協地域福祉推進計画」の関係は、「地域福祉計画」が社会福祉法第107条に基づき策定される行政計画に対し、「地域福祉推進計画」は地域福祉を推進する市社協が当事者、住民、関係機関、関係団体等の民間の具体的な活動・行動計画として策定する計画です。それぞれは独立した計画ですが、尼崎市における地域福祉推進の理念や方向性、課題を共有しながら、それぞれの取り組みにおいて、より連携を図るためのものとなっています。

地域福祉推進計画の位置づけ



### <参考> ◆地域福祉とは

地域福祉の目的は、高齢、障がい、その他のさまざまな事情から福祉サービスを必要とするようになってくると、これまで作りあげてきた家族、友人、知人との関係を保ち、文化やスポーツ、芸術、趣味などの社会的な活動に参加できることで、誰もが自分らしく、誇りをもって、まちの一員として普通の生活を送ることができるようになることです。

地域福祉をすすめるためには、在宅での暮らしを支援するいろいろな福祉サービスを整備することに加え、地域の人々の結びつきを深めるために助けあいや交流活動を盛んにすること、道路、公園、商店街などを誰もが利用しやすいものとするなどが、とても大切です。

地域福祉の実現には、一部の福祉関係の専門機関だけでなく、ボランティア活動やまちづくりに取り組む市民の方々、保健・医療、住宅、建設、商工業にたずさわるさまざまな専門家、団体の方々など、多くの人の協力が必要です。

(全国社会福祉協議会地域福祉・ボランティア情報ネットワークホームページより)

### 3 地域福祉をめぐる動向と課題

#### (1) 人口減少・少子高齢化の進行と人生100年時代の到来

全国的に少子高齢化・人口減少が急速に進行しています。わが国の人口は2008(H20)年の1億2,808万人をピークに減少局面に入り、2053(R35)年には、1億人を割って9,924万人となる予測です(国立社会保障・人口問題研究所 2017(H29)年推計)。

人口減少により多くの地域では社会経済の担い手の減少を招き、地域の活力や持続可能性を脅かす課題を抱えています。

さらに、今後は「現役世代の急減」という局面を迎えることとなり、社会の活力維持向上をどのように図るかが重要課題となっています。

また、2025(R7)年には、戦後まもない第一次ベビーブーム期に生まれた、いわゆる”団塊の世代”が後期高齢者(75歳以上)の年齢に達し、医療や介護などの社会保障費の急増が懸念されるため、国ではさまざまな方針を立てて都道府県や地方自治体に対策を呼びかけています。一方で、平均寿命・健康寿命が延伸し、人生100年時代が到来するともいわれています。元気な高齢者が地域の担い手として活躍することが期待され、そのしくみづくりが求められています。

#### (2) 人と人とのつながりの希薄化・地域からの孤立

地域では、暮らしにおける人と人とのつながりの希薄化などを背景として、地域・家庭・職場といった生活の様々な場において、支えあいの基盤が弱まってきています。支えあいの基盤が弱まることにより生じる社会的な孤立などが、虐待、ひきこもり、貧困などの問題に影響を与え、生活に困難を抱えながら誰にも相談できない、あるいは、適切な支援に結びつかないことにより、課題が深刻化しているケースが増えています。加えて、新型コロナウイルスの感染拡大による休校、休業、外出自粛は、子育て世帯や要支援・要介護者の世帯、不安定な雇用形態の人々等の生活を直撃し、経済的困窮や社会的孤立を深刻化させています。このような状況の中、地域社会の中で誰もが孤立せずに、その人らしい生活を送ることができるよう、新しい生活様式に対応した地域福祉の推進方法を模索することに加えて、人と人とのつながりを再構築し、地域社会全体を支えていくことが、これまでも増して重要となっています。

### (3) 暮らしていくうえでの課題の複雑化・複合化

高齢化や単身世帯の増加、社会的孤立などの影響により、人々が暮らしていくうえでの課題は、様々な分野の課題が絡みあって「複雑化」し、また、個人や世帯において複数の分野にまたがる課題を抱えるなど「複合化」しています。

例えば、高齢の親が、外部との接触がほとんどなく収入も少ない中高年の子どもを支える家庭で、生活困窮と介護等が同時に生じる問題(8050問題)や介護と育児に同時に直面する世帯(ダブルケア)の課題など、解決が困難な課題が浮き彫りになっています。これらは、介護保険制度、障がい者施策、子ども・子育て支援制度など、単一の制度のみでは対応が困難な課題であり、対象者別・機能別に整備された公的支援もこれらの課題を世帯としてとらえ、複合的に支援していくことが必要とされています。

### (4) 「地域共生社会」の実現に向けた国の動き

こうした背景のもと、国は、2016(H28)年7月に『「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部』を設置し、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域の住民や多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく「地域共生社会」の実現を目指しています。

また、地域共生社会の実現に向けた改革の一環として、2017(H29)年5月に「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」により、社会福祉法が改正され、市町村による地域住民と行政などとの協働による包括的支援体制作り(第106条の3)、福祉分野の共通事項を記載した地域福祉計画の策定が努力義務化されました。(第107条)さらに、市町村において、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、①「断らない相談支援」、②参加支援、③地域やコミュニティにおけるケア・支えあう関係性の育成支援を一体的に実施する新たな事業が創設され、2021(R3)年4月から施行されています。(第106条の4)

## 4 尼崎市について

### (1) 尼崎市の概要

尼崎市は人口約45万人の中核市で、2016(H28)年に市制100周年を迎えた歴史ある都市です。

阪神圏域に属する尼崎市は、大阪平野の西部にあって、兵庫県の東南部に位置し、総面積50.72平方キロメートルの都市です。市域の東は神崎川、左門殿川を隔てて大阪市と、猪名川を挟んで豊中市と接し、北は伊丹市と、西は武庫川を境に西宮市と接し、南は大阪湾に面しており、南部に工業地域、中央部に商業地域、北部に住宅地が広がっています。

近世には尼崎城が築城され、大坂の西の備えの城下町として発展しました。明治維新により尼崎城も廃城となりましたが、産業・交通の発達など、徐々に近代化・都市化が進み、昭和期には阪神工業地帯の中核として、我が国の高度経済成長の一翼を担い、工業都市として発展してきました。その中で大気汚染・地盤沈下・水質汚濁といった深刻な公害問題にも直面しましたが、市民・事業者・行政の連携と粘り強い取り組みにより市内の環境は大きく改善され、2012(H24)年度には環境先進都市として、国から「環境モデル都市」に選定されました。2018(H30)年度には廃城から145年振りに再建された尼崎城がオープンしました。



本当に住みやすい街大賞2018in関西で第一位



ショッピングセンターや病院・公共施設等、生活に直結した施設が身近にあり、安心して暮らせます。

買い物施設が充実しており、遠くに行かなくても何でも揃います。

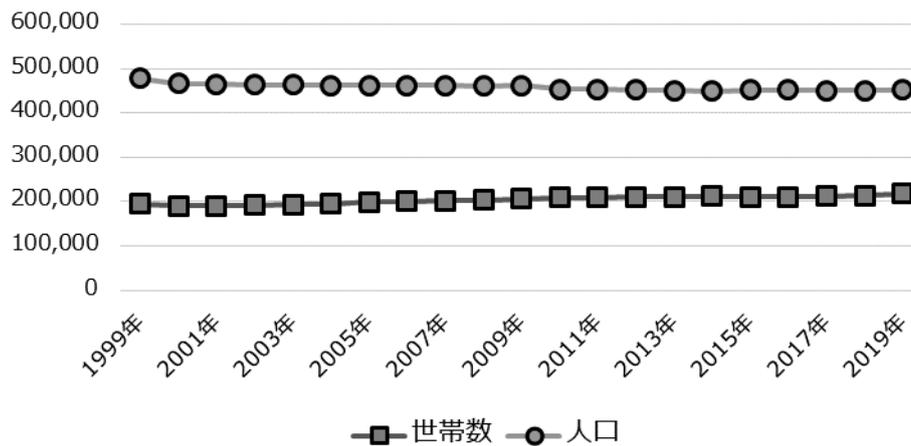
また、工業地帯が住宅地として大きく変貌を遂げたまちの今後の発展性や、優れた交通利便性などが高く評価され、平成30年には「本当に住みやすい街大賞2018in関西」でJR尼崎駅周辺が第一位に選ばれました。

## (2) 統計から見る尼崎市の状況

### ① 人口と世帯数の推移

1999(H11)年から比較すると人口は約2万6千人減少していますが、世帯数は約2万3千世帯増加しています。そのため、一世帯あたりの世帯人員が2019(R1)年では2.06人にまで減少しています。

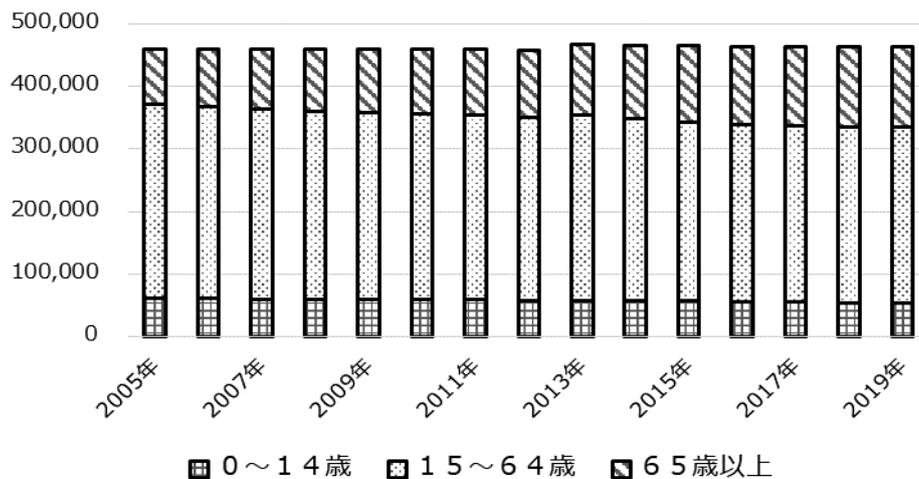
人口と世帯の推移 (尼崎市)



(資料 尼崎市統計書)

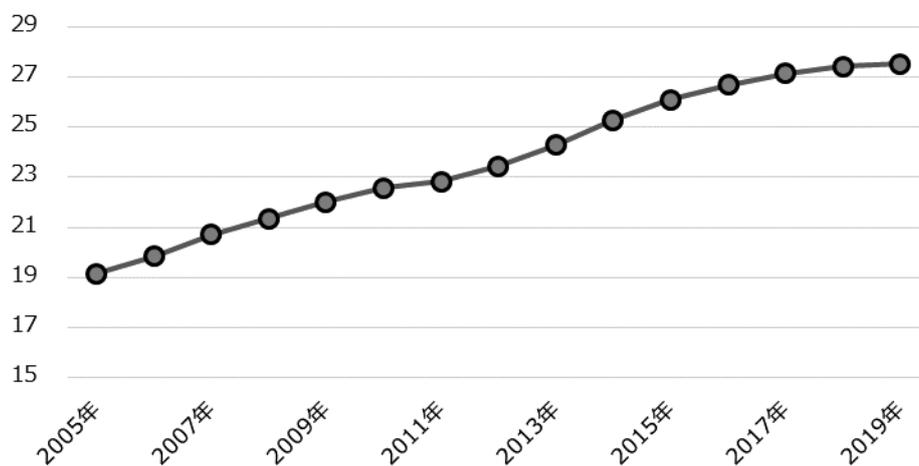
高齢者の人口が2005(H17)年と比較すると2019(R1)年では約1.4倍となっており、全市の高齢化率も2005(H17)年に19.2%であったものが、2019(R1)年には27.5%となっており、急激に高齢化がすすんでいます。

年齢別人口の推移 (尼崎市)



(資料 尼崎市統計書)

尼崎市高齢化率の推移

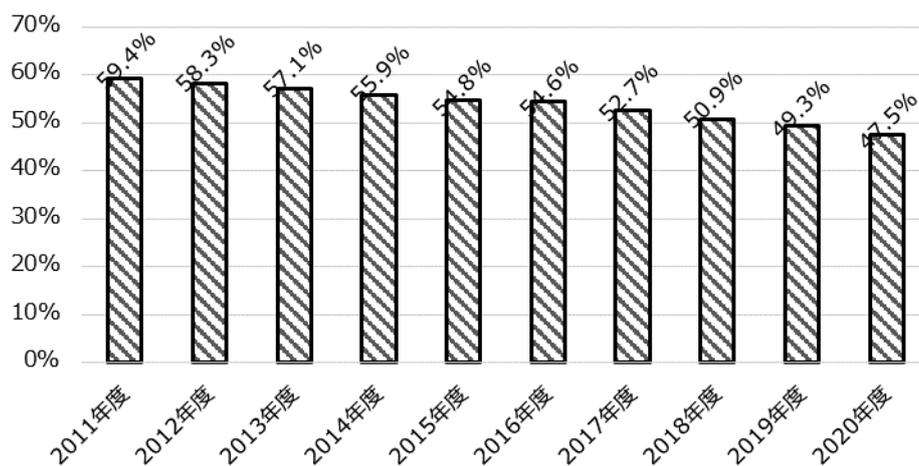


(資料 尼崎市統計書)

## ② 社会福祉協議会加入率の推移

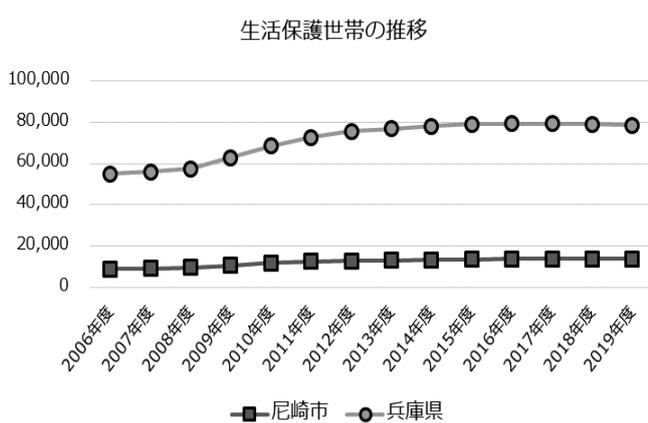
全国的な傾向でもあるコミュニティの希薄化は、尼崎市においても同様で、市社協(単位福祉協会<sup>(注)</sup>)の加入率が、2020(R2)年度においては、47.5%となっており、コミュニティ機能の低下が危惧されています。

尼崎市社会福祉協議会加入率の推移



### ③ 福祉課題の状況

雇用情勢の悪化により、これまで福祉に無縁であった世帯が福祉課題を抱えるようになり、生活保護世帯や生活福祉資金の貸付相談件数が増加しています。また、2020(R2)年3月から新型コロナウイルス感染拡大による生活への影響から新型コロナウイルス特例貸付(緊急小口資金等)を開始し、2020(R2)年度は27,249件(兵庫県下の相談の約10%、全国の相談の約1%)の相談がありました。

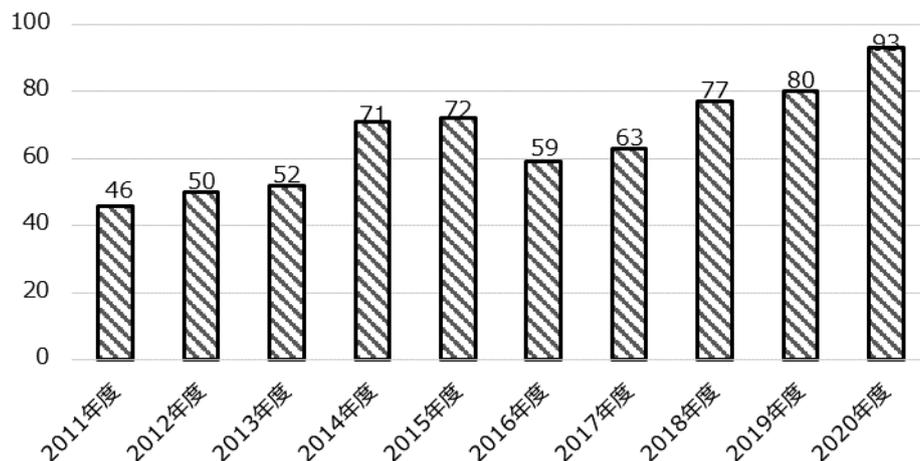


(資料 尼崎市統計書、兵庫県統計書)

※上記通常貸付に加え、2020(R2)年3月25日から新型コロナウイルス特例貸付(緊急小口資金等)開始(2019(R1)年度(2020(R2)年3月25日~3月31日)545件、2020(R2)年度 27,249件)

虐待や権利侵害など権利擁護<sup>(注)</sup>にかかる相談が増加しており、既存の制度やサービスでは対応できない課題が発生しています。

福祉サービス利用援助事業契約件数の推移



## 5 第4期計画の評価と課題

第4期地域福祉推進計画では、『みんなで、支えあい・助けあう地域づくりをすすめます』を基本理念とし、『社協はほっときません』を活動スローガンとして、基本理念の実現に向けて、次に掲げる4つの基本目標を柱に、それぞれの目標を達成するために取り組むべき項目を掲げました。

### 【基本目標1】誰でも気軽に相談できる場をつくる 〈見つける・受けとめる〉

- 推進項目Ⅰ 総合的な相談支援体制づくりをすすめます
- 推進項目Ⅱ 社会資源情報の収集と共有化をすすめます

### 【基本目標2】地域で安心して暮らすための地域福祉活動をひろげる 〈ささえあう〉

- 推進項目Ⅰ 多様な主体と地域住民が地域福祉活動に共に取り組めるしくみをつくりま
- 推進項目Ⅱ 様々な圏域（活動エリア）における地域づくりをすすめます
- 推進項目Ⅲ 支部機能の強化を図り、地域の多様なニーズに応えます

### 【基本目標3】みんなが支えあえるつながりづくりをすすめる 〈つなげる、つながる〉

- 推進項目Ⅰ 住民同士がつながる活動をすすめます
- 推進項目Ⅱ 様々な生活課題解決のために必要なネットワークづくりをすすめます

### 【基本目標4】みんなに頼られる元気な社協づくりをすすめる 〈支え育てる〉

- 推進項目Ⅰ 福祉協会の活動を支える会員確保のため加入促進をすすめます
- 推進項目Ⅱ 地域福祉活動のための安定的な財源を確保します
- 推進項目Ⅲ 災害時に備えた体制づくりをすすめます
- 推進項目Ⅳ 市社協の組織と経営を強化します

上記の基本目標及び推進項目の具体的な取り組みごとに成果を検証するとともに、昨今の主な社会情勢・変化をふまえ、次期計画に反映すべき課題について、次のとおり整理しました。

(1) 基本目標 1 誰でも気軽に相談できる場をつくる

| 取組成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 次期計画へ向けての課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>①相談窓口機能強化・拡充</b></p> <p>○2017(H29)年度から成年後見等支援センターを2カ所に拡大、また2018(H30)年1月から保健・福祉の窓口を市内6ヶ所で受託し、高齢者、障がい者分野など幅広い制度に対応できる相談体制の充実を図った。</p> <p><b>②課題解決機能の向上</b></p> <p>○地域福祉活動専門員をはじめとするむすぶグループ(支部事務局)が地域の身近な窓口として個別の相談・支援にあたるケースが増加した。また必要に応じて成年後見等支援センターや生活福祉資金貸付事業など、社協内部で連携を図った。</p> <p><b>③関係機関との連携</b></p> <p>○各地区に設置している地域福祉ネットワーク会議(協議体)を通じて、地域包括支援センターをはじめとする専門機関との連携を深め、相談対応につなげている。</p> <p><b>④相談事例蓄積の工夫と事例検討会の実施</b></p> <p>○定期的に職員内での事例検討、研修を実施し、相談対応等の専門性の向上を図った。</p> | <p>≪総合相談体制のより一層の強化、拡充≫</p> <p>○市社協は、身近な地域の相談窓口であるので、本来必要とする相談者に行きわたるよう、様々な手法で周知を図る必要がある。</p> <p>○個別支援ケースでは、必要に応じて市社協内部での連携を行ってはいるが、各事業で受けた相談は依然、その事業内で対応することが多い。今後、ますます複雑化・複合化した課題への対応が必要となることから、市社協内部でのより密な連携が必要となる。</p> <p>≪権利擁護支援の充実≫</p> <p>○成年後見等支援センター<sup>(注)</sup>では、市民後見人の養成をはじめ、成年後見制度<sup>(注)</sup>の利用をすすめてきたが、「成年後見制度利用促進基本計画」をふまえ、後見人への支援、制度の普及啓発など、成年後見制度の利用促進をすすめるための体制を検討する。</p> <p>○日常生活自立支援事業<sup>(注)</sup>は、契約件数が年々増加傾向にあるが、専門員も生活支援員も現在のケース対応に追われている。今後も必要な利用者が増えることが考えられるため、体制の充実を図る必要がある。</p> |

| 取組成果                                                                                                                                                                                 | 次期計画へ向けての課題                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>⑤地域で行っている活動や各種機関等の資源の把握</p> <p>⑥情報共有体制の充実と活動等の開発支援</p> <p>○地域の資源情報をグーグルマップを使用し、資源のマッピングを行い、市社協と地域包括支援センターがリアルタイムで情報を更新、確認ができるようにした。</p> <p>○地域活動への啓発、支援を実施しており、資源情報の把握数は増加した。</p> | <p>《地域資源情報の共有、活用》</p> <p>○グーグルマップで収集した資源情報は、尼崎市が新たに公開した地域情報共有サイト「あましえあ」<sup>(注)</sup>に発展的に統合したが、市社協としては、単なる情報の公開だけでなく、把握した情報の活用方法を検討していく必要がある。その一つとして、住民とともに作成している「わが町シート(地域診断シート)」<sup>(注)</sup>に反映させ、単なる情報としてではなく、地域ごとに必要な資源開発や取り組みの材料としていく必要がある。</p> |

(2) 基本目標2 地域で安心して暮らすための地域福祉活動をひろげる

| 取組成果                                                                                                                                                                                                                                   | 次期計画へ向けての課題                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>①担い手の育成・支援</p> <p>②学びを通じた地域課題への意識づくりの推進</p> <p>○ふれあいサロン<sup>(注)</sup>や居場所づくりを実施する活動者の交流の場を設け、困りごとや課題を話しあえる機会を作った。</p> <p>○地域活動への参加のきっかけとなるボランティア講座等を実施した。</p> <p>○住民同士が地域課題を話しあう場(地域福祉会議)の実施の働きかけを行ったことで、地域の困りごとを話しあう場が増えてきている。</p> | <p>《担い手の育成・支援》</p> <p>○地域活動の担い手の高齢化等により、活動の継続が難しくなっているため、新たな担い手の発掘への支援が必要である。</p> <p>《福祉学習<sup>(注)</sup>の推進》</p> <p>○ボランティアセンターでは各種講座、福祉学習の実施等を行っているが、登録グループ数・登録者数は担い手の高齢化等により年々減少している。活動のきっかけとなるボランティア講座を今まで以上に行い、担い手の確保を図る。また、学校と取り組んでいる福祉学習の充実を図り、子どもたちが地域福祉活動に興味をもつきっかけづくりを支援していく。</p> |

| 取組成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 次期計画へ向けての課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>③地域の課題解決に向けた多様な専門機関・団体との協働の推進</b></p> <p>○地域福祉ネットワーク会議(協議体)を設置し、会議メンバーとともに、各地区で、テーマを設定し、事業の実施だけでなく、地域課題の解決にも取り組んだ。</p> <p><b>④居場所づくりの推進・支援</b></p> <p><b>⑤災害時に助けあえる顔の見える関係づくり</b></p> <p>○交流、健康づくりなど住民の関心の高いテーマにあわせ、居場所づくりの立ち上げを推進し、交流の場が増加した。</p> <p>○市内の複数の NPO 法人と協力し、尼崎こども食堂ネットワークを立ち上げ、こどもの居場所であるこども食堂に対して、研修の実施や食材、助成金等の情報提供を行った。</p> <p>○コープこうべと協定を結び、希望するこども食堂に対して定期的に食材提供を実施した。</p> <p>○各老人福祉センターでは、ひきこもりがちな高齢者を対象とした「元気づくり工房」など、介護予防事業を実施した。</p> <p>○高齢者等見守り安心事業は市内 46 地区(2020(R2)年度末現在)まで広がった。このような訪問型の見守りだけでなく、つどい場での見守り活動など、地域にあわせた見守り活動も増えている。</p> | <p>≪ 地域福祉活動再開・継続にむけた啓発・支援 ≫</p> <p>○コロナ禍でつどい場などの実施が難しくなっているが、ひきこもりや孤立を深めないためにも、‘ポストコロナ’<sup>(注)</sup>の社会にあわせて、居場所等を安心して実施できる方策などを住民とともに考えていく必要がある。</p> <p>≪ 場づくりへの支援 ≫</p> <p>○訪問型の見守り活動だけでなく、つどい場型の見守り、また圏域にこだわらない見守り活動など、地域の実情にあわせた活動を提案し、住民同士の支えあい活動を推進する。</p> <p>○高齢者等見守り安心事業は、社会福祉連絡協議会<sup>(注)</sup>(以下、「連協」という)圏域で新たに活動を始めることが年々難しくなっている。また現在活動中の地区についても事業継続が難しい地区が出てきているため、継続のための支援が必要となっている。</p> <p>○こども食堂や地域食堂、学習支援等のこどもの居場所が尼崎市内で増加しているが、コロナ禍で集まったの事業が難しくなった影響もあり、継続した事業実施について課題を抱えるグループもあることから、事業への支援について検討していく必要がある。また、子どもに関する個別相談の対応も増えてきていることから、子ども・子育て世帯への支援、市社協の役割を検討する必要がある。</p> |

| 取組成果                                                                                                                                                                                                          | 次期計画へ向けての課題                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>⑥ ささえあい地域活動センターむすぶ(以下、「むすぶ」という)<sup>(注)</sup>の設置・推進</p> <p>⑦ 支部地域福祉推進計画の推進</p> <p>○各支部事務局を「むすぶ」とし、地域活動の担い手の登録やコーディネート、講座の開催等、地域福祉活動の推進を行った。</p> <p>○「むすぶ」では、新たな担い手の登録だけでなく、既存の活動の掘り起こしや、継続のための支援を実施した。</p> | <p>≪「むすぶ」の機能の充実≫</p> <p>○むすぶ登録者と地域活動のマッチングをさらにすすめていくことで、地域活動の新たな担い手の確保や活動の立ち上げ、継続を支援する。</p> <p>≪支部地域福祉推進計画の推進≫</p> <p>○支部地域福祉推進計画を策定することにより、より住民の声にあわせた地域づくり、活動支援を実施していく。</p> |

(3) 基本目標3 みんなが支えあえるつながりづくりをすすめる

| 取組成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 次期計画へ向けての課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>① 住民主体のつながりの場づくりの拡大</p> <p>② 住民主体の地域福祉活動への支援</p> <p>③ 担い手の確保のための登録制のしくみづくり</p> <p>○交流、健康づくりなど住民の関心の高いテーマにあわせ、居場所づくりの立ち上げを推進し、居場所が増加した。</p> <p>○市社協が実施する研修・講座において、既存の地域活動への参加、「むすぶ」への登録を呼びかけた。</p> <p>○ボランティアセンターではコロナ禍において従来のボランティア活動が難しくなったため、衛生面への注意喚起だけでなく、ICTを活用した新たな講座の実施やICTに苦手意識をもつ方を対象に使い方講座の実施など、ボランティア活動のサポートを行った。</p> | <p>≪場づくりへの支援≫</p> <p>≪「むすぶ」の機能の充実≫</p> <p>○つながりの場は地域にあわせて様々な活動の広がりを見せているが、継続していくことに不安を感じている活動者が多いため、新規の立ち上げ支援だけではなく継続のための支援にも力を入れなければならない。</p> <p>○コロナ禍で従来のボランティア活動の継続が難しくなっているが、引きこもりや孤立を深めないためにも、「ポストコロナ」の社会にあわせて、ICT化も含めた新たなボランティア活動の方法や内容を検討していく必要がある。また施設等のボランティアの受入れ側にも、活動への理解を深めてもらえるよう働きかけが必要である。</p> |

| 取組成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 次期計画へ向けての課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>④ 専門機関・団体との連携</p> <p>⑤ 地域と関係機関・専門職をつなげるための仕組みづくり</p> <p>⑥ 制度の谷間や狭間への対応</p> <p>⑦ 住民相互の助けあい活動の支援</p> <p>○むすぶグループ（支部事務局）と地域包括支援センターをはじめとする各専門機関、住民等と地域福祉ネットワーク会議（協議体）で地域の様々な福祉課題について検討をすすめ、ともに取り組みを実施した。また、このネットワークへの参加を各機関に呼びかけ、拡充を行ってきた。</p> <p>○尼崎市民間社会福祉施設連絡協議会において、社会福祉法人が公益的な取り組みを実施する「ほっとかへんネット尼崎」を立ち上げた。</p> <p>○ちょっとした困りごとに対応する生活支援ボランティア活動グループの立ち上げ支援を行った。</p> | <p>≪ 地域福祉ネットワーク会議（協議体）等の充実も含めた専門機関との更なる連携 ≫</p> <p>○地域福祉ネットワーク会議（協議体）において、取り組みテーマを決め、事業実施や地域課題への対応をすすめているが、今後、複雑化・複合化した課題への対応が求められるため、より一層連携を深め、ともに考えていくことができるよう関係を構築する。</p> <p>○尼崎市民間社会福祉施設連絡協議会は、現在、45 社会福祉法人の加入にとどまっており、地域における公益的な取り組みの推進を行うために、社会福祉法人への加入促進をすすめる必要がある。また、どのような取り組みができるのか検討し、実施していく必要がある。</p> <p>○生活支援ボランティア活動の実施グループが立ち上がっているが、市内での立ち上げグループはまだ少ないため、さらに立ち上げの支援を行っていく必要がある。</p> |

（４）基本目標４ みんなに頼られる元気な社協づくりをすすめる

| 取組成果                                                                                                   | 次期計画へ向けての課題                                                                                                                   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>① 福祉協会の活動を支える会員の拡大</p> <p>② 情報発信のための取り組み強化</p> <p>○地域での取り組み事例を紹介するなど、地域活動について、機会をとらえて住民に周知を行った。</p> | <p>≪ 地域コミュニティの基盤づくり ≫</p> <p>○市社協の加入率は年々減少しているが、アンケートでも市社協の活動について「知らない」と回答している割合も高いため、活動の効果的な周知を検討しながら、加入促進に取り組んでいく必要がある。</p> |

| 取組成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 次期計画へ向けての課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○ホームページをリニューアルし、情報発信を行った。</p> <p>○文字の情報発信だけでなく、介護予防体操などの動画の配信を実施した。</p> <p><b>③自主財源の安定確保</b></p> <p><b>④地域福祉活動推進のための介護保険事業</b></p> <p><b>⑤地域福祉活動推進のための市補助・受託事業の展開</b></p> <p>○市社協の組織体制、事業運営について協議する経営会議を設置し、中期経営計画を策定し、進捗についても協議した。</p> <p>○介護保険事業のサービス提供体制を見直し、訪問介護事業の事業所を2か所から1か所に集約するなど、事業改善策を実施した。</p> <p>○市補助金の算定額について尼崎市と協議し、一部の補助金において増額が図れた。</p> <p><b>⑥事業継続計画(BCP)<sup>(注)</sup>の策定、災害発生時に対応できる体制づくり</b></p> <p>○災害時における事業継続計画(BCP)を策定した。</p> <p>○災害ボランティアネットワーク連絡会の在り方について見直し、日頃からの連携を強化し、参画団体とともに各種の研修や災害ボランティアセンター<sup>(注)</sup>の運営訓練を実施した。</p> | <p>《<b>広報の充実</b>》</p> <p>○回覧等の従来の情報伝達手段と若年層にあわせたSNS<sup>(注)</sup>等の活用など、情報を送りたい相手に合わせた効果的な発信が必要となっている。</p> <p>《<b>中期経営計画との整合性</b>》</p> <p>○市社協の財源確保については、地域福祉活動の推進のためにも重要な課題となっているが、中期経営計画をもとに事業改善、尼崎市との協議がすすめられている段階のため、中期経営計画との整合性を考慮しながら検討する必要がある。</p> <p>《<b>災害時対応をみすえた体制づくり</b>》</p> <p>○今後はBCPの運用訓練を実施する必要がある。</p> <p>○災害ボランティアネットワーク連絡会参画団体と訓練を重ねたことにより、団体の意識は高まったが、実際に被災地で活動をした経験のある職員が少ないため、いざという時の対応が可能な限り円滑にできるよう日頃の意識づけが必要である。</p> |

| 取組成果                                                                                                                                                                                                                   | 次期計画へ向けての課題                                                                                                                                                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>⑦安定して事業を推進できる職場づくり</p> <p>⑧職員の専門性確保のための人材育成</p> <p>⑨事務局体制の強化</p> <p>○就業規則の一部改正を行い、ヘルパー等の人材の確保等を実施した。</p> <p>○職員の知識やスキルの向上のため、外部研修への参加をすすめた。</p> <p>○むすぶグループ(支部事務局)が中心となりながら、市社協全体が横のつながりを持ち、事業展開できるように組織改編を行った。</p> | <p>《中期経営計画との整合性》</p> <p>○職員の資質向上は、地域福祉活動をすすめていくためにも必要不可欠であることから、中期経営計画との整合性もはかりながら人材育成について検討する必要がある。</p> <p>○組織改編を行い、横断的な組織とすることで、複雑化・複合化する課題に市社協として取り組める体制を構築した。市社協全体として、新たな組織を実効性の高いものにできるよう展開していく。</p> |

## 第2章 地域福祉をすすめるために

### 1 地域福祉推進計画でめざすこと

| 基本理念                                     | スローガン | 基本目標                                             | 推進項目（●取組項目）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------------------------------------------|-------|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| みんなで支えあい・助けあう地域づくりをすすめます<br>社協は ほっときません！ |       | <b>基本目標1</b><br>誰でも気軽に相談できる場をつくる（みつける、うけとめる）     | 1 総合的な相談支援体制づくりをすすめます<br>●総合相談窓口機能の強化・拡充 <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">重層的</span><br><br>2 社会資源情報の収集と共有化をすすめます<br>●社会資源情報の活用<br><br>3 社協の広報を充実させます（社協の魅力を伝えます）<br>●市社協の広報戦略の構築 ●SNS等を活用した広報や事業の取組                                                                                                                                                                 |
|                                          |       | <b>基本目標2</b><br>地域で安心して暮らすための地域福祉活動をひろげる（ささえあう）  | 1 多様な主体と地域住民が地域福祉活動に共に取り組めるしくみをつくります（人づくり）<br>●担い手の育成・支援 ●地域福祉活動再開・継続に向けた啓発・支援<br>●福祉学習の推進 ●地域コミュニティの活動基盤の強化<br><br>2 誰もが安心して暮らすことができる地域づくりをすすめます（場づくりなど）<br>●住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくりの推進・支援（場づくり）<br>●災害時をみすえた体制づくり●子ども子育て支援活動の推進 <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">重層的</span><br><br>3 地域の多様なニーズに応えるために、むすぶ機能の充実を図ります<br>●ささえあい地域活動センターむすぶの機能強化<br>●支部地域福祉推進計画の推進 |
|                                          |       | <b>基本目標3</b><br>みんなが支えあえるつながりづくりをすすめる（つなげる、つながる） | 1 様々な生活福祉課題解決のために必要な専門機関・団体のネットワークの充実を図ります <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">重層的</span><br>●地域福祉ネットワーク会議（協議体）等の充実<br>●複雑化・複合化した課題への対応や地域づくりの継続と更なる展開<br><br>2 権利擁護支援の充実を図ります<br>●成年後見等支援センター機能の充実等                                                                                                                                                                    |

重層的

重層的支援体制整備事業

## 2 各基本目標の方向性

### 【基本目標1】誰でも気軽に相談できる場をつくる

#### 【みつける、うけとめる】

##### 方向性のポイント

- 高齢者、障がい者等、属性や世代を問わず、住民が困ったときに相談できる窓口が必要です。さらに埋もれがちな様々な課題を発見しつなぐための相談支援体制が必要です。
- 個別支援あるいは地域活動にかかる相談に的確に対応していくためには、これまで続けてきた社会資源情報の収集の継続とその資源を関係機関、住民にも共有化し活用してもらうことが重要です。そして、場合によっては新たな社会資源の開発支援といったことも必要です。
- 誰でも気軽に相談できる市社協になるためには、市社協のことや、市社協の活動をもっと伝えていく必要があります。

### 【基本目標2】地域で安心して暮らすための地域福祉活動をひろげる

#### 【ささえあう】

##### 方向性のポイント

- 地域では、様々な地域福祉活動が展開されています。これらは、地域で安心して暮らすための支えあい活動です。しかしながら、今後の担い手不足などの課題に加え、新型コロナウイルス感染症の広がりなどにより、継続した活動が難しくなるなど、新たな課題も生じています。担い手の育成、地域福祉活動の再開・継続に向けた取り組みへの支援が必要です。
- 子どもから高齢者まで住民一人ひとりの困りごとを考えてもらうきっかけとして、学校で取り組む福祉学習や、学校と地域がともに力を合わせて取り組む福祉学習を、尼崎市地域課<sup>(注)</sup>・学校と連携してすすめる必要があります。

- 単位福祉協会への加入促進の取り組みは継続して実施されていますが、地域コミュニティの重要な基盤であることを再認識し、これまでの取り組みに加えて、会員ではない住民に対するイベント等を通じた、ゆるやかな参加・協力から地域活動につなげる新たな取り組みを検討する必要があります。
- 今般、全国的に様々な災害が発生しており、ふだんから住民同士の顔の見える関係づくり、災害に備える体制を整えることも地域で安心して暮らすために欠かせません。
- これまでも市社協は子ども・子育て支援に取り組んできましたが、子ども・子育て家庭がより安心して暮らせる地域づくり、児童虐待や子どもの孤立を防ぐ取り組みなどをさらにすすめる必要があります。
- 制度の谷間・狭間の課題を抱えた人が地域の中で孤立せず、困ったときには「助けて」と言え、それを地域で受けとめ、支え見守るといった地域福祉活動を広げていく必要があります。そのために、学びを通じた地域課題への意識づくりや「支える」「支えられる」という一方的な関係ではない「支えあい」の意識を育み、地域福祉を担う、担い手の育成・支援が必要です。
- そのためには、いかに多くの住民が地域活動へ参加するかにかかっており、「むすぶ」を中心に様々な圏域(活動エリア)においての支えあいの地域づくりをすすめていく必要があります。

### 【基本目標3】 みんなが支えあえるつながりづくりをすすめる

---

#### 【つなげる、つながる】

---

##### 方向性のポイント

- 住民だけでは解決できない生活福祉課題については、住民、民生児童委員、関係団体等、幅広い地域関係者が協働し、専門職や専門機関などとも連携し、解決に導くためのしくみづくりが求められます。
- 複雑化・複合化した課題に対応していくには、行政機関、専門機関、地域とともに本人に寄り添いながら支援していく必要があります。
- 成年後見等支援センターは、これまで尼崎市における権利擁護の中心として活動してきましたが、さらにネットワークの充実や中核機関としての取り組みをすすめていく必要があります。

## 複雑化・複合化した課題への対応について

重層的

- 市社協は、これまで、市内6か所のむすぶグループに配置された地域福祉活動専門員(生活支援コーディネータ兼務)の12名を中心として、市内のどの機関よりも早く属性、世代、内容を問わない包括的な総合相談に取り組んできました。
- 市社協は、地域社会からの孤立を防ぐとともに、地域における世代の交流や多様な活躍の場を確保する地域づくりにも取り組んできました。
- 尼崎市においては、2022(R4)年度から包括的・総合的な相談支援の充実をすすめ、複雑化・複合化した課題を含めた重層的支援体制を整備しようとしています。
- 市社協としては、これは今までの市社協の取り組みと大きく異なるようなものではなく、現在の取り組みの延長線上にあり、複雑化・複合化した課題に対しての各分野の行政等の機関との連携がより円滑になるものと期待するとともに、市社協としての公的な責任を自覚しながら積極的に参画していくものです。

## SDG s (エス・ディー・ジーズ) への取組について

- SDG sとは、2015(H27)年9月の国連サミットで採択された2030(R12)年を期限とする、先進国を含む国際社会全体の開発目標で、持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットで構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。
- この取り組みは、国、県においてもすすめられ、尼崎市においても「総合計画」を推進することでSDG sの達成を目指しています。
- SDG sの理念である「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指す」と市社協地域福祉推進計画の理念「みんなで支えあい、助けあう地域づくりをすすめます」はその理念を共有していると考え、市社協は、特に福祉的な側面からSDG sを推進していきます。(第2章の基本目標ごとに関連するアイコン(P21参照)を付けています。)

【SDGs 17の目標】

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



| 目標   | 各目標のテーマ             | 目標    | 各目標のテーマ           |
|------|---------------------|-------|-------------------|
| 目標 1 | 貧困をなくそう             | 目標 10 | 人や国の不平等をなくそう      |
| 目標 2 | 飢餓をゼロに              | 目標 11 | 住み続けられるまちづくりを     |
| 目標 3 | すべての人に健康と福祉を        | 目標 12 | つくる責任 つかう責任       |
| 目標 4 | 質の高い教育をみんなに         | 目標 13 | 気候変動に具体的な対策を      |
| 目標 5 | ジェンダー平等を実現しよう       | 目標 14 | 海の豊かさを守ろう         |
| 目標 6 | 安全な水とトイレを世界中に       | 目標 15 | 陸の豊かさを守ろう         |
| 目標 7 | エネルギーをみんなに、そしてクリーンに | 目標 16 | 平和と公正をすべての人に      |
| 目標 8 | 働きがいも 経済成長も         | 目標 17 | パートナーシップで目標を達成しよう |
| 目標 9 | 産業と技術革新の基盤をつくろう     |       |                   |

# 1

## 誰でも気軽に相談できる場をつくる (みつける、うけとめる)



### 推進項目 1 「総合的な相談支援体制づくりをすすめます」

#### ■現状と課題

- ささえあい地域活動センターむすぶや南北成年後見等支援センター等に総合的な相談支援体制を整備し、相談機能の拡充がなされるとともに住民の様々な生活福祉課題の把握に努めています。
- 相談について必要に応じて市社協内部および関係機関との連携を図ってはいますが、それぞれの範囲で対応することもまだ多く、より一層の連携を図っていく必要があります。
- 生活福祉課題は複雑化・複合化がすすんでおり、単一の相談窓口や支援だけでは、充分に対応できないケースも増加しています。

#### ■めざす姿（ありたい姿）

いろいろな人から寄せられる様々な生活福祉課題の相談をいったん「受けとめ」、市社協内部のみならず各関係機関と連携を図り、必要に応じて重層的支援体制整備事業における多機関協働事業<sup>(注)</sup>と連携して、課題解決に向けた支援を行います。

#### ■取組項目

##### ① 総合相談窓口機能の強化・拡充

| 具体的な取組                                                       | 事業概要                                                                                                        | 担当           |
|--------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 属性・世代を問わない相談の実施(包括的相談支援事業 <sup>(注)</sup> に準ずる)<br><b>重層的</b> | ・むすぶグループをはじめとする各窓口で、属性や世代を問わない、包括的な相談を実施する。                                                                 | 全            |
| 「(仮)なんでも相談窓口」 <sup>*1</sup> の設置                              | ・地域振興センター内に「(仮)なんでも相談窓口」の看板を掲げ、「むすぶ」と尼崎市地域課が協働して相談対応を行う。<br>・「むすぶ」以外の各市社協窓口でも、「(仮)なんでも相談窓口」と同様に様々な相談の対応を行う。 | むすぶグループ<br>他 |
| 課題解決支援に向けた各関係機関との連携・協働<br>(多機関協働事業との連携)<br><b>重層的</b>        | ・複雑化複合化された困難事例で各機関が協働して対応すべき事例の場合は、多機関協働事業と連携して課題解決に向けた支援を行う。                                               | 全            |

|                      |                                                                      |   |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------|---|
| (市社協内)検討会議の開催        | ・相談内容が部をまたがるような事例、調整が必要な事例、共有すべき事例の場合、必要に応じて検討会議を開催し、支援について検討する。     | 全 |
| 相談事例の蓄積の工夫と事例検討会等の実施 | ・全ての窓口で統一様式での相談事例の蓄積を行う。<br>・相談対応スキルの向上を図るため、困難事例を中心に事例検討会や研修会を開催する。 | 全 |

※1「学びと活動が循環する地域づくり」を目指す尼崎市の組織である地域課と福祉のまちづくりを目指す市社協が地域での一体的な総合相談体制を目指し窓口を設置する。

### ■取組のスケジュール

| 具体的な取組                 | 2022年度          | 2023年度 | 2024年度        | 2025年度 | 2026年度 |
|------------------------|-----------------|--------|---------------|--------|--------|
| 属性・世代を問わない相談の実施        | 実施              |        | 振り返り<br>実施    | 実施     |        |
| (仮)なんでも相談窓口の設置         | 検討<br>設置        |        | 検証            | 検証結果反映 |        |
| 課題解決支援に向けた各関係機関との連携・協働 | 開始              |        | 振り返り<br>改善点抽出 | 改善点報告  | 実施     |
| (市社協内)検討会議の開催          | 会議の開催           |        | 検証            | 検証結果反映 |        |
| 相談事例の蓄積の工夫と事例検討会等の実施   | 様式の検討<br>検討会の実施 | 様式の統一  | 実施            |        |        |

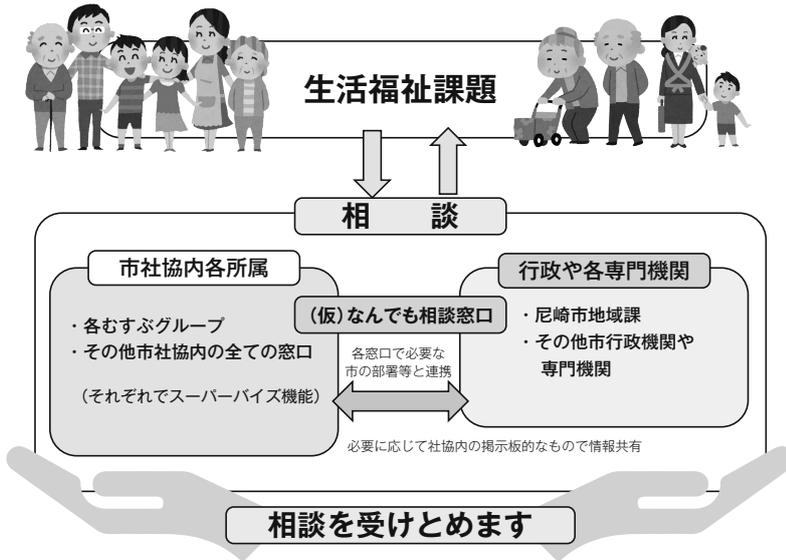
### ■活動目標

| 取組項目           | 活動目標      | 現在の姿(2020年度実績)                          | 目標 |
|----------------|-----------|-----------------------------------------|----|
| 総合相談窓口機能の強化・拡充 | 市社協への相談件数 | 18,113(その他 新型コロナウイルス<br>特例貸付相談 27,249件) |    |
|                | 検討会議の開催回数 | 未実施                                     |    |

### 【市社協の総合的な相談支援体制とは】

- どんな相談・ニーズもいったん受けとめる姿勢**
  - ・とにかく聞く／・相談対象を問わない(高齢、障がい等々) ※年齢、分野
  - ・制度サービスの有無にかかわらず、生活にかかるあらゆる課題へ対応
  - ・チェックシート(引継ぎシート)の作成&活用
- 本人と一緒に考える姿勢**
  - ・あなたの味方だよ
- 受けとめた課題は各所属内、または、市社協全体で一緒に考える**
  - ・むすぶグループ内等の検討会議、市社協内検討会議、グループウェアソフトによる事例共有
- 本人のライフステージに応じた長期的な展望をもつ**
  - ・日々の暮らしの中での問題の変化に寄り添う支援(介護問題、子どもの問題…)
- 本人を取り巻く環境を一体的に視野にいった相談・支援**
  - ・困りごとを抱える人が孤立することなく、支えられる地域づくり(気遣ってくれる人、支えが必要)
- 予防的な支援から継続的な支援までを踏まえた総合的支援**
  - ・直面する問題への支援だけでなく、今後予測される問題を未然に防ぐ支援
  - ・ニーズに合わせた支援活動の創出

# 尼崎市社会福祉協議会 総合相談のイメージ



**時間の流れ(例示)**

- 障がい児1人
- 海外赴任中の父親
- 母親の3人世帯

母親が妊娠。身重で子どもの学校への送迎が困難。

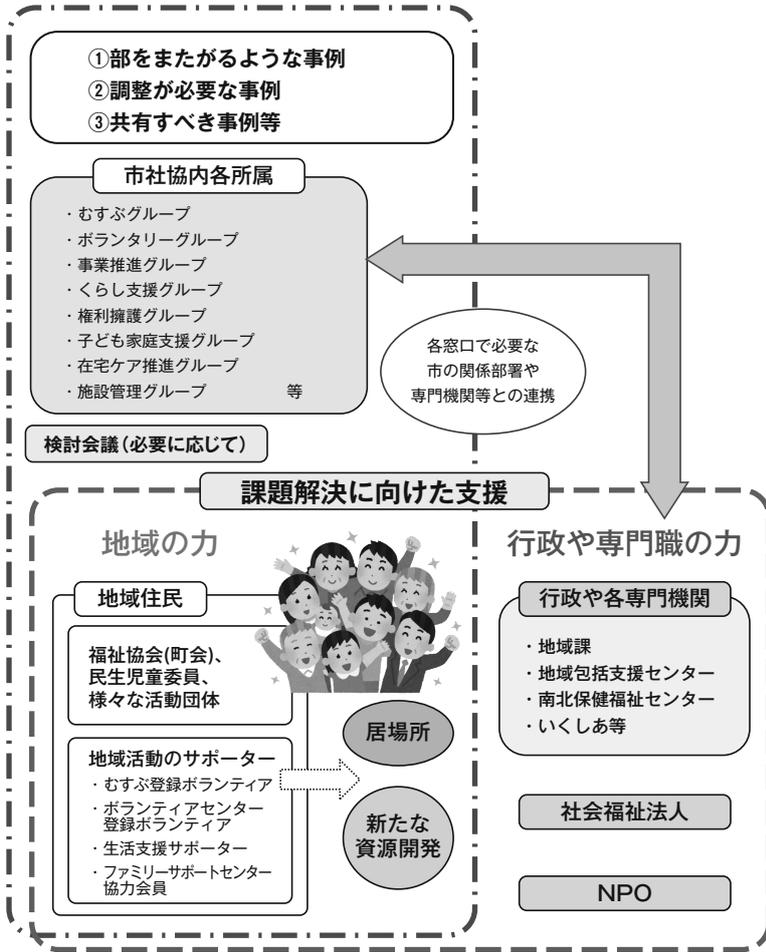
子ども・家庭支援グループで相談を受けるが、対応が困難。

事例の共有を経て、市社協内各所属や専門機関等による検討会議を開催し、支援方法を検討。

**市社協内 検討会議**

母親が出産後送迎できるまでの間、民生児童委員や近隣住民の方からの支援を受けながら、送迎の支援を得ることができた。

さらに送迎以外においても当該世帯と近隣の方々との関係性が高まり、日ごろからの見守り、助けあいが進んだ。



市社協内のネットワーク | 地域の力、行政や専門職の力のネットワークをフル活用した支援のネットワーク

※重層的支援体制整備事業における多機関協働事業等との関係

- 各むすぶグループを中心とした相談(入口)で受けた相談のうち、「複雑化・複合化した事例」で明らかに市社協内や複数以上の関係機関にまたがる事例については、「多機関協働事業」を担う市所管課に情報提供、相談の上、「重層的支援体制整備事業」の流れに繋げて対応する。
- 1以外の事例については、上記イメージ図のように市社協として「総合相談」を実施する。これらについては今後変更が生じる可能性があります。

1

## 誰でも気軽に相談できる場をつくる (みつける、うけとめる)



### 推進項目2 「社会資源情報の収集と共有化をすすめます」

#### ■現状と課題

- むすぶグループが社会資源を集めた「要支援者サポートネット」と地域包括支援センターが作成した「認知症ケアネット」の情報を集約し、グーグルマップで、市関係機関等と共有、情報の更新を行いました。住民がその情報を見ることができず、活用には至っていませんでした。
- 尼崎市は福祉・社会教育関係等の社会資源の情報を住民にも公開する地域情報共有サイト「あましえあ」<sup>(注)</sup>のシステムを導入しました。
- 市社協が把握している様々な資源情報を「あましえあ」に発展的に統合し、より多くの住民に活用してもらうことが必要です。
- 社会資源情報を単なる情報として扱うだけではなく、地域ごとに必要な資源開発や取り組みの材料とする必要があります。
- 連協圏域を単位に地域の課題やその背景、現状を把握する「わが町シート（地域診断シート）」を住民と作成しています。情報を共有することにより住民とともに地域づくりをすすめています。
- 「わが町シート」の各地域での作成はすすんでいます。その後の地域の変化を知る更新作業が必要です。

#### ■めざす姿（ありたい姿）

住民が地域福祉に対する理解を深め、住民相互の支えあいの活動を広げるために、社会資源情報の収集と共有化をすすめ、地域福祉に関する様々な情報を的確に提供していきます。

#### ■取組項目

##### ① 社会資源情報の活用

| 具体的な取組                       | 事業概要                                                                                                                           | 担当      |
|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 地域で行っている活動や各専門機関等の資源の把握      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で実施している活動、各機関が実施している認知症講座等、地域の社会資源に関する情報を新たに把握する。</li> <li>・蓄積した情報の更新を行う。</li> </ul> | 全       |
| 「わが町シート（地域診断シート）」の作成および更新と活用 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・連協ごとで作成している「わが町シート」の新規作成および更新をすすめ、地域の活性化を図る。</li> </ul>                                | むすぶグループ |
| 地域情報共有サイト「あましえあ」の活用          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・システムへの情報の登録をすすめる。</li> <li>・多くの住民が活用できるように普及に協力する。</li> </ul>                          | むすぶグループ |

## ■取組のスケジュール

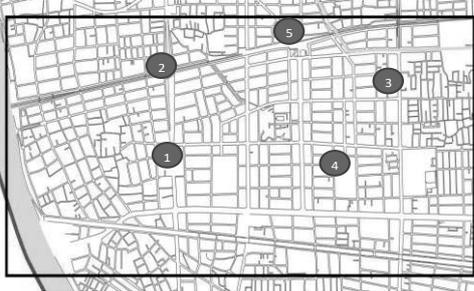
| 具体的な取組                  | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 地域で行っている活動や各専門機関等の資源の把握 | 継続     | →      | 振り返り   | →      | →      |
| 「わが町シート」の作成、更新及び活用      | 継続     | →      | →      | →      | →      |
| 地域情報共有サイト「あましえあ」の活用     | 継続     | →      | 振り返り   | →      | →      |

## ■活動目標

| 具体的な取組    | 活動目標            | 現在の姿<br>(2020年度実績)                     | 目標 |
|-----------|-----------------|----------------------------------------|----|
| 社会資源情報の活用 | 地域資源の把握数        | 1,080件                                 | ↑  |
|           | 「わが町シート」の作成・更新数 | 52連協（作成済）<br>(2020年度作成)<br>新規8連協・更新5連協 | ↑  |

## 【わが町シート 見本】

わが町シート～〇〇連協～（2021年6月1日現在）



【地域全体の地理的概要】(土地、道路、駅、学校、買い物、介護保険施設、病院等々)

- ・幹線道路が、連協の北側と西側に通っている。
- ・連協内に大きな公園がある。
- ・地域の基幹となるような病院が徒歩圏内にある。
- ・昔からの家と新しくたった家が混在している。

【地域の強み・特に力を入れていること】(例: 防災に力を入れている。世代間交流が盛ん。等々)

- ・登下校の見守り活動を行っている
- ・高齢者見守り活動を実施している
- ・公園での花壇造り、地域内の清掃活動等により地域住民の交流を図っている
- ・防災マップの作成や防災訓練を定期的に実施するなど防災意識が高い。
- ・連協内の福祉施設を連携をとっている。

【地域でよく聞かれる声】(例: スーパーが徒歩圏内に欲しい。住んでいる人とはだれとでも挨拶できる。〇〇のこまりごとをよく聞く。等々)

- ・電車の駅が遠い。バスはあるが、本数が少ない。
- ・スーパーやコンビニなど、買い物する所は比較的多いので、困らない。
- ・地震や大雨による堤防の決壊、津波など、災害が心配。

### 【基本データ】

|      | 単位福祉協会数① | 総人口②   | 年少人口③<br>【0～14歳】 | 年少人口率④ | 生産年齢人口⑤<br>【15～64歳】 | 生産年齢人口率⑥ | 高齢人口⑦<br>【65歳以上】 | 高齢人口率⑧ | 総世帯数⑨  | 加入世帯数⑩ | 社協加入率⑪ | 民生児童委員数⑫ |
|------|----------|--------|------------------|--------|---------------------|----------|------------------|--------|--------|--------|--------|----------|
| 〇〇支部 | 95       | 50,000 | 5,000            | 10.0%  | 30,000              | 60.0%    | 15,000           | 30.0%  | 27,000 | 17,000 | 62.9%  | 120      |
| ◆◆連協 | 5        | 4,500  | 500              | 11.1%  | 2,500               | 55.6%    | 1,500            | 33.3%  | 2,500  | 1,600  | 64.0%  | 15       |

### 【福祉活動数とその状況、気づき、課題】

| 活動拠点数① | 集い場数・体操系② | 集い場数・教養系③ | 集い場数・交流系④ | 見守り安心対象者数⑤ | 見守り希望者数⑥ | 見守りささえあい対象者数⑦ | 災害時要援護者総数⑧ | 避難行動要支援者名簿掲載者数⑨ | あんしん通報利用者数⑩ | 訪問型ささえあい活動数⑪ | 老人クラブ数⑫ | 婦人会数⑬ | 子ども会数⑭ |
|--------|-----------|-----------|-----------|------------|----------|---------------|------------|-----------------|-------------|--------------|---------|-------|--------|
| 5      | 10        | 5         | 20        | 950        | 120      | -             | 1,500      | 500             | 7           | -            | 5       | 2     | 1      |

<状況と課題>

- ・多世代交流が少なく、近所づきあいの希薄化が進み、お互いが無関心になっている。
- ・子どもの施設が少ない。子供がボール遊びなど自由に遊べる場所がありません。
- ・空き家、空き地が増えている。
- ・役員の高齢化が深刻になってきたが、役員や地域活動の次の担い手は引き続き不足している。
- ・大衆浴場(銭湯)がなく、風呂の無い家族・住民が困っている
- ・高齢化が進む中、災害時等の手助けをどのようにすればいいか？
- ・連協内の福祉施設と良好な関係を築いており、事業等で協力を受けている。

<今後の展開>

- ・高齢者が多く、地域行事等への積極的な参加が少なく、全体的に活気が乏しい。もつと経験を生かして参加できる行事等を考える必要がある。
- ・会館で毎月定例の活動を増やすなど、会館の活性化によるコミュニティ強化を図る。
- ・地域内に子どもの施設が少ないため、子どもの居場所となるような定例の場所を会館でできないか考える必要がある。

<初回作成時の地域の気づき>(〇〇年〇月)

<作成日・作成方法・記述者>

# 1

## 誰でも気軽に相談できる場をつくる (みつける、うけとめる)



### 推進項目3 「社協の広報を充実させます (社協の魅力を伝えます)」

#### ■現状と課題

- 市社協では、中期経営計画に基づき、住民の地域福祉への理解を深め、地域福祉活動の参画を推進するために情報提供の強化としてホームページの刷新を行いました。
- アンケートでは「市社協が何をしているのかわからない」といった声や、人材募集の告知に人が集まらないなどまだまだ課題が山積しています。
- 市社協の事業展開をより一層すすめるためにも、広報の充実を図る必要があります。

#### ■めざす姿 (ありたい姿)

市社協の事業やサービスをより多くの住民に伝えるとともに、発信した情報により、市社協の活動やその目的が地域に浸透し、活動への共感、理解につながるように、市と協力しながら広報活動をすすめます。

#### ■取組項目

##### ① 市社協の広報戦略の構築

| 具体的な取組  | 事業概要                              | 担当          |
|---------|-----------------------------------|-------------|
| 広報戦略の策定 | ・効果的、効率的な情報発信を行うために、市社協広報戦略を策定する。 | 企画グループ<br>全 |

##### ② SNS<sup>(注)</sup>等を活用した広報や事業の取組

| 具体的な取組            | 事業概要                                                            | 担当 |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------|----|
| SNS等を利用した広報や事業の取組 | ・SNS等の新たな広報手段を用い、迅速に市社協の事業を住民に周知した結果、社協事業にどのような効果をもたらしたのか検証を行う。 | 全  |

#### ■取組のスケジュール

| 具体的な取組            | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 広報戦略の構築           | 検討・策定  | 実施     | →      | 検証・再策定 | 再実施    |
| SNS等を利用した広報や事業の取組 | 検討・実施  | 検証・再実施 | →      |        |        |

## ■活動目標

| 取組項目              | 活動目標         | 現在の姿(令和2年度実績)                                    | 目標 |
|-------------------|--------------|--------------------------------------------------|----|
| 広報戦略の構築           | ホームページのアクセス数 | 33,149 件<br>2020.5.22～2021.3.31（2020年度リニューアルのため） | ↑  |
| SNS等を利用した広報や事業の取組 | 新たな手法を用いた広報数 | 広報数 —                                            | ↑  |

### 広報戦略の考え方

2022(R4)年度に具体的な広報戦略を構築する際に以下の柱を中心に検討をすすめていきます。

#### ① 戦略的広報を支える基盤となる体制の構築

広報の対象者を見据え、効果的・効率的な情報発信となるよう、市社協各部署が集まり企画グループを中心に、戦略的な広報を展開するための体制の構築をすすめます。

この体制のもと情報を発信する際の判断基準、運用方法等を作成し、一元的な情報発信を目指します。また、広報の専門業者によるアドバイスを取り入れる等の検討を行います。

#### ② 基幹媒体の充実

市社協の取り組みをわかりやすく伝えるための基幹媒体の充実を図ります。

具体的には既存の市社協ホームページや機関紙「社協だより」を基幹媒体としつつ、よりわかりやすく伝わる内容となるよう上記体制のもと内容の充実、発信回数の見直し等のブラッシュアップを図ります。

#### ③ 対象者を意識した広報媒体の充実

住民それぞれの興味・関心(子育て世代が必要とする情報や退職者等シニア世代の知識や経験を地域で活かすために必要な講座等の情報)に応じて、必要な情報が届けられるよう、広報媒体の充実を図ります。

既存の市社協ホームページや機関紙の「社協だより」については、市社協全会員を対象にした媒体であり、事業ごとの対象者を意識した媒体の活用とはなっていなかったことから、住民それぞれの興味・関心等に応じて、SNS等様々な広報媒体の活用を図ります。

## 2

## 地域で安心して暮らすための 地域福祉活動をひろげる（ささえあう）



### 推進項目 1 「多様な主体と地域が地域福祉活動に 共に取り組めるしくみをつくります」(人づくり)

#### ■現状と課題

- 「むすぶ」では、地域活動のきっかけとなるようなボランティア講座や地域のつどいの活動者同士の交流会を実施し、担い手の育成や活動者の困りごとへの対応や活動の継続支援を行っています。
- 地域課題について住民同士が我が事として話しあう場の必要性を発信し続けたことで、住民同士で課題について話しあう場が広がっています。あわせて第4期計画で設置した地域福祉ネットワーク会議(協議体)では、専門機関・団体、住民とともに、各地区で課題を話しあい、事業等を実施しています。
- 活動者同士の交流の機会は増えつつあったものの、コロナ禍のため、多人数で集まることが難しくなっていること、高齢化等で地域活動の担い手が不足していることなどから、活動の継続が困難となっています。また地域福祉ネットワーク会議においては地区ごとにテーマを設定し、事業の実施や地域課題に向けて連携ができつつありますが、全市で共通する課題や取り組みについては、十分に調整がとれているとは言えません。
- ‘ポストコロナ’にあわせた地域活動の提案や、属性、世代を問わず交流できる居場所づくりをすすめていくとともに、担い手の育成、支援を引き続き行っていく必要があります。
- ボランティアセンターでは、ボランティア活動に関する相談、情報提供、コーディネート、各種講座、福祉学習の実施等を行っています。ボランティアセンターの登録グループは担い手の高齢化等で年々減少しており、またコロナ禍でボランティアの依頼件数も減少しています。‘ポストコロナ’にあわせたボランティア活動への支援や担い手の確保への支援を引き続き行っていく必要があります。
- 地域福祉活動を支える重要なコミュニティの基盤である福祉協会は、年々加入率が減少しており、これまでの加入促進の取り組みの継続と新たな地域福祉活動への参加の取り組みについても検討する必要があります。

## ■めざす姿（ありたい姿）

属性や世代にとらわれない住民主体の地域活動の充実を図るために、‘ポストコロナ’における新しい生活様式に合わせた活動を提案し、これまでの活動の継続支援および新たな活動への支援も行います。

また引き続き、担い手の育成・支援等を行い、地域福祉活動のすそ野を広げていきます。

## ■取組項目

### ① 担い手の育成・支援

| 具体的な取組                                            | 事業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 担当                         |
|---------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| ボランティア講座の充実                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代、シニア世代問わず、あらゆる世代に対してボランティア活動のきっかけとなるような講座を、よりきめ細やかに実施する。</li> <li>・傾聴などのボランティア活動に効果的なスキルを身につけるための講座を実施する。</li> </ul>                                                                                                                                                       | むすぶグループ<br>ボランタリーグループ      |
| 市社協内のボランティア情報の共有化<br><br>「むすぶ」とボランティアセンターによる支援の充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「むすぶ」とボランティアセンター等の登録情報を共有化し、各種マッチングに活用する。</li> <li>・講座等の開催時に「むすぶ」への登録促進を継続して行う。</li> <li>・地域活動を紹介するボランティア講座を活動グループとともに実施し、活動の周知を図るとともに、新たな担い手の発掘を行う。</li> <li>・地域住民の具体的なニーズの把握、分析を行い、活動希望者とのマッチングにつなげていく。</li> <li>・若い世代を含めた新たな担い手への働きかけの一環としてSNS等の様々な広報手段の活用を検討する。</li> </ul> | むすぶグループ<br>ボランタリーグループ<br>他 |
| 生活支援サポーター <sup>(注)</sup> 養成講座の充実                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動への参加のきっかけとして、サポーター養成講座の活用を行う。</li> <li>・訪問型支えあい活動の情報提供を行う。</li> <li>・上記活動以外のボランティア活動の情報提供を行う。</li> </ul>                                                                                                                                                                   | 施設管理グループ<br>むすぶグループ        |

### ② 地域福祉活動再開・継続に向けた啓発・支援

| 具体的な取組                     | 事業概要                                                                                                                      | 担当                    |
|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| ‘ポストコロナ’の新しい生活様式にあわせた活動の提案 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を再開している団体の活動の紹介、情報提供を行う。</li> <li>・活動の再開、継続にあたって必要な情報の発信、資源の開発などを行う。</li> </ul> | むすぶグループ<br>ボランタリーグループ |
| 多様な主体と住民がともにすすめる地域づくりの提案   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民、地域活動団体、企業、行政等が、連携、協力しながら取り組む活動の提案を行う。</li> </ul>                               | むすぶグループ<br>ボランタリーグループ |

### ③ 福祉学習の推進

| 具体的な取組                | 事業概要                                                                                                                                                 | 担当                    |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 住民向けの研修のプログラムの検討      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者等の話を聴くことから、一人一人の困りごとを考えてもらうきっかけ、気づきとなるような研修などを実施する。</li> <li>・地域課題への取り組みをともにすすめていけるプログラムを検討する。</li> </ul> | むすぶグループ<br>ボランタリーグループ |
| 尼崎市地域課、学校と連携した福祉学習の実施 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が取り組む福祉学習のプログラムを提案する。</li> <li>・ふだんの暮らしの中で活かすことのできる学習を提案する。</li> </ul>                                     | むすぶグループ<br>ボランタリーグループ |

### ④地域コミュニティの活動基盤の強化

| 具体的な取組                                   | 事業概要                                                                                                                                                                                     | 担当           |
|------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 地域コミュニティの重要な基盤となる単位福祉協会の活動等を支える担い手の確保、育成 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員でない住民に対するイベント等を通じた緩やかな参加協力からはじめる新たな取り組み方法を検討する。</li> <li>・市社協の活動が住民に広く知ってもらえるように広報、啓発を実施する。</li> <li>・むすぶグループを中心に様々な加入促進の取り組みを実施する。</li> </ul> | むすぶグループ<br>他 |

### ■取組のスケジュール

| 具体的な取組                   | 2022年度          | 2023年度 | 2024年度    | 2025年度 | 2026年度 |
|--------------------------|-----------------|--------|-----------|--------|--------|
| ボランティア講座の充実              | プログラムの検討        | 実施     | 検証<br>実施  | →      |        |
| 市社協内のボランティア情報の共有化        | 共有化検討           | 共有化開始  | 検証<br>共有化 | →      |        |
| 「むすぶ」とボランティアセンターによる支援の充実 | マッチング方策、SNS活用検討 | 支援の充実  | 検証<br>支援  | →      |        |
| 生活支援サポーター養成講座の充実         | 検討              | 実施     | 検証<br>実施  | →      |        |
| 新しい生活様式にあわせた活動の検討        | 検討              | 実施     | 検証<br>実施  | →      |        |
| 多様な主体と住民とともにすすめる地域づくりの検討 | 検討              | 実施     | 検証<br>実施  | →      |        |
| 住民向けの研修のプログラムの検討         | 検討              | 実施     | 検証<br>実施  | →      |        |
| 尼崎市地域課、学校と連携した福祉学習の実施    | 内容の検討           | 実施     | 検証<br>実施  | →      |        |

| 具体的な取組                                           | 2022年度                 | 2023年度                 | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 |
|--------------------------------------------------|------------------------|------------------------|--------|--------|--------|
| 福祉協会の活動を支える<br>会員確保に向けた活動の<br>継続と新たな取組の検<br>討・実施 | 活動の継続<br>と新たな取<br>組の検討 | 活動の継続<br>と新たな取<br>組の実施 | →      |        |        |

## ■活動目標

| 取組項目      | 活動目標                                    | 現在の姿<br>(2020年度実績) | 目標 |
|-----------|-----------------------------------------|--------------------|----|
| 担い手の育成・支援 | ボランティア講座の開催<br>回数                       | 延 26 回             | ↑  |
|           | ボランティアセンター、<br>「むすぶ」の登録者のマ<br>ッチング数、調整数 | 176 件              | ↑  |
| 福祉学習の推進   | 福祉学習の開催回数                               | 13 回               | ↑  |

## 【コロナ禍での地域活動再開の動き】

2022(R2)年度、最初の緊急事態宣言時は、ほとんどの活動が中止となりましたが、コロナ禍だからこそ、つながろうと工夫しながら再開されているところが増えています。

### ★見守り活動

- ・ 訪問、対面ではなく、電話、インターホン越しに近況確認



(アクリル板設置でのふれあい喫茶)

### ★老人給食、こども食堂

- ・ 会食から配食へ切り替え
- ・ 人数を減らして回数を増やす、アクリル板の設置などの3密回避、手指消毒の徹底をして再開
- ・ 遊ぶことはできないが、居場所として勉強の場の提供



(密をさけて百歳体操)

### ★体操、ふれあいサロン

- ・ 人数を減らして回数を増やす、3密回避、手指消毒の徹底をして再開
- ・ 体操終了後のお茶会は中止して、体操のみ再開

## 【‘ポストコロナ’での活動再開のサポート】

★赤い羽根共同募金 公募配分助成「小さいっぽプロジェクト」に  
コロナ活動再開応援助成を追加し、6団体が活用(2020年度実績)

★高齢者等見守り安心事業：熱中症予防と、  
新しい生活様式での見守り活動についてチラシの配布

★「つどい場通信」を発行し、感染症対策を講じて活動を行  
っているグループの紹介を行い、コロナ禍でのつながり  
作りの一助となるよう働きかけを実施

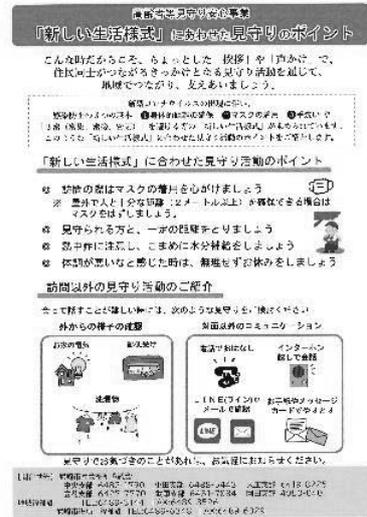


(つどい場通信)

★協議体で活動再開に向けての感染防止対策や  
活動時の工夫などの情報共有を目的に地区内の  
ふれあいサロンにアンケートを実施し、その結  
果を活動者の方と共有し、今後の運営に活用で  
きるよう冊子として配布

★住民や企業の方からいただいた多くの食材を、  
こども食堂ネットワーク等を通じて、こども食堂や困窮  
世帯に配布

(こども食堂・生活困窮世帯へお  
米の寄付)



(高齢者等見守り安心事業チラシ)



(ふれあいサロン アンケート)



## 【ボランティアセンター】

### ★ボランティアの登録

ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしている、してみたい個人やグループの方の登録を行っています。2020(R2)年度の登録者は個人、グループあわせて3,317人です。

ボランティア登録に来られる方の中には、社会との関わりの第一歩として登録される方も増えています。社会との接点に悩まれ、登録された方の中には講座の受講をきっかけに、グループに所属し活動されたり、施設でのガーデンボランティアなどの活動を行ったりされている方もおられます。

### ★ボランティア活動保険の窓口

ボランティア活動中の“ケガ”、“事故”等に備えて「ボランティア活動保険」の加入の受付をしています。

### ★ボランティア活動に関する相談、情報提供

月1回、センターニュース「ゆうりん」やボランティア活動募集を掲載している「コーディネーター通信」等を発行しています。市社協のホームページでも随時、情報の発信を行っています。窓口では活動に関する相談に応じています。

### ★ボランティア講座等の実施

ボランティアセンターでは、活動のきっかけになる入門講座だけでなく、技術を身につけるきっかけとなる手話や点訳等をはじめとするコミュニケーションサポートのための講座や研修を実施しています。

コロナ禍で集まって活動をするのが難しくなる中、新しく広まったオンラインツール Zoom の使い方講座(2020(R2)年度 4回)、Zoom を活用した講座(2020(R2)年度 5回)も開催中です。

2018(H30)年度からは、登録ボランティアグループが、メンバー募集を兼ねて講座を行う「仲間づくり計画」をグループとともに実施しています。(2020(R2)年度 2回) 普段のグループの活動をいろいろな方に知っていただき、新たなメンバーを増やすきっかけとなっています。

ボランティア同士の交流の場として「和楽団(わらい)」を月1回実施し、ボランティアが特技を披露したり、情報交換をしたりしています。



(ボランティア講座)



(ボランティア講座)

### ★ボランティアのコーディネート

「ボランティア活動を行いたい」人や団体と「ボランティア活動の支援を求めたい」人または団体をつないでいます。

福祉施設でのお手伝いや演芸等の披露、地域食堂でのサポートや子どもの見守りなど様々な活動があります。ボランティアセンターでは依頼のあった活動をまとめた「コーディネーター通信」を月1回発行し、広くボランティア募集を行っているほか、活動の依頼内容によって個別でマッチングを行っています。(2020(R2)年度 ボランティアセンターマッチング件数 161 件)

コロナ禍で施設でのボランティア活動が難しくなっていますが、個人宅への傾聴ボランティアなどの依頼は増えつつあります。

### ★福祉学習の実施

学校からの依頼で、高齢者疑似体験や車いす体験、点訳体験など、ボランティアグループとともに取り組んだり、機器の貸し出しを行ったりしています。(2020(R2)年度 13 件)

体験はもちろん当事者の方の講話などを通して、福祉を自分ごとにするきっかけづくりを実施しています。



総合学習の授業で、車いすや点訳の体験学習を実施した小学校の児童さんから送られてきた感想です。福祉学習を通して「誰もが大切にされる地域づくり」をすすめています。



(福祉学習・高齢者疑似体験)

### ★災害ボランティアセンターの運営

市社協では尼崎市と災害ボランティアセンター(以下「災害 VC」)の協定を締結しています。この協定に基づき災害が起こった際には災害 VC が立ち上げられますが、イザというときにスムーズに行動がとれるように年1回、災害 VC の運営訓練を実施しています。この訓練は市社協だけで実施するのではなく、災害ボランティアネットワーク連絡会のメンバーとともにすすめています。2018(H30)年からはテーマを「受援」として実施し、コロナ禍では三密、衛生面に配慮し、Zoom や Google フォーム等のツールを活用し、非接触での対応を実施しました。またコミュニケーションボードや翻訳機を活用し多言語対応への訓練も始めています。



(災害ボランティアセンター運営訓練の様子)

# ボランティア活動からみた ボランティアセンター（VC）と「むすぶ」の関係イメージ

## ボランティアセンター （全市）

### 【主な役割】

- ・ ボランティア登録
- ・ ボランティア活動に関する相談、情報提供
- ・ コーディネート
- ・ ボランティア講座等の実施
- ・ 福祉学習の推進
- ・ 災害ボランティアセンターの運営
- ・ 県ボランティアプラザ調整 など



### 【特性】

- ・ ボランティア自身の自主性が強い（活動への意欲がある）
- ・ 地域にとらわれない
- ・ 専門的なスキル知識がある方も多い
- ・ 福祉分野以外とのつながりも作りやすい

**専門性、個別性**  
・ 傾聴、個別支援に必要なスキル等

**テーマ型活動中心**

## 協力・連携

共通のテーマ・課題でつながる

### 【事例】

#### 相談

Bさん(ケアマネジャー)からボランティアセンターに相談  
「Aさんに話し相手になってくれる方をお願いしたい。」

#### 訪問

Aさん宅へボランティアセンターから訪問

#### ききとり

実は... Aさんの想いは  
・話し相手が欲しい  
・自力でゴミ出しができない(要支援)  
・1人なので何かあれば不安

#### 気づき

困りごとは傾聴=話し相手だけではない  
・むすぶとの連携の検討

#### 調整

- ①話し相手  
→傾聴ボランティアをつなぐ
- ②ゴミ出し、一緒に出す  
→生活支援ボランティアグループなど、地域で活動するボランティアに調整しつなぐ
- ③地域での見守り  
→活動地区はつなぐ、未活動地区は啓発

#### 開発・啓発

- ①傾聴ボランティア育成  
専門性とスキルアップ 支援者養成
- ②支えあいの担い手探し、育成や地域啓発へ
- ③地域・民生児童委員による見守りや地域啓発へ
- ④生活支援ボランティアグループ 養成、組織化

## むすぶ （6 地区）

### 【主な役割】

- ・ むすぶ登録
- ・ 地域活動のコーディネート
- ・ ボランティアセンターとの情報、登録状況等の共有、調整
- ・ 地域住民、個人ボランティアやボランティアグループとの調整 など



### 【特性】

- ・ 日常生活の中での支えあい
- ・ 地域資源、特性をよく把握している
- ・ 地域の特性を活かした支援ができる
- ・ 単発ではなく、将来を見据えた個別課題への支援につながる

**日常性、地域性**  
・話し相手、見守り、ゴミ出し、生活支援など

**地域活動中心**

## 2

## 地域で安心して暮らすための 地域福祉活動をひろげる（ささえあう）



### 推進項目 2 誰もが安心して暮らすことができる地域づくりをすすめます (場づくりなど)

- 現状と課題 ※取組項目 2-③子ども・子育て支援活動の推進 については別途記載
- 「むすぶ」では、ふれあいサロン、体操をはじめとし、交流、健康づくりなど住民の関心の高いテーマにあわせ、居場所づくりの立ち上げを推進しています。また、老人福祉センターにおいてもひきこもりがちな高齢者を対象とした「元気づくり工房」をはじめ、体操や各種講座などを実施し、介護予防に資する事業を行っています。
  - コロナ禍による活動場所の確保の困難さ、担い手の高齢化、活動のための資金など事業継続について課題を抱える居場所からの相談が増えています。つどい場の再開、継続はコロナ禍で難しくなっていますが、引きこもりや孤立を深めないためにも、新しい生活様式にあわせた居場所の実施方法を、新規の立ち上げ時だけでなく、既存活動においても、住民とともに考えていく必要があります。
  - 地域での支えあい活動の一助を担う生活支援ボランティアグループは市内で数グループが立ち上がっていますが、さらに広げていく必要があります。
  - 地域福祉活動専門員をはじめとするむすぶグループが中心となり個別支援に対応しています。これらを単に個の問題として対応するだけでなく、当事者の声を地域の課題ととらえ、住民にアプローチすることで、個別支援から地域支援への展開を図っています。今後ますます多様化、深刻化する個別課題の中で専門職のアプローチだけでなく、住民による気づき(早期発見)や見守りが重要となっています。
  - 高齢者等見守り安心事業は市内 75 連協のうち 46 の連協圏域(2020(R2)年度末現在)で活動されています。この見守り安心事業だけでなく、圏域にこだわらない見守り活動や、ふれあい喫茶、体操などつどい場での見守り活動など、地域の実情にあわせた見守り活動が広がっています。
  - 尼崎市では、6 地区に地域課を設置し、各小学校区に 1 人、担当職員を配置しています。コミュニティづくりにおいて地域課との連携が始まっていますが、充分とは言えません。行政の身近な地域の窓口である地域課とは、行政他機関との調整や小学校区に 1 人配置の強みを活かした学校との連携を深める事業等をともにすすめていく必要があります。
  - 近年、地震、台風、大雨などの自然災害が多発しています。またコロナ禍も一種の災

害といえます。市社協では災害対策や個別の避難支援の基礎となるコミュニティづくり、地域づくりに取り組んでいます。ふだんからの住民同士の顔の見える関係づくりをすすめるとともに、各地域でもその特性にあわせた防災訓練など、災害に対する備えもすすめています。

○市社協には、災害発生から復興にいたるまでのボランティアの活動支援、被災者の地域での暮らしを支える支援、被災地域のまちづくり活動の支援等が求められています。市社協では一つの取り組みとして災害ボランティアセンターの運営訓練の実施、BCPの策定を行うなど、災害発生時に対応できるよう取り組んでいます。

### ■めざす姿（ありたい姿）

子どもも、高齢者も、障がいのある人も、誰もが住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられる地域づくりを目指し、住民とともに、見守りや支えあい、誰もが参加しやすい場づくりなど、地域の実情に応じた交流をすすめます。また、災害時に備えたふだんからの住民同士の顔の見える関係づくりもすすめていきます。

### ■取組項目

① 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくりの推進・支援

重層的

| 具体的な取組                                         | 事業概要                                                                                                                                                              | 担当                  |
|------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| ふれあいサロンをはじめとする居場所の継続および立ち上げ支援(住民のつながりの場の環境づくり) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手の育成、紹介を行う。</li> <li>・活動場所の確保の方策について検討する。</li> <li>・新たな生活様式にあわせた活動を支援する。</li> <li>・老人福祉センターによるつながりの場の機能を高める。</li> </ul> | むすぶグループ<br>施設管理グループ |
| 活動者の意欲向上等の支援                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動者同士の交流、不安の解消、課題の共有、学びを目的とした「つどい場交流会」等を開催し、活動継続のための意欲向上の機会を設ける。</li> </ul>                                               | むすぶグループ             |
| 住民相互の支えあい活動の支援                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活上のちょっとした困りごとに対応できるような支えあい活動を推進する。</li> <li>・訪問型支え合い活動補助金等の各種助成を活用し、生活支援ボランティアグループの新規立ち上げ支援をすすめる。</li> </ul>             | むすぶグループ             |
| 様々な手法による見守り活動の推進                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等見守り安心事業を推進する。</li> <li>・圏域にこだわらない見守り活動を展開する。</li> <li>・つどい場での見守り活動を推進する。</li> </ul>                                   | むすぶグループ             |
| 尼崎市地域課と協働した活動の実施                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特性に応じたまちづくりをともに推進する。</li> <li>・小学校区に1人配置の尼崎市地域課職員と協力し学校と連携を深め、事業を推進する。</li> </ul>                                       | むすぶグループ             |
| 「(仮)なんでも相談窓口」の設置<br>(再掲)                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域振興センター内に「(仮)なんでも相談窓口」の看板を掲げ、「むすぶ」と尼崎市地域課が協働して相談対応を行う。</li> <li>・「むすぶ」以外の各窓口でも、(仮)なんでも相談窓口と同様に様々な相談の対応を行う。</li> </ul>    | むすぶグループ<br>他        |

② 災害時をみすえた体制づくり

| 具体的な取組               | 事業概要                                                                                                                                                         | 担当         |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 地域での防災の取り組みに対する支援・協力 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で取り組んでいる様々な防災の取り組みについて支援・協力する。</li> <li>・地域で実施している防災訓練、研修などへの支援とともに、ふだんから住民同士の顔の見える関係づくりがすすめられるよう支援を行う。</li> </ul> | むすぶグループ    |
| 災害に関する協定の見直し         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・尼崎市と市社協で締結した協定について、国の通知を参考に費用負担等を含めて協定の見直しを行う。</li> </ul>                                                            | ボランタリーグループ |
| 災害ボランティアセンター運営訓練の実施  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時に円滑な災害ボランティアセンターの運営ができるように、災害ボランティアネットワーク連絡会とともに可能な限り全職員で訓練に取り組む。また日頃からの関係づくりとして連絡会と定期的に研修会等を実施する。</li> </ul>   | 全          |

■取組のスケジュール

| 具体的な取組                        | 2022年度           | 2023年度        | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 |
|-------------------------------|------------------|---------------|--------|--------|--------|
| ふれあいサロンをはじめとする居場所の継続および立ち上げ支援 | 支援               | →             |        |        |        |
| 活動者の意欲向上等の支援                  | 支援               | →             | 検証支援   | →      |        |
| 住民相互の支えあい活動の支援                | 支援               | →             | 検証支援   | →      |        |
| 様々な手法による見守り活動の推進              | 見守り活動の分析<br>継続支援 | アプローチ<br>継続支援 | 検証支援   | →      |        |
| 尼崎市地域課と協働した活動の実施              | 実施               | →             | 検証実施   | →      |        |
| 地域での防災の取り組みに対する支援・協力          | 支援・協力            | →             |        |        |        |
| 災害に関する協定の見直し                  | 検討               | →             | 再締結    | →      |        |
| 災害ボランティアセンター運営訓練の実施           | 実施<br>検証         | →             |        |        |        |



地域での体操の様子

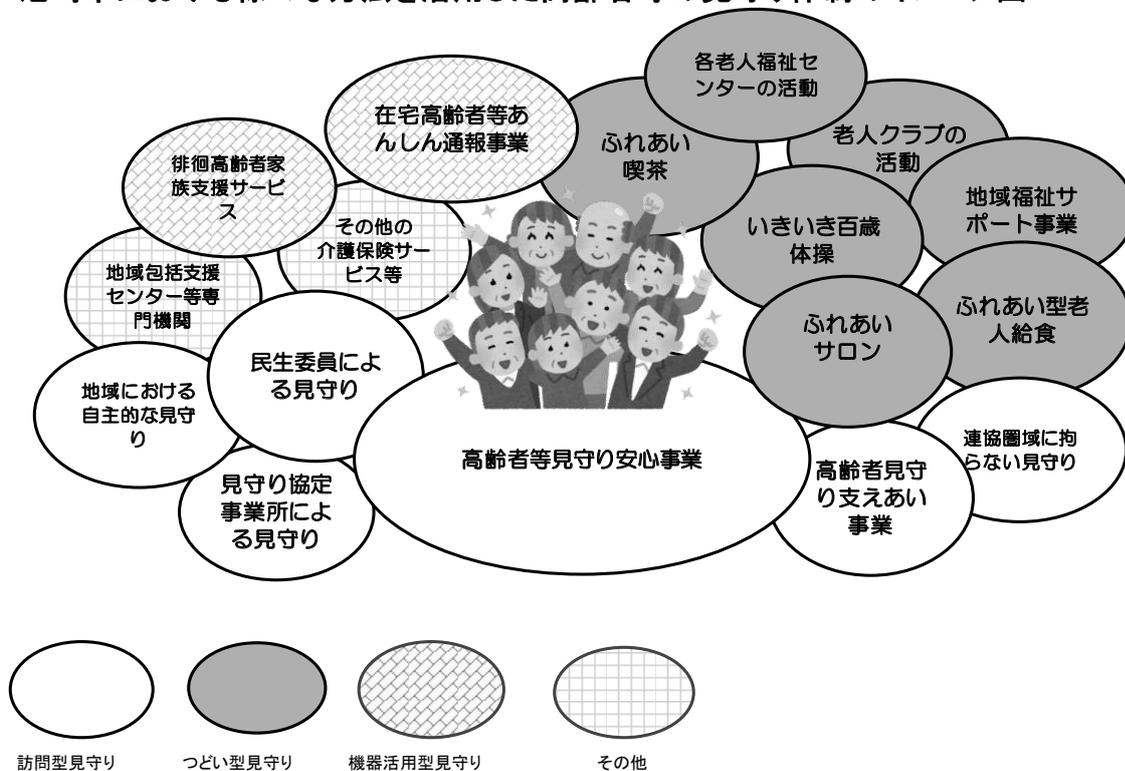


地域の防災訓練

## ■活動目標

| 取組項目                             | 活動目標                  | 現在の姿<br>(2020年度実績) | 目標 |
|----------------------------------|-----------------------|--------------------|----|
| 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくりの推進・支援 | 居場所の把握数               | 580 か所             | ↑  |
| 様々な手法による見守り活動の推進                 | 高齢者等見守り安心事業実施数        | 46 地区              | ↑  |
|                                  | 見守り活動の把握数             | 638 団体             | ↑  |
| 災害時対応をみすえた体制づくり                  | 災害ボランティアセンター運営訓練の参加者数 | 54 人               | ↑  |

## 尼崎市における様々な方法を活用した高齢者等の見守り体制のイメージ図



訪問型、つどい型、機器活用型等の様々な見守り方法を活用し、見守りを必要とする高齢者の方々を支える

### ○様々な方法を活用した高齢者の見守り体制とは

・各種高齢者の見守り関連事業は、イメージ図にあるように訪問型、つどい型、機器活用型そしてインフォーマルなものも含め多種多様にあり、高齢化の進展等を踏まえると、本人の意向を最大限尊重しつつ、必要とされる高齢者を極力漏れなく、見守るためにはこのように「様々な方法を活用した見守り体制」の構築をすすめることが重要である。

・高齢者等の見守りは 個々の高齢者やその家族の安心安全のみならず、地域のつながりづくりの促進そして緊急時である災害時の避難支援体制の構築の基礎ともなる重要なものである。

・市社協は、個々の相談においては本人の意向を尊重したコーディネートをするとともに、地域においては、各種見守り活動が広がるように市関係課（福祉課、高齢介護課、包括支援担当課、各地域課等）はもちろんのこと地域の方々とともに引き続き取り組む。

■現状と課題

- 地域では、様々な団体が子育てについて話しあう場や、子どもとその保護者のつどい場が実施されています。
- 市内の複数の NPO 法人と協力し尼崎こども食堂ネットワークを立ち上げ、子どもの居場所の一つとなるこども食堂に対して食材（コープこうべとの協定に基づく定期的な提供ほか）や助成金情報の提供、研修等を実施しています。
- 市社協やこども食堂ネットワークには、団体や個人の方からの寄付や食材提供が多く寄せられています。ネットワーク、むすぶグループ等を通じて、引き続き必要とする家庭に届く地域の支えあいのしくみづくりをすすめていく必要があります。さらに従来の会食が難しい場合の配食のほか、フードパントリー<sup>(注)</sup> やフードドライブ<sup>(注)</sup> といった取り組みも検討していく必要があります。
- 子ども・家庭支援グループは、日常の取り組みから“気になる”子どもや家庭への支援を続けていますが、コロナ禍で“気になる”子どもや家庭が顕在化しています。
- むすぶグループにおいても、子ども・子育て家庭にかかる個別相談が増えています。また、子ども・家庭支援グループへ寄せられる相談も外国人、ひとり親家庭、育てづらさを感じる子育て家庭の相談等、単一の窓口だけでは対応できないケースが増えています。両グループ、ボランティアセンター等が強みを活かしながら、地域活動や新たな担い手につなぐ等、当事者にとってよりよい支援を一層すすめていく必要があります。
- 従来から取り組んでいるファミリーサポートセンター<sup>(注)</sup> の受付を市本庁窓口に広げ、市民の利便性の向上につなげるとともに、行政との連携も深まっています。また、市社協独自の事業として子育て応援ヘルパー派遣事業、おやこの森、2020(R2)年度から市から委託を受け MYTREE ペアレンツ・プログラム<sup>(注)</sup> 事業などに取り組んできました。
- 上記の取り組みから、つどい場へ行きたくてもいけない家族、幼少期の逆境的体験<sup>(注)</sup> が大人になってからも大きな影響を及ぼすなど、社会的な孤立や生きづらさを抱えた方たちの課題がみえてきました。
- これらの課題等に対応するために、2021(R3)年度から、市社協における子ども関連事業の企画検討を行う「子どもすこやかサポートセンター」機能を設け、同運営協議会においてセンターの適切な運営を図るため、関係機関との協議を行う取り組みも始めました。



【ファミリーサポート 活動の様子】

○尼崎市においては、子どもの育ち支援センター「いくしあ」が開設され、センターを中心に子ども・子育て家庭への総合的な支援に取り組んでいます。

○市社協は、これら関係機関や関係団体とともに子ども・子育て家庭の支援の取り組みをすすめる、地域全体で子ども・子育て家庭を支える地域社会づくりをめざす必要があります。

■取組項目

③ 子ども・子育て支援活動の推進～保護者が安心して子育てできる取組～

| 具体的な取組                         | 事業概要                                                                                                                              | 担当                                         |
|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 子育て家庭の「困りごと」を受けとめるためのネットワークの構築 | ・育児支援を行うファミリーサポートセンター事業ほか、市社協内はもちろん各関係機関、団体等とも連携して子育て家庭の「困りごと」を受けとめるネットワークを構築する。                                                  | 子ども・家庭支援グループ<br>他                          |
| 子育てにかかわる多様な仲間づくりの推進            | ・乳幼児をもつ保護者のつどい場、育てづらさを抱える保護者のためのつどい場など子育て家庭当事者のつながりづくりをすすめる。<br>・子ども子育て家庭の孤立を防ぐ地域づくりをめざし、育児支援や家事支援を行うサポーターその他子育てに関わるボランティアの養成を行う。 | 子ども・家庭支援グループ<br>他                          |
| 子どもを虐待してしまう親への回復支援の取組          | ・子どもに虐待等をしてしまう親への回復支援としてMYTREEペアレンツ・プログラムを実施し、子どもへの虐待の再発防止に取り組む。                                                                  | 子ども・家庭支援グループ                               |
| 子ども・子育て家庭に関する福祉学習の実施           | ・子ども子育て家庭に関する課題を「自分ごと」と捉え、誰もが安心して暮らせるための福祉学習に取り組む。                                                                                | 子ども・家庭支援グループ<br>ボランタリーグループ<br>むすぶグループ<br>他 |



【こども食堂】



【こども食堂配食準備中】

③ 子ども・子育て支援活動の推進～子どもがすこやかに育つ取組～

| 具体的な取組                     | 事業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 担当                           |
|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 食や学習をはじめとする様々な子どもの居場所のサポート | <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な子どもの居場所の立ち上げや継続のためのサポートを行う。</li> <li>・子どもの居場所を応援したい人の窓口となって支援を届ける取り組みを行う。</li> <li>・支援者に対する情報提供、研修会・交流会の開催等を実施する。</li> <li>・「尼崎こども食堂ネットワーク」の構成メンバーとしてこども食堂への情報提供、研修会・交流会の開催を実施する。</li> <li>・寄付や食材提供の受け入れをすすめるとともに、新たな生活様式にあわせた活動を支援するためにフードパントリーやフードドライブ等のしくみづくりについても検討する。</li> </ul> | 子ども・家庭支援グループ<br>むすぶグループ<br>他 |
| 子どもや若者の「困りごと」を受けとめる体制づくり   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤングケアラーや生きづらさなどを抱える子ども、若者のために、困りごとを受けとめ寄り添いながら子ども・家庭支援グループ、地域福祉活動専門員が各種関係機関や地域とともに支える。</li> </ul>                                                                                                                                                                                        | 子ども・家庭支援グループ<br>むすぶグループ<br>他 |

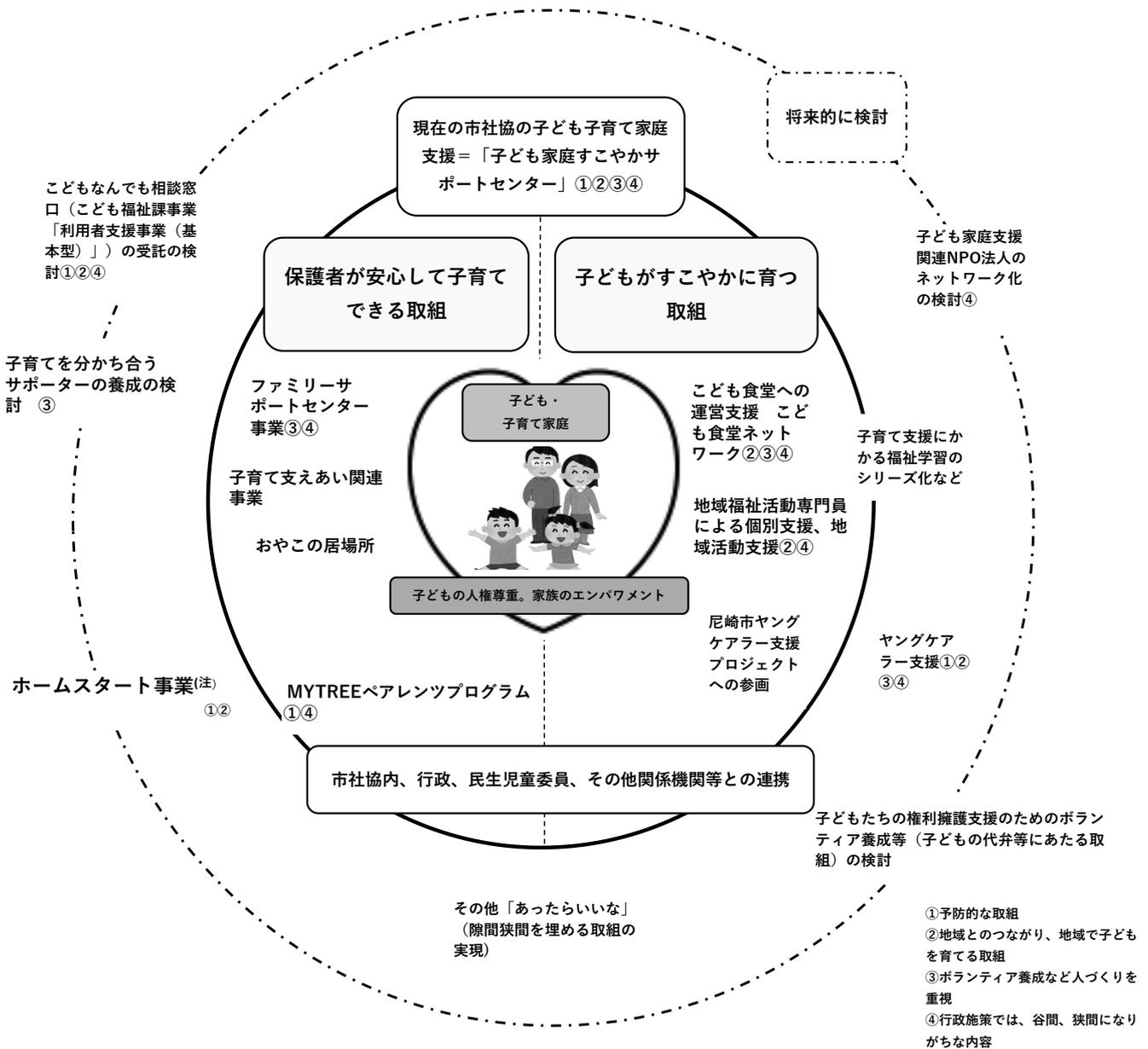
■取組のスケジュール

| 具体的な取組                      | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 |
|-----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 子育て家庭の「困りごと」を受けとめるネットワークの構築 | 実施     | →      | 振り返り   | 実施     | →      |
| 子育てにかかわる多様な仲間づくりの推進         | 実施     | →      | 振り返り   | 実施     | →      |
| 子どもを虐待してしまう親への回復支援の取組       | 実施     | →      | 振り返り   | 実施     | →      |
| 子ども・子育て家庭に関する福祉学習の実施        | 検討     | 試行実施   | 本格実施   | →      | 振り返り   |
| 食や学習をはじめとする様々な子どもの居場所のサポート  | 実施     | →      | 振り返り   | 実施     | →      |
| 子どもや若者の「困りごと」を受けとめる体制づくり    | 実施     | →      | 振り返り   | 実施     | →      |

■活動目標

| 取組項目                                     | 活動目標                    | 現在の姿<br>(2020年度実績) | 目標 |
|------------------------------------------|-------------------------|--------------------|----|
| 子育て家庭の「困りごと」を受けとめる事業展開（ファミリーサポートセンター事業）  | 救命講習の研修受講率              | 実活動者の95%           | ↑  |
| 子どもを虐待してしまう親への回復支援の取組（MYTREEペアレンツ・プログラム） | 受講前後の参加者の暴力に対する意識変化について | 100%の改善            | →  |
| 子ども子育てにかかる福祉学習の開催回数                      | 開催回数                    | —                  | ↑  |
| 食や学習をはじめとする様々な子どもの居場所の支援                 | 協力団体数                   | 30団体               | ↑  |

○市社協子ども子育て家庭支援（＝子ども家庭すこやかサポートセンター）の施策展開





### 推進項目3 「地域の多様なニーズに応えるために、むすぶ機能の充実を図ります」

#### ■現状と課題

- 2017(H29)年度に支部事務局(むすぶグループ)にささえあい地域活動センターむすぶを設置し、これまで以上に地域福祉活動の推進、個別支援等に対応してきました。
- 「むすぶ」では、地域福祉活動専門員（生活支援コーディネーター兼務）を中心に活動の立ち上げ支援、運営支援、活動場所の確保協力、個別支援、地域資源情報の収集・共有・活用、地域福祉ネットワーク会議の運営等幅広く取り組んできました。
- 市社協内外において必ずしも「むすぶ」の役割等の情報が共有されていない現状があります。また、各地域福祉活動を支え、ひろげ、地域のつながりづくりをすすめる役割がこれまで以上に求められているため、多種多様な課題に対応するためのさらなる専門性の向上が必要です。
- 市内6地区ごとに地域の実状と住民の声を反映し策定した「支部地域福祉推進計画」を振り返り、更新する必要があります。（支部地域福祉推進計画は、より地域ごとの特徴、特色を活かした地区の独自の活動計画であり、市社協の地域福祉推進計画と連動して取り組んでいくものです）

#### ■めざす姿（ありたい姿）

「むすぶ」が地域活動の新たな担い手の発掘や個別相談への対応のほか、地域の多様なニーズに応えることができる一番身近な窓口としての役割を果たします。

「むすぶ」のコミュニティソーシャルワーク<sup>(注)</sup>機能の強化を図るとともに、課題解決に取り組む市社協各部署と連携し、地域活動への支援をさらにすすめていきます。



【地域福祉ネットワーク会議 交流会】



【地域活動者の話し合いの場】

## ■取組項目

### ① ささえあい地域活動センターむすぶの機能強化

| 具体的な取組                                                    | 事業概要                                                                                                                                                                                                                                          | 担当                         |
|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 地域活動の担い手不足への対応                                            | ・むすぶ登録者を増やすとともに、登録者の活動の場の提供をさらにすすめる。                                                                                                                                                                                                          | むすぶグループ                    |
| 市社協内のボランティア情報の共有化<br><br>「むすぶ」とボランティアセンターによる支援の充実<br>(再掲) | ・「むすぶ」とボランティアセンターの登録情報を共有化し、各種マッチングに活用する。<br>・講座等の開催時に「むすぶ」への登録促進を継続して行う。<br>・地域活動を紹介するボランティア講座を活動グループとともに実施し、活動の周知を図るとともに、新たな担い手の発掘を行う。<br>・地域住民の具体的なニーズの把握、分析を行い、活動希望者とのマッチングにつなげていく。<br>・若い世代を含めた新たな担い手への働きかけの一環として SNS 等の様々な広報手段の活用を検討する。 | むすぶグループ<br>ボランタリーグループ<br>他 |
| 相談事例の蓄積の工夫と事例検討会等の実施<br>(再掲)                              | ・全ての窓口で統一した様式での相談事例の蓄積を行う。<br>・相談スキルの向上を図るため、困難事例を中心に事例検討会や研修会を開催する。                                                                                                                                                                          | 全                          |

### ② 支部地域福祉推進計画の推進

| 具体的な取組        | 事業概要                                                      | 担当      |
|---------------|-----------------------------------------------------------|---------|
| 支部地域福祉推進計画の推進 | ・各地区の支部地域福祉推進計画(2022年4月～2027年3月)をむすぶグループが住民と協力しながら着手実行する。 | むすぶグループ |

## ■取組のスケジュール

| 具体的な取組         | 2022年度 | 2023年度                                                                              | 2024年度   | 2025年度                                                                                | 2026年度                                                                                |
|----------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域活動の担い手不足への対応 | 支援     |  | 検証<br>支援 |  |                                                                                       |
| 支部地域福祉推進計画の推進  | 実施     |  | 振り返り     | 実施                                                                                    |  |

## ■活動目標

| 具体的な取組                   | 活動目標                  | 現在の姿<br>(令和2年度実績) | 目標                                                                                    |
|--------------------------|-----------------------|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| ささえあい地域活動センターむすぶによる支援の充実 | 地域活動希望者を地域活動へむすびつけた件数 | —                 |  |

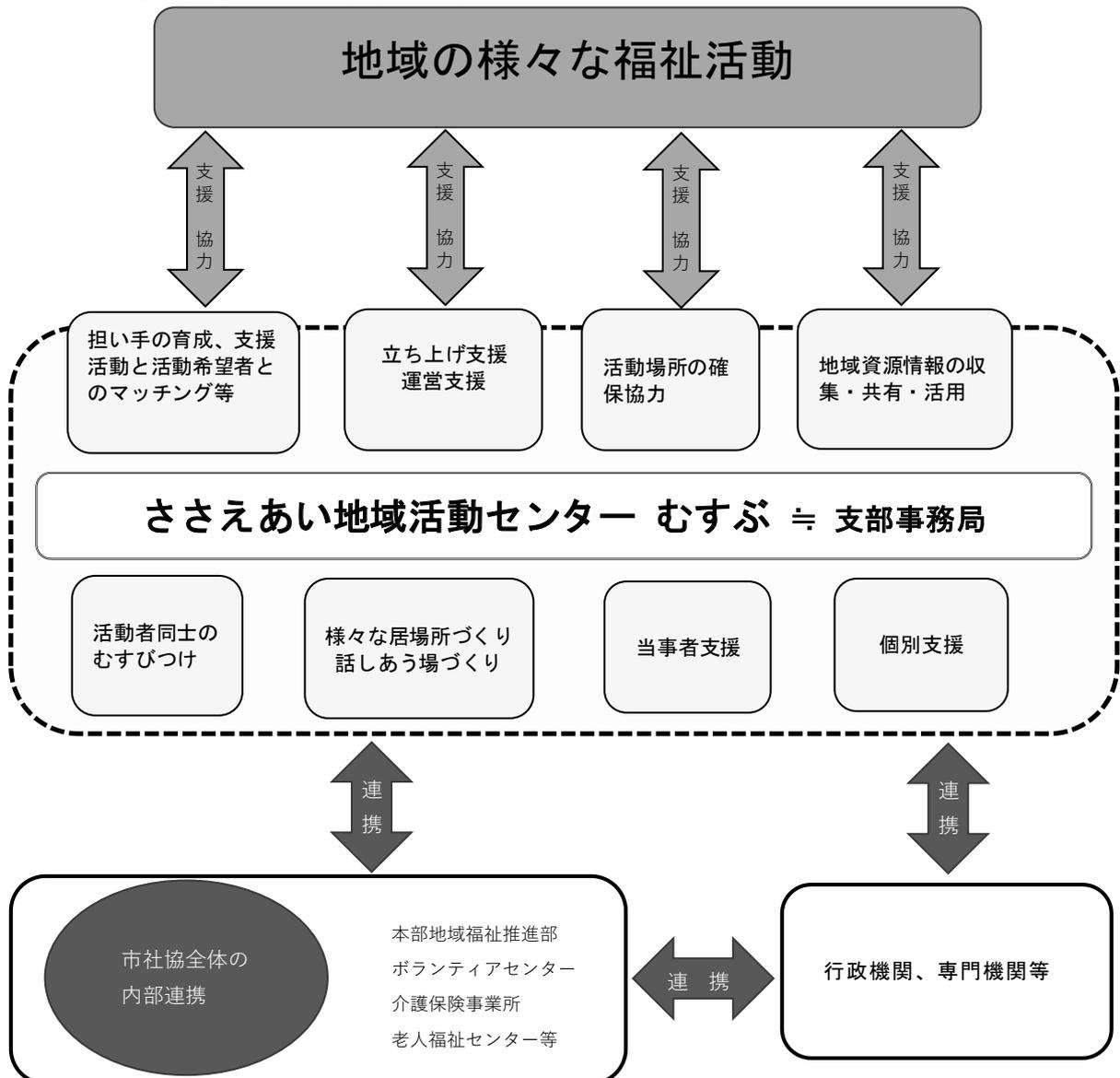
○ささえあい地域活動センターむすぶとは、

住民同士が支えあい、助けあう地域づくりにつながる活動（見守り活動ほか様々な地域活動）を全面的に支援するセンター

（設置場所）各地区生涯学習プラザ内、各むすぶグループ（支部事務局）内に設置

- （機能）
- ・地域活動の担い手育成、人材の発見、ニーズとのマッチング
  - ・地域活動の立ち上げ支援、運営支援、活動場所の確保協力
  - ・地域活動者同士のむすびつけによる活動の活性化
  - ・様々な居場所づくり
  - ・話しあう場づくり（地域福祉ネットワーク会議含む）
  - ・市社協内外の組織や行政・専門機関等との連携（地域福祉ネットワーク会議含む）
  - ・個別支援
  - ・障がい当事者等支援（居場所、グループづくり等）
  - ・地域資源情報の収集・共有・活用

○ささえあい地域活動センターむすぶのイメージ



# 支部地域福祉推進計画 (2022(R4)年4月~2027(R9)年3月)

それぞれの地域の特性を活かして、地域の実態にあった活動をすすめるために、第4期の地域福祉推進計画から、支部ごとの地域福祉推進計画を作成しています。今期も各地区で話しあい、ありたい姿、重点的な取り組みを考えました。このありたい姿を目指して、地域住民とともに取り組んでいきます。



| 地 区 | ありたい姿・テーマ                                                                                                               |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中 央 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いが気兼ねなく声かけができる地域コミュニティづくり</li> <li>・災害時も役に立つお互い顔のわかる地域づくり</li> </ul>          |
| 小 田 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと小田を楽しく! もっと小田を好きになる!</li> </ul>                                              |
| 大 庄 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・出会い ふれあい ささえあいが地域を育む</li> </ul>                                                 |
| 立 花 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民一人ひとりが役割と自分の居場所を持ち、笑顔で安心して暮らしていけるまちづくり</li> </ul>                             |
| 武 庫 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから高齢者まで関わりのある地域</li> <li>・人と人がつながれる地域</li> <li>・人づくりができる機会や場のある地域</li> </ul> |
| 園 田 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や地域団体、地域に住むみんなが支えあい・助けあえる、みんなでつくる、永く住み続けたい新時代に応じた新しいまち</li> </ul>             |

## 尼崎市の状況 (2021(R3)年3月31日現在)

|    | 総人口数    | 年少人口数<br>(0歳から14歳) | 生産年齢人口数<br>(15歳から64歳) | 高齢人口数<br>(65歳以上) | 後期高齢者人口数<br>(75歳以上) | 高齢化率<br>(高齢人口数÷総人口数) | 世帯数     | 保護率   | 社協加入率  |
|----|---------|--------------------|-----------------------|------------------|---------------------|----------------------|---------|-------|--------|
| 全市 | 461,988 | 53,019             | 281,384               | 127,585          | 67,187              | 27.62%               | 238,433 | 3.86% | 46.13% |
| 中央 | 52,752  | 4,755              | 31,967                | 16,030           | 8,260               | 30.39%               | 29,864  | 5.04% | 49.94% |
| 小田 | 74,787  | 8,738              | 44,412                | 21,367           | 11,713              | 28.57%               | 38,698  | 3.63% | 51.79% |
| 大庄 | 52,891  | 5,491              | 30,486                | 16,914           | 9,318               | 31.98%               | 27,789  | 4.20% | 69.85% |
| 立花 | 107,996 | 12,066             | 66,384                | 29,549           | 15,275              | 27.36%               | 55,928  | 3.28% | 45.09% |
| 武庫 | 76,218  | 9,555              | 46,811                | 19,852           | 10,416              | 26.05%               | 37,499  | 3.21% | 26.96% |
| 園田 | 97,344  | 12,414             | 61,327                | 23,603           | 12,205              | 24.25%               | 48,655  | 2.87% | 42.62% |

| 中央支部推進計画                                                                                                                                                                                                                                                           | つながりづくり | 場づくり | 人づくり |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------|------|
| <b>地区の概要・魅力</b><br>起伏の少ない地形で、自転車などでの移動がしやすく、商店街だけでなく、大型スーパーも点在しており買い物がしやすく利便性が高い。<br>寺町、文化財収蔵庫、尼崎城があり、薪能も催されているなど伝統文化が根ざしている。<br>古い民家が多いが、下町風情の人情味があふれる土地柄でもある。                                                                                                    |         |      |      |
| <b>地区の課題</b><br>近年空き家が多くなり、高齢化もすすんでいる。地域コミュニティでは、新住民がコミュニティに加入することが少なく、地域の高齢化に合わせるように担い手も高齢化しており、新たな担い手が不足している。地区の大部分が海拔ゼロメートル地帯であり、津波被害に関心を持つ住民が多い。                                                                                                               |         |      |      |
| <b>ありたい姿・めざす姿・方向性</b><br>昔ながらのご近所づきあいが色濃く残っており、お互いが気兼ねなく声かけができる地域コミュニティを目指している。<br>また、津波に関心を持つ住民が多く、災害への備えの一環としてお互い顔がわかる地域づくりも行っている。                                                                                                                               |         |      |      |
| <b>共通取組項目・目標・目的等</b><br>「高齢者等の見守り活動を推進する」地域で安心して暮らすための地域福祉活動として、そして地域のつながりづくりを進めるために「高齢者等の見守り活動」を広げる                                                                                                                                                               |         |      |      |
| <b>具体的な取組内容等</b> <div style="float: right; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 10px;">つながりづくり</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全連協圏域で「高齢者等見守り安心事業」の実施を目指す</li> <li>・見守り支えあい事業の実施</li> <li>・連協圏域に拘らない新たな見守り地区を一つ立ち上げ</li> </ul> |         |      |      |
| <b>支部重点取組項目1</b> <div style="float: right; margin-right: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 10px;">場づくり</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 10px;">人づくり</div> </div>          |         |      |      |
| <b>支部重点取組項目2</b> <div style="float: right; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 10px;">つながりづくり</div>                                                                                                                                         |         |      |      |
| <b>支部重点取組項目3</b> <div style="float: right; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 10px;">つながりづくり</div>                                                                                                                                         |         |      |      |

| 小田支部推進計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | つながりづくり | 場づくり | 人づくり                                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>地区の概要・魅力</b><br>JR線を挟み南北に広い地域。JR尼崎駅周辺は「本当に住みたい街大賞2018 in 関西」において1位を受賞<br>JR尼崎駅周辺を中心とした高層マンションが立ち並び新しい若い世代が多くなる一方、駅から離れた地域では高度経済成長期に建てられた住宅や長屋が多く独居高齢者が多い。                                                                                                                                                                       |         |      |                                                                                             |
| <b>地区の課題</b><br>南北に広い小田地区はJRと阪神電車の駅近の商業地から閑静な住宅街など地域によってそれぞれの課題が生じる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域とも高齢化が進み、独居高齢者、高齢者世帯などが増加。さらに近所同士の関係が希薄による孤独、孤立が生じる。</li> <li>・担い手不足、地域の魅力をみんなが知る機会や住民の困りごとなど課題について話しあう場が少ない。</li> <li>・子どもや高齢者の見守り活動グループが増えにくいことや災害時などに支えあえる環境づくりが拡張されていない。</li> </ul>                            |         |      |                                                                                             |
| <b>ありたい姿・めざす姿・方向性</b><br>「もっと小田を楽しく！もっと小田を好きになる」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事やイベントを通じ、住民同士がふれあい声かけあい顔が見える関係を築き、次の担い手につなげていける小田（つながる）</li> <li>・地域ぐるみで様々な課題を解決できるようにみんなで話し合う場を増やし、誰もが安心して暮らせる小田（話しあう）</li> <li>・見守り活動グループを増やし、孤独や孤立がなくいざという時に助けあい・支えあえる関係づくりをすすめる小田（支えあう）</li> <li>・助けあい、支えあえる関係づくりをすすめる小田</li> </ul> |         |      |                                                                                             |
| <b>共通取組項目・目標・目的等</b><br>「高齢者等の見守り活動を推進する」地域で安心して暮らすための地域福祉活動として、そして地域のつながりづくりをすすめるために「高齢者等の見守り活動」を広げる                                                                                                                                                                                                                              |         |      |                                                                                             |
| <b>具体的な取組内容等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全連協圏域で「高齢者等見守り安心事業」の実施を目指す</li> <li>・見守り支えあい事業の実施</li> <li>・連協圏域に拘らない新たな見守り地区を一つ立ち上げる</li> </ul>                                                                                                                                                                          |         |      | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 10px;">つながりづくり</div> |
| <b>支部重点取組項目1</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |         |      |                                                                                             |
| 地域住民同士がつながる<br><br><b>具体的な取組内容等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の情報を積極的に発信する（地域情報の共有・地域誌の発行）</li> <li>・地域行事やイベントを通じて、福祉活動を広め、加入を勧める<br/>（子どもから大人まで参加できる行事やイベントの開催で加入促進）</li> <li>・住民同士が集い、楽しく話しあう場をつくる（地域にふれあいサロンや百歳体操を行える場を増やす）</li> </ul>                                                                          |         |      | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 10px;">場づくり</div>    |
| <b>支部重点取組項目2</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |         |      |                                                                                             |
| 地域住民同士で話しあう<br><br><b>具体的な取組内容等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の困り事を話しあう場をつくる</li> <li>・より良いまちづくりのための学びの機会を増やす</li> <li>・誰もが楽しく参加し、役割を發揮できる場づくりをする</li> </ul>                                                                                                                                                       |         |      | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 10px;">人づくり</div>    |
| <b>支部重点取組項目3</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |         |      |                                                                                             |
| 地域住民同士で支えあう<br><br><b>具体的な取組内容等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの見守りや高齢者の見守り活動グループを増やす（新たな見守り活動グループの育成）</li> <li>・災害に備え、住民同士が助けあえるように、日頃から防災活動に取り組む（避難訓練、防災研修を実施）</li> <li>・安心・安全なまちづくりを目指して、防犯活動に取り組む（防犯研修、呼びかけなどの強化）</li> </ul>                                                                                   |         |      | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 10px;">つながりづくり</div> |

| 大庄支部推進計画                                                                                                                                                                                                                                                                      | つながりづくり | 場づくり | 人づくり |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------|------|
| <b>地区の概要・魅力</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の便が良く、スーパーや病院、銀行があり住みやすい。</li> <li>・武庫川があり、河川敷では散歩や体操に適している。また、盆踊りなどイベントもできるところとなっている。</li> <li>・ご近所が顔なじみの下町の風情がある。</li> </ul>                                                                                      |         |      |      |
| <b>地区の課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会役員のなり手不足 ・子育て世代とのかかわり方 ・50～60歳代の活動への参加</li> <li>・空き家、単身世帯の増加 ・つどい場が少ない ・コロナ禍での課題（フレイル化）</li> </ul>                                                                                                                     |         |      |      |
| <b>ありたい姿・めざす姿・方向性</b> <p>出会い ふれあい ささえあいが地域を育む</p>                                                                                                                                                                                                                             |         |      |      |
| <b>共通取組項目・目標・目的等</b> <p>「高齢者等の見守り活動を推進する」</p> <div style="text-align: right;">つながりづくり</div><br><b>具体的な取組内容等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りが必要と思う人、気になる人への声かけ</li> <li>・災害時等での声かけ</li> <li>・見守り安心委員会、研修会の充実</li> </ul>                                        |         |      |      |
| <b>支部重点取組項目1</b> <div style="text-align: right;">場づくり</div> <p>居場所を増やそう</p><br><b>具体的な取組内容等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にある物を活用（会館や空家等）</li> <li>・子どもから高齢者まで集まれる場づくり（地域食堂等）</li> <li>・活動できる場と情報の紹介</li> </ul>                                               |         |      |      |
| <b>支部重点取組項目2</b> <div style="text-align: right;">人づくり</div> <p>地域のお手伝いさんを増やそう</p><br><b>具体的な取組内容等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS等を活用した地域情報の発信</li> <li>・「加入者門標シール」や「加入促進パンフレット」を活用した加入促進</li> <li>・地域のことを気にかけている人たちが集まり話せる場「地域福祉ネットワーク会議（協議体）」の開催</li> </ul> |         |      |      |

| 立花支部推進計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | つながりづくり | 場づくり | 人づくり |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------|------|
| <b>地区の概要・魅力</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尼崎市の北部寄りに位置し、鉄道（阪急、JR）や大きな幹線道路もあり、商店街や大型商業施設、スーパーなども充実した地域で生活するには便利な地域である。</li> <li>・保育園や小学校の数も充実しており、またすこやかプラザもあり、子育て世帯には良い環境である。</li> <li>・地震発生時の津波の被害においては、大阪湾から一定の距離があるため大きな被害は少ない地域である。</li> <li>・サロンや子育てサークル等が多く、地域活動が活発である。</li> </ul>                                                                                                                                 |         |      |      |
| <b>地区の課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推計世帯数は市内で一番多いが、若い単身世帯や賃貸の集合住宅居住者も多いことから社協への加入率はやや低めである。</li> <li>・地域の役員が高齢化してきており、次に引き継げる担い手がない。また育っていない。</li> <li>・連協によっては子どもや高齢者がつどえる場が少ない地域がある。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                    |         |      |      |
| <b>ありたい姿・めざす姿・方向性</b> <p>住民一人ひとりが役割と自分の居場所を持ち、笑顔で安心して暮らしていけるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社協が取り組む事業について地域に広く理解を図り、社協の存在を積極的にPRしていく。</li> <li>・若い世代が次の地域の担い手として活躍できるよう担い手の育成に努める。</li> <li>・日頃より他機関との関係づくりをすすめる事で、いざという時などの連携がスムーズに行くように努める。</li> </ul>                                                                                                                                                            |         |      |      |
| <b>共通取組項目・目標・目的等</b> <p>「高齢者等の見守り活動を推進する」地域で安心して暮らすための地域福祉活動として、そして地域のつながりづくりをすすめるために「高齢者等の見守り活動」を広げる</p> <div style="text-align: right;">つながりづくり</div> <b>具体的な取組内容等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全連協圏域で「高齢者等見守り安心事業」の実施を目指す</li> <li>・見守り支えあい事業の実施</li> <li>・連協圏域に拘らない新たな見守り地区を立ち上げる</li> </ul>                                                                                                                       |         |      |      |
| <b>支部重点取組項目1</b> <div style="text-align: right;">場づくり</div> <p>元気で笑顔のあふれる地域<br/>（健康づくり・コミュニケーション）</p> <p>誰もが心身共に健康で過ごしやすい地域を目指し、地域の健康づくり及び集い場づくりの推進を図る</p> <b>具体的な取組内容等</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域の健康づくりの推進を図る</li> <li>②多世代がつどえる交流の場づくりの実施を図る</li> <li>③互いが笑顔でコミュニケーション豊かな地域づくりを図る</li> </ol>                                                                                                                    |         |      |      |
| <b>支部重点取組項目2</b> <div style="text-align: right;">場づくり</div> <p>互いに見守り支えあえる地域<br/>（見守り・支えあい）</p> <p>地域で見守り、支えあえる仕組みづくりの推進を図るため、地域の活動者及び関係機関と連携し様々な取り組みをすすめて行く</p> <b>具体的な取組内容等</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>①訪問型見守りのみならず、つどい場型の見守り活動も推進し、いずれは訪問型の新規立ち上げにも繋がるような仕掛けをすすめて行く</li> <li>②生活支援サポーター養成研修等修了者が地域で活躍できる場の提供及び組織化を図る</li> <li>③地域で子どもを支え、育てながら子育て世代の家庭の支援も図る</li> </ol>                                            |         |      |      |
| <b>支部重点取組項目3</b> <div style="text-align: right;">つながりづくり</div> <div style="text-align: right;">人づくり</div> <p>住みやすい地域環境<br/>（美化活動・防災・防犯）</p> <p>楽しみながら地域環境について学び、誰もが安全・安心な地域で過ごせるような取り組みをすすめて行く</p> <b>具体的な取組内容等</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>①健康に楽しみながら美化環境について学べる活動への取り組みを図る</li> <li>②避難行動要支援者への支援を視野に入れた、各関係機関との連携が取れた防災への取り組みを図る</li> <li>③立花支部アンバサダー(支部のPR活動をしていただける方)を創設した事による、加入促進及び防災・防犯への呼びかけの推進を図る</li> </ol> |         |      |      |

| 武庫支部推進計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | つながりづくり | 場づくり | 人づくり |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------|------|
| <b>地区の概要・魅力</b><br>水と緑が豊かであり、虫が舞う自然を大切に、近郊農業が盛んで武庫地区の農業を守ろうとしている。また、交通ルールを学べる大きな公園や安全で快適な住みやすい街をつくるための区画整理により都市整備がされている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |         |      |      |
| <b>地区の課題</b><br>地域でのつながりの希薄化が進んでいく中で、情報交換ができる交流の場が少なく、中でも子どもと親の支援や場づくりが進んでいない。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |         |      |      |
| <b>ありたい姿・めざす姿・方向性</b><br>子どもから高齢者まで関わりのある地域。人と人がつながれる地域。人づくりができる機会や場のある地域。お世話好きな人を発掘し、貴重な人材として増やしていきたい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |         |      |      |
| <b>共通取組項目・目標・目的等</b><br>「高齢者等の見守り活動を推進する」地域で安心して暮らすための地域福祉活動として、そして地域のつながりづくりをすすめるために「高齢者等の見守り活動」を広げる <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">つながりづくり</div> <b>具体的な取組内容等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全連協圏域で「高齢者等見守り安心事業」の実施を目指す</li> <li>・見守り支えあい事業の実施</li> <li>・連協圏域に拘らない新たな見守り地区を一つ立ち上げる</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                       |         |      |      |
| <b>支部重点取組項目1</b><br>安全で安心して暮らせる地域づくり <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">つながりづくり</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">場づくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">人づくり</div> </div> <b>具体的な取組内容等</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>①各連協圏域に、地域課題を協議検討する地域福祉会議を設置し、地域の輪を広げよう。</li> <li>②多世代が安心して暮らせるよう「見守り活動」を増やそう。</li> <li>③地域活動の担い手を育てよう。</li> <li>④防災活動と福祉活動の連携により、災害時助けあえる強い「まちづくり」をすすめよう</li> </ol> |         |      |      |
| <b>支部重点取組項目2</b><br>誰もがいきいきと暮らせる地域づくり <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">つながりづくり</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">場づくり</div> </div> <b>具体的な取組内容等</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域の伝統行事やイベントを通じて地域力を向上させよう。</li> <li>②子育て支援事業の実施</li> <li>③青少年健全育成事業への支援</li> <li>④高齢者いきいき事業の実施</li> <li>⑤世代間交流事業の実施</li> </ol>                                                                                                   |         |      |      |
| <b>支部重点取組項目3</b><br>みんながつどえる地域づくり <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">つながりづくり</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">場づくり</div> </div> <b>具体的な取組内容等</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域福祉ネットワーク会議（協議体）の運営</li> <li>②誰もが気軽に参加し、役割を發揮できる「居場所」を増やそう。</li> <li>③こども食堂への支援</li> <li>④住民同士が支えあう、福祉協会加入をすすめる。</li> <li>⑤地域課の小学校区担当職員と連携し、地域づくりをすすめる。</li> <li>⑥各種団体事務局の運営</li> </ol>                                              |         |      |      |
| <b>支部重点取組項目4</b><br>情報交換ができる場づくり <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">つながりづくり</div> <b>具体的な取組内容等</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>①社協支部内の基本会議（常任理事会・理事会・単組会長会など）の活性化</li> <li>②住民主体の各種会議・研修会の開催（地域福祉ネットワーク会議・全体会など）</li> </ol>                                                                                                                                                                                                                                                                               |         |      |      |

| 園田支部推進計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | つながりづくり | 場づくり | 人づくり |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------|------|
| <b>地区の概要・魅力</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・猪名川・藻川の自然に囲まれ、田園や河川の風情を残し、人々に潤いを感じさせるとともに古墳などの遺跡も多く歴史的にも貴重な地域。</li> <li>・地域には、大きな工場も少なく住宅地域であり、年々新しい住民も増加している。</li> <li>・古くからある地域では、代々地域コミュニティが醸成され、地域の人々のつながりは強い。</li> </ul>                                                                                                                                                 |         |      |      |
| <b>地区の課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔から地域に住む世帯が多く、人とのつながりが多い反面、新たな戸建て、マンション等の開発が進むにつれ地域になじみがない世帯も増え地域コミュニティが希薄になりつつある。</li> <li>・地域の高齢化とともに、人々の価値観が多様化している中、地域における共助互助活動が希薄になりつつある。</li> </ul>                                                                                                                                                                       |         |      |      |
| <b>ありたい姿・めざす姿・方向性</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や地域団体、地域に住むみんなが支えあい・助けあえる、みんなでつくる、永く住み続けたい新時代に応じた新しいまち。</li> <li>・行事の見直しなどを図り、新時代に応じた地域福祉活動の再構築を図る。</li> <li>・地域の魅力を地域住民と共有し、地域力の向上を目指す。</li> </ul>                                                                                                                                                                   |         |      |      |
| <b>共通取組項目・目標・目的等</b> <p>「高齢者等の見守り活動を推進する」地域で安心して暮らすための地域福祉活動として、そして地域のつながりづくりをすすめるために「高齢者等の見守り活動」を広げる</p> <p style="text-align: right;">つながりづくり</p> <b>具体的な取組内容等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全連協圏域で「高齢者等見守り安心事業」の実施を目指す</li> <li>・見守り支えあい事業の実施</li> <li>・連協圏域に拘らない新たな見守り地区を一つ立ち上げる</li> </ul>                                                                         |         |      |      |
| <b>支部重点取組項目1</b> <p>むすぶ つながる関係づくり</p> <p style="text-align: right;">つながりづくり</p> <b>具体的な取組内容等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人や地域の困りごとに対し、地区内でケース検討を行い、むすぶ・つながる関係をつくります</li> <li>・全市的な対応や調整が必要な場合は、市内社協内での検討会議を行います</li> <li>・社協、NPOや企業、学校などの多様な団体、地域包括支援センターなどの専門機関や行政、地域住民が必要に応じて、話しあい、行動できる地域ネットワークの構築を強化します</li> <li>・地域の資源、地域の歴史、地域の行事などの地域財産の見える化をすすめます</li> </ul> |         |      |      |
| <b>支部重点取組項目2</b> <p>見守る 見守られる関係づくり</p> <p style="text-align: right;">つながりづくり      人づくり</p> <b>具体的な取組内容等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもも大人もあいさつや声かけあえる関係づくりを築きます</li> <li>・ちょっとしたおせっかいができる関係づくりを築きます</li> <li>・気軽に助けてといえる関係づくりを築きます</li> <li>・高齢者の実態、ちょっとした変化に気づき、日頃から助けあえる関係づくりを築きます</li> </ul>                                                                      |         |      |      |
| <b>支部重点取組項目3</b> <p>誰もが居られる場づくり</p> <p style="text-align: right;">場づくり      人づくり</p> <b>具体的な取組内容等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気楽に集まり誰もがワイワイできるところを広めます</li> <li>・子どもも大人も誰もが知りあえるところを広めます</li> <li>・子どもも大人も誰もが役割をもてるところ広めます</li> <li>・子どもも大人も誰もが参加できる地域行事を広めます</li> </ul>                                                                                              |         |      |      |

3

**みんなが支えあえるつながりづくりを**

**すすめる（つなげる、つながる）**



推進項目1 「様々な生活福祉課題解決のために必要な専門機関、団体のネットワークの充実を図ります」

### ■現状と課題

- 地域福祉ネットワーク会議(協議体)等(地域福祉会議も含む)が設置され、地域課題の協議や解決に向けての取り組みが始まっていますが、今後さらに取り組みをすすめていく必要があります。一方、全市で取り組む課題についての協議などは十分とは言えません。
- 「むすぶ」に配置された地域福祉活動専門員は、各専門機関とも連携し様々な個々の生活福祉課題に取り組み、制度の谷間や狭間のケースに対応しています。
- 市内社会福祉法人においても市社協を中核とした連携・協働に取り組む必要があります。
- 市社協は、これまでも複雑化・複合化した課題に取り組んできましたが、2022(R4)年度からの重層的支援体制整備事業が始まることにより、これまでの取り組みと公的な期待に加えて市社協としての強みを活かし取り組んでいく必要があります。
- 社会的孤立のない、多様なつながりのある地域をめざし、これまで以上に住民主体で、地域づくりをすすめていく必要があります。

### ■めざす姿（ありたい姿）

地域で起こる様々な課題に対応するために、地域福祉ネットワーク会議（協議体）等各種のネットワークを通じて、専門機関・団体と連携を図り、住民同士の助けあい活動を推進し、課題を解決するしくみづくりをすすめます。

また複雑化・複合化した課題に対応し、住民主体のつながりのある地域づくりをすすめます。

### ■取組項目

#### ① 地域福祉ネットワーク会議(協議体)等の充実

| 具体的な取組                    | 事業概要                                                                                | 担当      |
|---------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 専門機関・団体等とのさらなる連携と解決に向けた取組 | ・各地区の地域福祉ネットワーク会議（協議体）により日頃からの連携を強化し、知識、情報を共有し課題解決に取り組む。また、全市で取り組むべき課題についての提案なども行う。 | むすぶグループ |

|                                       |                                                                                                   |        |
|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 市内社会福祉法人との連携の<br>拡充と公益的な取組の実施         | ・市内の民間社会福祉施設連絡協議会「ほっとかへんネット尼崎」への加入促進と具体的な地域における公益的な取り組みについて検討し実施する。                               | 企画グループ |
| 制度の谷間や狭間への対応、複<br>合的な課題を抱える世帯への<br>対応 | ・制度の谷間や狭間への対応に引き続き取り組み、複合的な課題を抱える世帯への対応について、重層的支援体制整備事業のしくみの活用のほか市社協内部、専門機関、団体、住民と連携してともに考え、取り組む。 | 全      |

② 複雑化・複合化した課題への対応や地域づくりの継続と更なる展開

重層的

「尼崎市社会福祉協議会と重層的支援体制整備事業との関係イメージ図」参照

| 具体的な取組                                                       | 事業概要                                                             | 担当           |
|--------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|--------------|
| 属性・世代を問わない相談<br>の実施(包括的相談支援事業<br>に準ずる) (再掲)                  | ・むすぶグループをはじめとする各窓口で、属性や世代を問わない、包括的な相談を実施する。                      | 全            |
| 地域づくり事業(地域社会<br>からの孤立防止、多世代の交<br>流や多様な活躍の場を確保<br>する地域づくり)の実施 | ・生活支援コーディネーターを中心に住民主体のつながりのある地域づくりをすすめる。                         | むすぶグループ      |
| アウトリーチ等を通じた<br>継続的支援事業への参画                                   | ・複雑化複合化した課題を抱え、必要な支援が届いていないであろう人、支援に拒否的な人などにアウトリーチを中心とした支援へ参画する。 | むすぶグループ<br>他 |
| 参加支援事業への協力                                                   | ・社会とのつながりを回復するツールとして、主に地域福祉活動を実施する社会資源に強みがある市社協の特色を活かし事業に協力する。   | むすぶグループ<br>他 |

■取組のスケジュール

| 具体的な取組                                | 2022年度   | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 |
|---------------------------------------|----------|--------|--------|--------|--------|
| 専門機関・団体等との更なる<br>連携と解決に向けた取組          | 検討<br>実施 | →      | 振り返り   | 実施     | →      |
| 市内社会福祉法人との連<br>携と公益的な取組の実施            | 検討       | →      | 実施     | →      | →      |
| 制度の谷間や狭間への対<br>応、複合的な課題を抱える<br>世帯への対応 | 検討<br>実施 | →      | 振り返り   | 実施     | →      |
| 複雑化・複合化した課題へ<br>の対応                   | 検討<br>実施 | →      | 振り返り   | 実施     | →      |

## ■活動目標

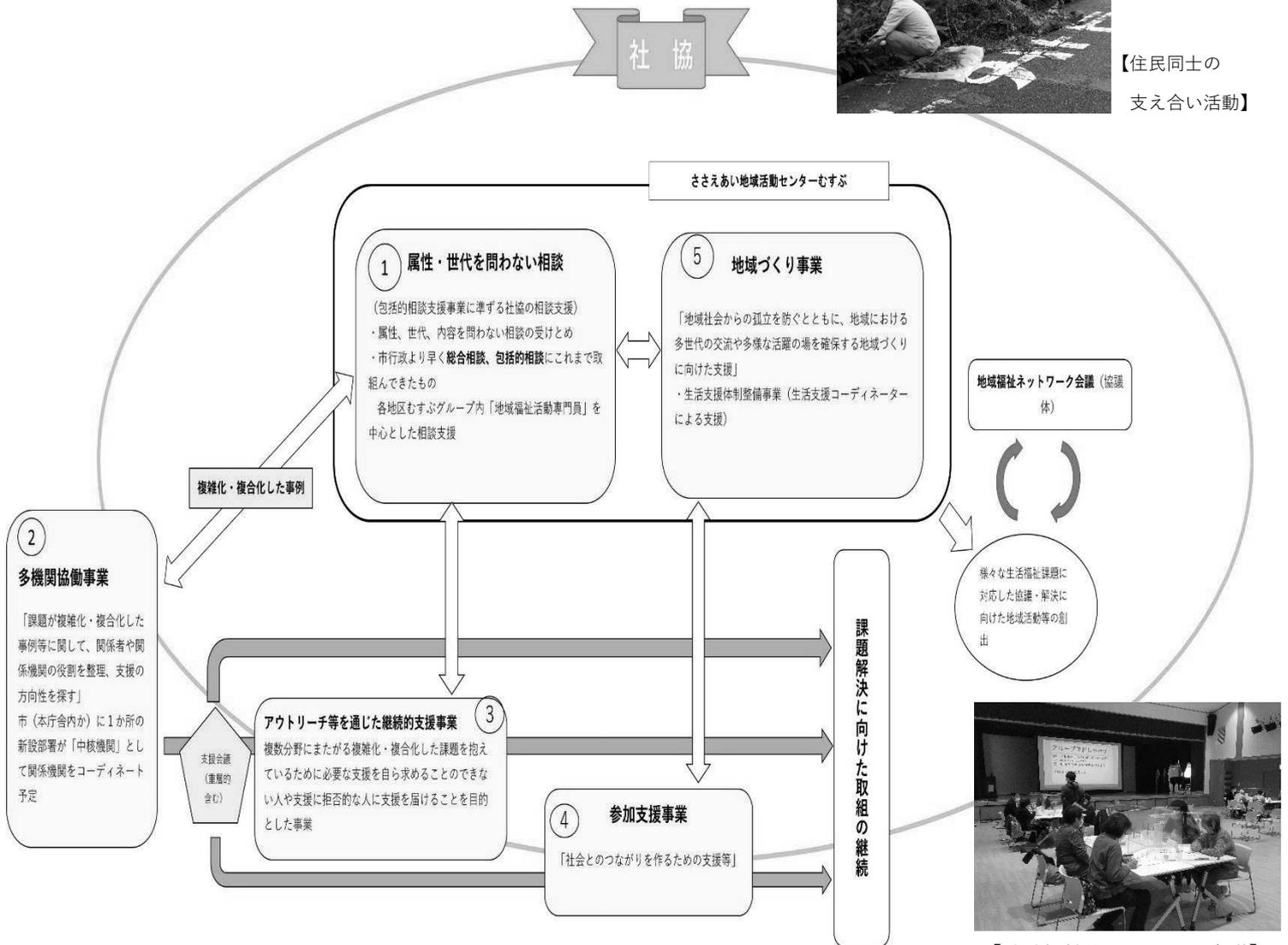
| 取組項目                     | 活動目標                  | 現在の姿<br>(2020年度実績) | 目標 |
|--------------------------|-----------------------|--------------------|----|
| 専門機関・団体等との更なる連携と解決に向けた取組 | 地域福祉ネットワーク会議(協議体)の開催数 | 41回                | ↑  |

### 【市社協の考えるイメージ】

⇔ は、連携をしめています。



【住民同士の  
支え合い活動】



【地域福祉ネットワーク会議】

## 3

## みんなが支えあえるつながりづくりを

## すすめる（つなげる、つながる）



## 推進項目2 「権利擁護支援の充実を図ります」

## ■現状と課題

- 市社協では、地域において判断能力が不十分な方々の権利を擁護するために、日常生活自立支援事業や成年後見制度の推進に取り組んでいます。
- 2014（H26）年7月から「成年後見等支援センター」を尼崎市から受託し、さらに2018（H30）年1月から南北2か所にセンターを設置し、より身近な相談窓口として運営しています。
- 利用者のノーマライゼーション、自己決定の尊重、身上の保護の重視といった成年後見制度の理念の尊重、地域の需要に対応した制度の利用促進、制度の利用に関する体制の整備を基本理念とする「成年後見制度の利用の促進に関する法律」が2016（H28）年から施行されています。
- 成年後見制度の利用を促すためには、様々な関係団体の地域ネットワークの中心的な役割を果たす中核機関が、家庭裁判所をはじめ、弁護士会などの専門職団体、医療福祉関係団体などと連携し、相談対応や後見人の支援等を行うことが重要です。
- 市社協は地域連携ネットワークの構築、および中核機関を受託するなど、成年後見制度利用促進にかかる取り組みを積極的にすすめていく必要があります。
- 高齢者だけでなく障がい者や外国籍の方など属性を問わない多様な相談が増加しており、解決にむすびつけるためにはより一層のセンター機能の向上が求められます。
- 市社協では以前から取り組んでいる日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）について市から補助を受けて利用者の拡大を図っており、2021（R3）年9月現在で約90名の方がこの事業を利用しています。しかし、この事業を必要とする人は年々増加しており、成年後見制度への移行を含めてさらなる拡充を図る必要があります。

## ■めざす姿（ありたい姿）

生きづらさを抱え社会の中で孤立しがちな人が、その人らしい生活を送るための意思決定支援等を行う権利擁護支援の地域連携ネットワーク体制を構築していきます。

また成年後見等支援センターがそのネットワークの中心的役割を担うことで成年後見制度を含む様々な制度・サービス等を適切に選ぶことができるように、利用者・後見人等の支援をすすめます。



【成年後見等支援センター】

■取組項目

① 成年後見等支援センター機能の充実等

| 具体的な取組                     | 事業概要                                                                                                                                                                                                                                | 担当       |
|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 地域連携ネットワークの構築              | ・成年後見等支援センター運営委員会を拡充し、地域連携ネットワークの強化を図る。                                                                                                                                                                                             | 権利擁護グループ |
| センター機能の拡大・充実               | ・制度の啓発、新たな講座の開催など広報の充実を図る。(広報機能の拡充)<br>・利用を希望する人だけでなく、関係する専門職への相談機能の充実を図る。(相談機能の拡充)<br>・受任者調整等の支援、担い手の育成・活動の促進、日常生活自立支援事業からの移行、成年後見制度促進のための関係機関のネットワークの構築など、成年後見制度の利用促進を図る。(成年後見制度利用促進機能の拡充)<br>・中核機関として後見人に対する支援を拡充する。(後見人支援機能の拡充) | 権利擁護グループ |
| 市民後見人養成研修の充実               | ・市民後見活動の周知を図るとともに、より魅力のある研修を実施する。                                                                                                                                                                                                   | 権利擁護グループ |
| 日常生活自立支援事業の継続および利用者の拡充への取組 | ・日常生活自立支援事業の体制を強化し、事業の継続および利用者増に向けた取組を実施する。                                                                                                                                                                                         | 権利擁護グループ |

■取組のスケジュール

| 具体的な取組                        | 2022年度      | 2023年度                                                                               | 2024年度 | 2025年度   | 2026年度                                                                                |
|-------------------------------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域連携ネットワークの構築                 | 拡充<br>運営    |   | 検証     | 検証<br>実施 |  |
| センター機能の拡大・充実                  | 中核機関を<br>受託 |   | 検証     | 検証<br>実施 |  |
| 市民後見人養成研修の充実                  | 実施          |  |        |          |                                                                                       |
| 日常生活自立支援事業の継続および利用者増へ向けた取組の実施 | 継続          |  |        |          |                                                                                       |

■活動目標

| 取組項目              | 活動目標           | 現在の姿<br>(2020年度実績) | 目標                                                                                    |
|-------------------|----------------|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 成年後見等支援センター機能の充実等 | 講座・研修会の開催回数    | 5回                 |  |
|                   | 市民後見人登録者数      | 30人                |  |
|                   | 日常生活自立支援事業利用者数 | 93人                |  |

## 中核機関としての成年後見等支援センターの取り組み内容

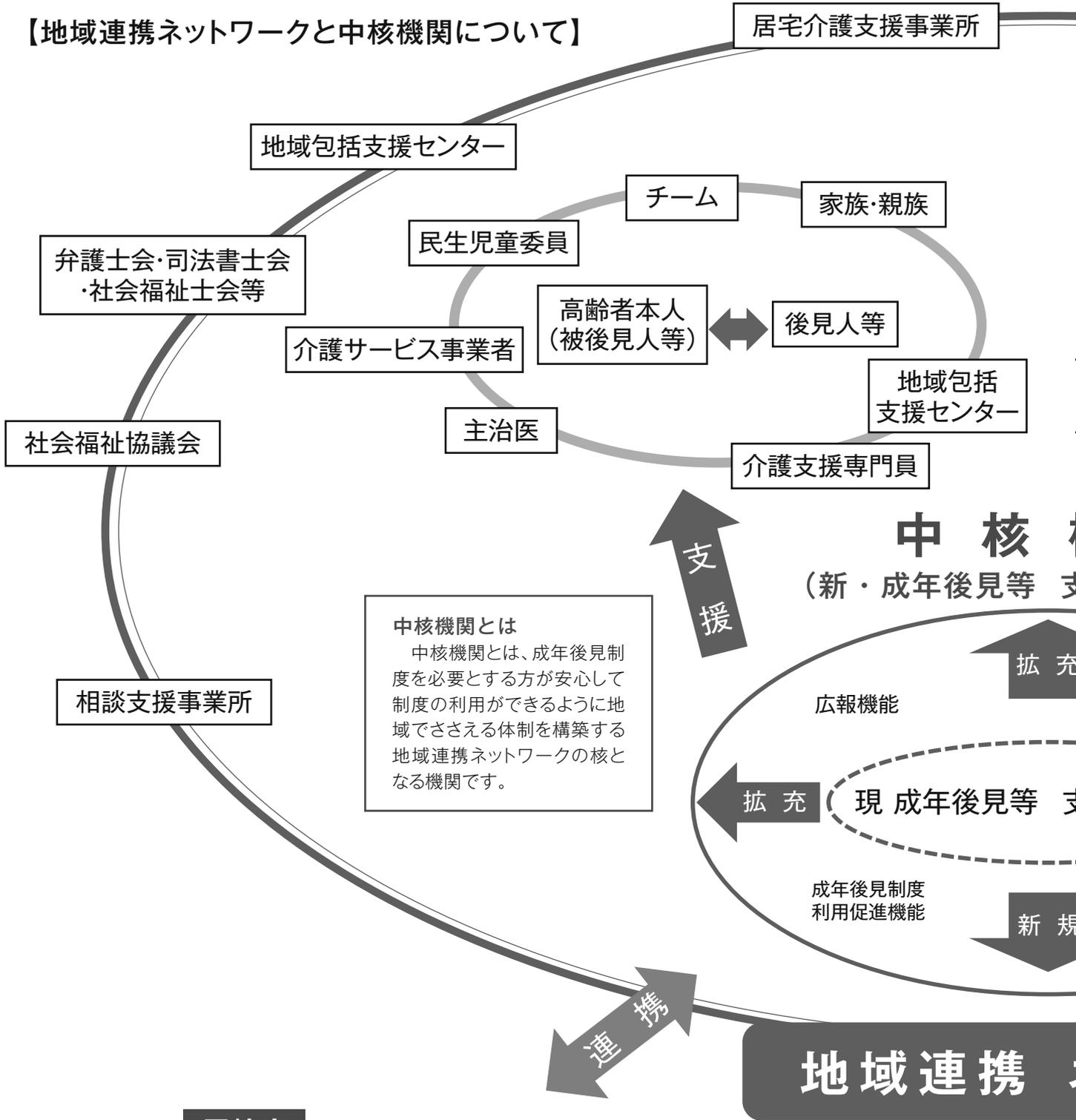
※は段階的に実施

下線は拡充 二重下線は新規

| 国が想定する中核機関の具体的な機能          | 現在の取り組み内容                                                                                                                  | 中核機関として今後の取り組み予定                                                                                                                                                                                         | 区分       |
|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 1. 広報機能                    | ①パンフレットの作成・配布<br>②市民、関係者向けフォーラムの開催<br>③相談会の開催<br>④講座等の開催<br>⑤広報における各団体との連携                                                 | ①成年後見制度利用促進にかかるパンフレットの見直し及び配布<br>②市民、関係者向け講座(フォーラム)の開催<br>③これまでは市民向けであった権利擁護専門相談会を専門職にも対応するなど開催内容の拡充<br>④出前講座の促進 ※<br>ア 民生委員向けの講座を新規開催<br>イ 専門職向けの講座実施<br>⑤各相談窓口、関係機関、医療機関、福祉サービス事業者等との連携(地域連携ネットワークの活用) | 拡充       |
| 2. 相談機能                    | ①相談窓口(南北保健福祉センター内)での<br>申立支援(親族や本人申立の書類支援)<br>②成年後見制度に関わるアセスメント等<br>③各専門職との相談支援体制の構築やケース依頼<br>④地域の各専門職との連携による被後見人等見守り体制の整備 | ①中核機関として本人・親族だけでなく専門職等対応の相談窓口<br>②成年後見制度に関わるアセスメント等<br>③既存の専門職に加えて行政書士会などとも連携して相談支援体制を構築 ※<br>④市社協内部の連携を強化し各むすぶグループや民生委員とも連携し見守り体制の整備                                                                    | 拡充       |
| 3. 成年後見制度利用促進機能            |                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                          |          |
| 受任者調整(マッチング)等の支援           | ①専門職後見人候補者の推薦・マッチング<br>②市民後見人受任調整<br>③家庭裁判所との連携                                                                            | ①専門職後見人候補者の推薦・マッチングのための受任調整会議の開催<br>②市民後見人受任調整<br>③家庭裁判所との連携                                                                                                                                             | 継続<br>新規 |
| 担い手の育成・活動の促進               | ①担い手の育成<br>市民後見人養成講座開催<br>フォローアップ研修開催                                                                                      | ①増加する市民後見人受任件数に対応するため既存の養成研修に加えて、生活支援サポーター養成講座と相互乗り入れをするなどの拡充                                                                                                                                            | 拡充       |
| 日常生活自立支援事業等関係制度からのスムーズな移行  | ①必要に応じて日常生活自立支援事業から移行                                                                                                      | ①日常生活自立支援事業から成年後見制度スムーズに移行できるシステムの構築(成年後見制度を見据えたプラン作成等)                                                                                                                                                  | 拡充       |
| 成年後見制度促進のための関係機関のネットワークの構築 | ①成年後見等支援センター運営委員会事務局業務                                                                                                     | ①成年後見等支援センター運営委員会(地域連携ネットワーク)事務局業務<br>ア 関係機関のネットワークの強化<br>イ 開催回数の増加<br>ウ 地域連携ネットワークのコーディネート機能の付加<br>エ 対応困難ケース支援に対する助言指導<br>オ 権利擁護支援における課題に対する協議や情報交換、事例検討等の実施                                            | 拡充       |
| 4. 後見人支援機能                 | ①市民後見人への支援としての監督人業務<br>②家庭裁判所との連携                                                                                          | ①市民後見人への支援としての監督人業務<br>②家庭裁判所との連携<br>③中核機関として後見人への支援 ※                                                                                                                                                   | 継続<br>新規 |

成年後見等支援センターのイメージ

【地域連携ネットワークと中核機関について】

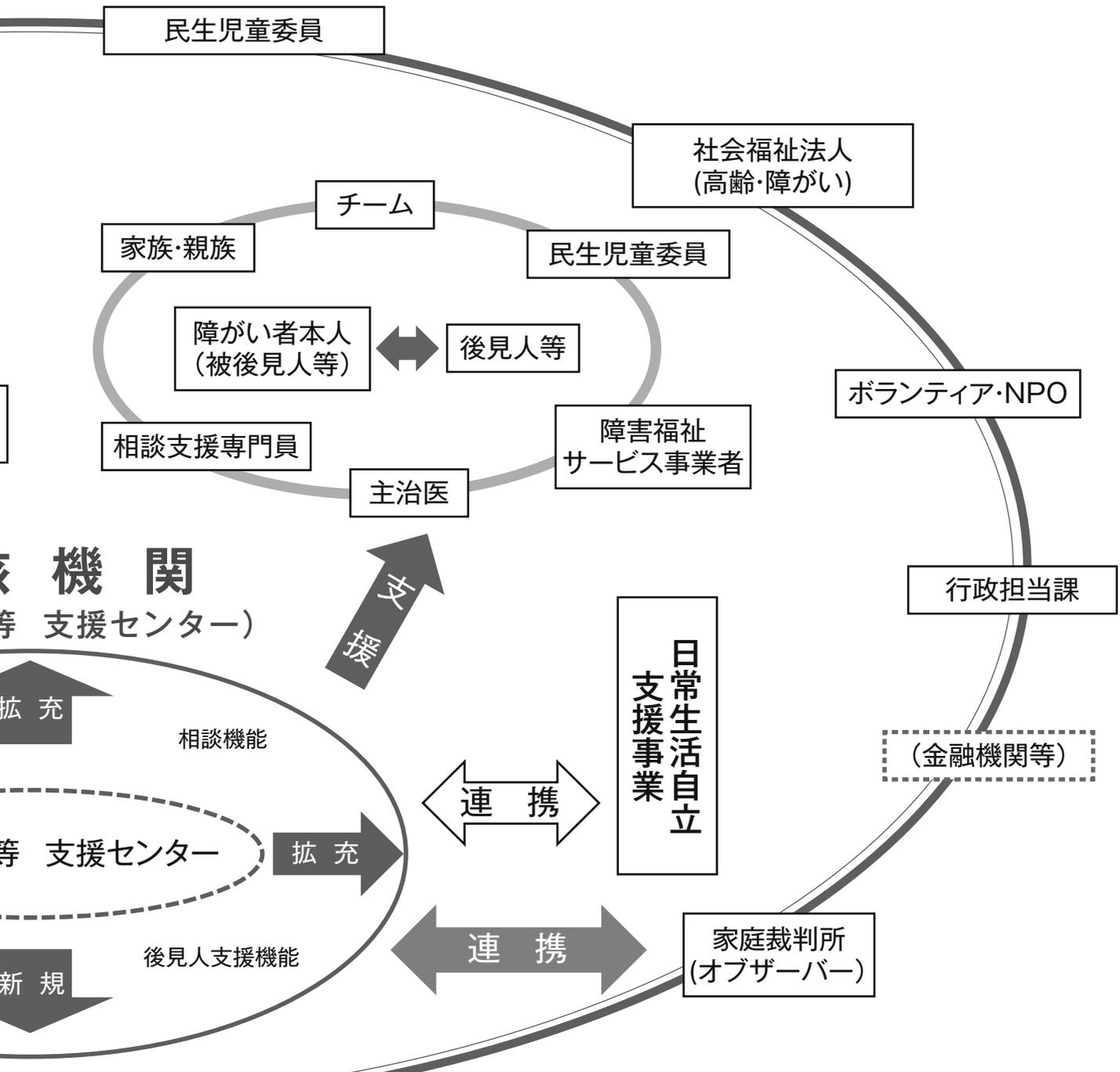


尼崎市

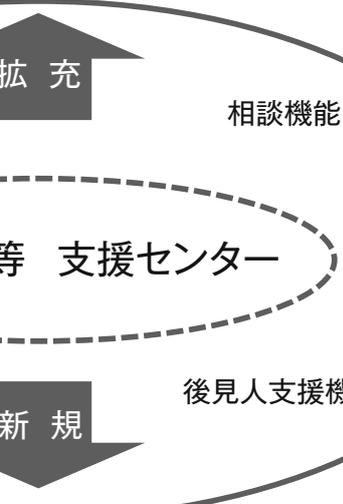
南北保健福祉センター

計画策定、実施、評価

- ・成年後見利用支援に係る体制整備
- ・財政支援(運営費補助、申立費用・後見報酬助成等)
- ・市長申立



機関  
等支援センター)



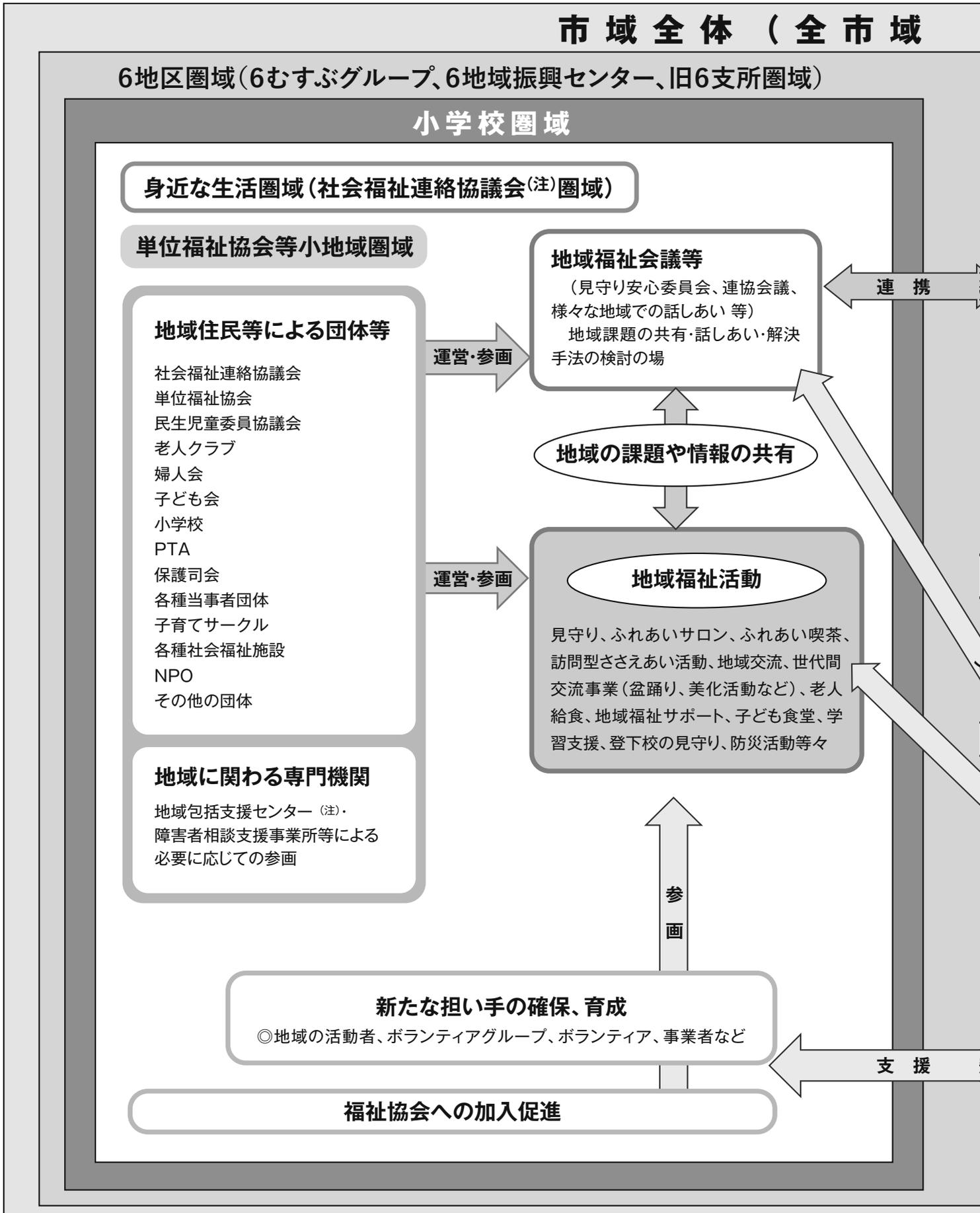
ネットワーク  
拡充

**成年後見等支援センター運営委員会 (現行)**

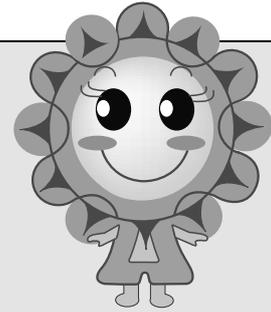
- ・専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士、医師等)・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所等
- ・民生児童委員・社会福祉法人(高齢者、障がいの施設・事業所等)・ボランティア、NPO団体等
- ・行政担当課(福祉相談支援課、包括支援担当課、障害者支援課、地域保健課等)・社会福祉協議会



### 3 地域福祉をすすめるネットワークの展開イメージ



# のネットワーク)



社協キャラクター あまりん

・地域福祉ネットワーク会議(協議体)  
・地域ケア会議等

地域課題の共有・検討・解決を協議  
住民や各種専門機関参画

支援

課題共有

・地域福祉推進協議会等

・「あまがさきし地域福祉計画」  
庁内推進会議等

## 尼崎市

地域振興センター  
(地域課)

南北保健福祉センター  
(各関係課)

## 尼崎市

- 地域福祉関連
- 高齢関連
- 障害関連
- コミュニティ関連 等々

各種専門機関、関係機関

・地域包括支援センター  
・いくしあ 等々

運営・参画・調整

協働・連携

協働・連携

協働・連携

運営・参画

## ささえあい

地域活動センターむすぶ  
(市社協むすぶグループ)

- ・地域活動の担い手育成、人材の発見、マッチング
- ・地域活動の立ち上げ支援、運営支援等
- ・活動者同士のむすびつけによる活動の活性化
- ・様々な居場所づくり・話しあう場づくり等

社協の総合的な相談支援  
(P15参照)

支援

情報共有・課題共有

複雑化・複合化した課題への対応等  
(P17、18参照)

## 市社協本部

地域福祉推進計画の推進

- ・法人マネジメント部
- ・地域福祉推進部  
(ボランティアセンター等)
- ・安心サポート部

## 第3章 計画の推進体制と進行管理

### 1 計画の推進体制

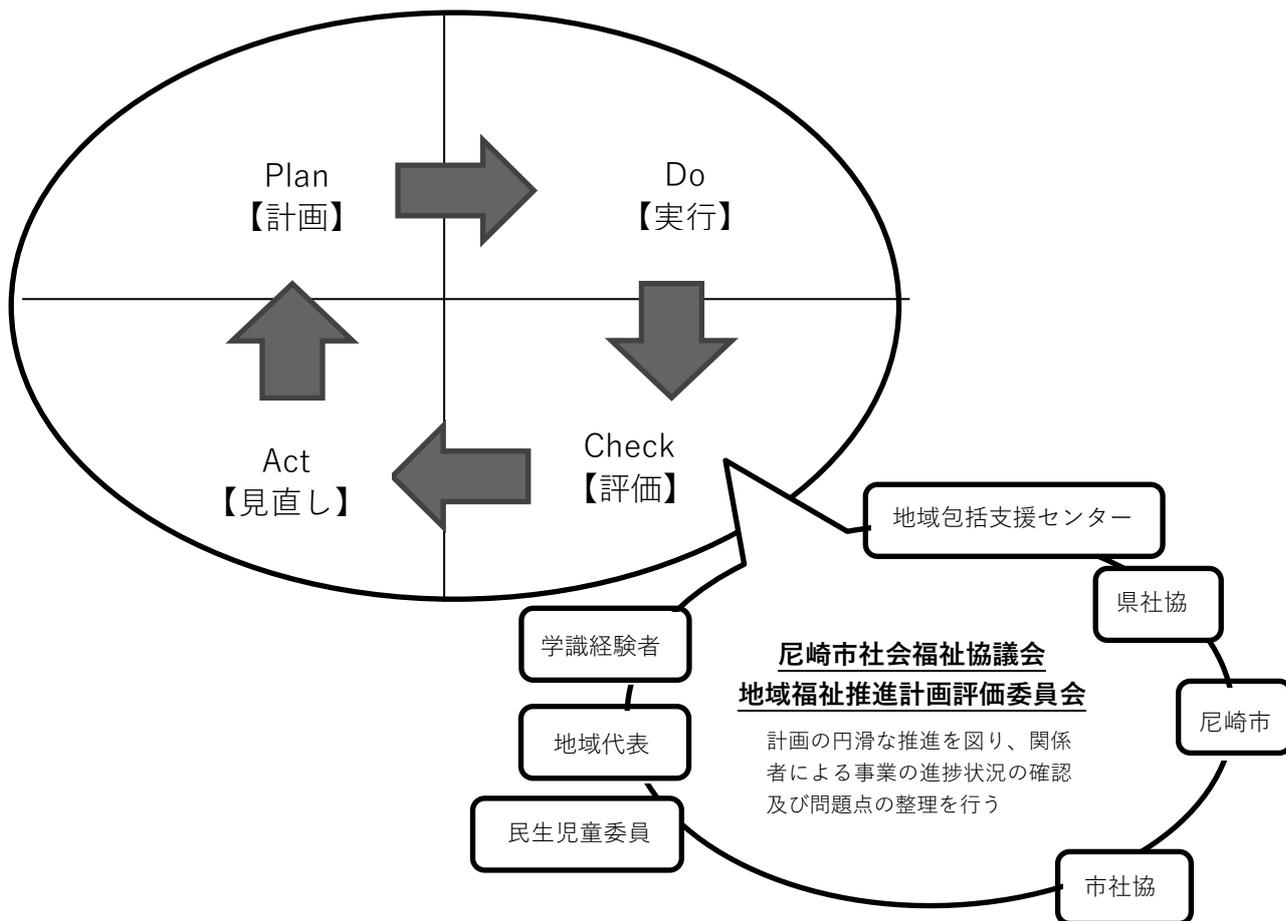
- この計画は、市社協が地域福祉活動をすすめていくための基本的な考え方を定めたものですが、あまがさきし地域福祉計画や市社協中期経営計画とも密接に関連していることから、整合性に留意し、連携して推進していく必要があります。
- また、この計画の推進については、行政だけではなく地域住民、ボランティア、関係機関、企業などの参加と参画のもと、取り組みをすすめていくことが必要です。

### 2 計画の進行管理

- 各基本目標の取り組みに合わせて取組項目、具体的な動きを記載しており、それぞれの項目等についての責任所在を明確にした執行体制を構築し、進行管理を行います。
- 本計画の進行管理は「計画」(Plan) → 「実行」(Do) → 「評価」(Check) → 「見直し」(Act) を繰り返す「PDCA サイクル」の考え方に基づき実施します。

### 3 評価の方法

- 関係者が参画する評価委員会を設置し、毎年度の総括的な評価を行います。
- 評価の方法については、毎年度の事業計画に基づき、量的に評価ができるように努めていきます。
- 地域福祉事業の性格上、量的に評価することでできない項目も多く、その場合は質的に評価することができる資料を作成します。
- 単年度の事業の評価については、事業実施部署からの取組項目の実施状況の報告によりそれぞれの事業の点検・評価を行うなかで、進行管理と事業評価を行い、次年度の事業計画に反映させていきます。



## 4 成果目標の設定

事業実施による成果を定量的に測る目標として、活動担い手意識調査等により、基本目標ごとに目標を設定し、現状値と比較して評価を行います。

### ■基本目標1 「誰でも気軽に相談できる場をつくる（みつける、うけとめる）」

- 1 総合的な相談支援体制づくりをすすめます
- 2 社会資源情報の収集と共有化をすすめます
- 3 社協の広報を充実させます（社協の魅力を伝えます）

#### 「困りごとがあった時に社協の窓口で相談しようと思う人の割合」

めざす姿

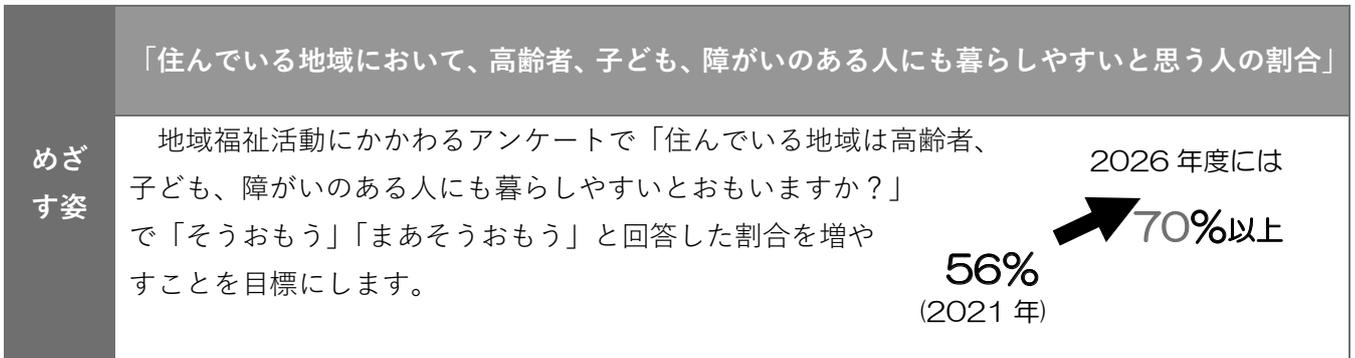
地域福祉活動にかかわるアンケートで「困りごとがあった時に相談しようと思う窓口はどこですか？」で「社会福祉協議会」と回答した割合に「相談できる窓口を知らない」「相談しようと思わない」の割合を加えたものを目標値にします。

14%  
(2021年)

2026年度には  
 25%以上

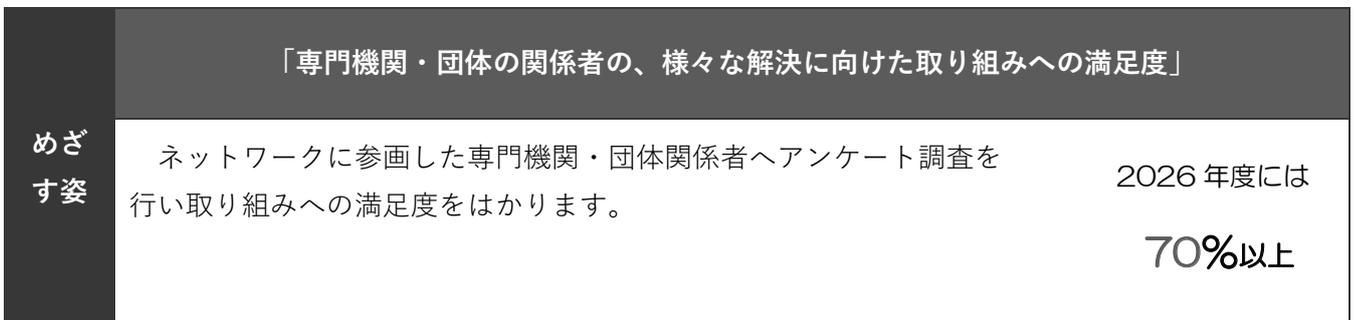
■基本目標2 「地域で安心して暮らすための地域福祉活動をひろげる」(ささえあう)

- 1 多様な主体と地域住民が地域福祉活動に共に取り組めるしくみをつくります  
(人づくり)
- 2 誰もが安心して暮らすことができる地域づくりをすすめます(場づくり)
- 3 地域の多様なニーズに応えるために、むすぶ機能の充実をはかります



■基本目標3 「みんなが支えあえるつながりづくりをすすめる」(つなげる、つながる)

- 1 様々な生活福祉課題解決のために必要な専門機関・団体のネットワークの充実を図ります
- 2 権利擁護支援の充実を図ります



(参考資料)

## 用語説明(以下の用語は本書において、次のような意味で使用しています)

### あ

#### 尼崎市地域課 (18 ページほか)

市内 12 か所ある生涯学習プラザのうち、6 か所にある市の組織(各むすぶグループと隣接)。各地域における協働のまちづくりを推進するため、地域住民への情報提供・発信、相談業務、交流の場づくり、様々な団体や市民活動グループへの活動支援を行っている。併せて各種講座や事業を展開し、生涯に渡って互いに学び、活動していける「学びと活動が循環する地域づくり」に取り組んでいる。

#### SNS (15 ページほか)

Social Networking Service(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の略称のこと。スマホやパソコンを使って人間関係を構築することのできるオンライン上のコミュニティサービスの総称。(代表的なものとして、Twitter(ツイッター)、Facebook(フェイスブック)、LINE(ライン)や Instagram(インスタグラム)などがある)

### か

#### 逆境的体验 (41 ページ)

Adverse Childhood Experiences、ACEs。18 歳未満で遭遇した心的外傷を引き起こす可能性のある体験。

#### 権利擁護 (8 ページほか)

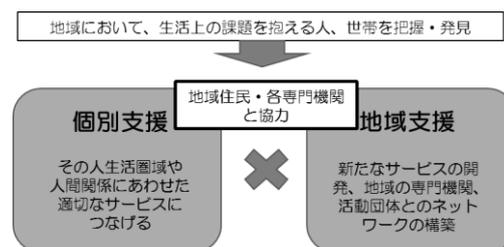
自己の権利を表明することが困難な認知症の高齢者、障がい者等が安心して暮らすために、様々な権利を守ること、権利の行使やニーズの表明を支援し代弁すること。

#### コミュニティ (1 ページほか)

一般的には、一定の範囲の地域に居住し、共に結びつきをもちながら生活している住民の集合体を指す。この計画では、地域において相互に支えあいや助けあいができる住民同士のつながりを指す。

#### コミュニティソーシャルワーク (45 ページほか)

地域において生活上の課題を抱える個人や家族に対する個別支援と、それらの人々が暮らす生活環境の整備や住民の組織化等の地域支援をチームアプローチによって統合的に展開する実践。本計画においてはコミュニティワークを含めた概念。



### さ

#### 災害ボランティアセンター (15 ページほか)

震災や水害などの大規模な災害が発生した時に、被災者支援のためにボランティア活動を円滑にすすめるための拠点のこと。近年では、大規模災害が発生すると被災地の社会福祉協議会が中心となって設置することが多い。

#### ささえあい地域活動センターむすぶ／「むすぶ」

(13 ページほか)

各地区生涯学習プラザ内、むすぶグループ(社協支部事務局)内に設置された、「住民同士が支えあい、助けあう地域づくりにつながる活動(見守り活動ほか様々な地域活動)を全面的に支援するセンター(担い手

育成、人材の発見、ニーズとのマッチング、活動の立ち上げ支援、運営支援、活動場所の確保協力等々)

#### **サロン** (11 ページほか)

家に閉じこもりがち高齢者や障がい者、子育て中の親子などが、身近な場所に気軽に出かけ、仲間づくりや生きがいつくりをすすめることにより、地域でいきいきと暮らせるよう支援する活動。

#### **事業継続計画(BCP)** (15 ページほか)

自然災害、大火災などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画。

#### **社会福祉連絡協議会(連協)** (12 ページほか)

尼崎市社会福祉協議会を構成する単位福祉協会の集合体で、地域で行われる様々な事業の主な実施主体として活動している。

#### **生活支援サポーター** (30 ページほか)

尼崎市が実施する養成講座(講習時間13時間)を受講することで、介護福祉士などの資格を持っていない方も、標準型訪問サービスに従事し、支援が必要な方々に対して、掃除、洗濯などの軽易な生活援助サービスを提供することができる。

#### **成年後見等支援センター** (10 ページほか)

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、成年後見制度を中心とした権利擁護に取り組む。主な取り組みは成年後見を中心とした権利擁護の相談及び支援、市民後見人養成・支援及び活動支援を行う。

#### **成年後見制度** (10 ページほか)

判断能力が不十分な認知症の高齢者や知的障がい者、精神障がい者等の権利を保護する民法に規定される制

度で、保護の必要に応じて補助、補佐、後見に分類される。

## **た**

#### **多機関協働事業** (22 ページほか)

課題が複雑化・複合化した事例等に関して、関係者や関係機関の役割、支援の方向性を整理するなど、ケース全体の調整を行ないながら、必要な支援を行う事業で、本市においては、市が直営で実施予定であり、中核機関として関係機関をコーディネートする予定。

#### **単位福祉協会** (7 ページほか)

尼崎市社会福祉協議会を構成する住民組織の単位で、他都市でいうところの自治会、町会にあたる。コミュニティ活動を中心に生活に密着した活動を行っている。

#### **地域包括支援センター** (63 ページほか)

2006(H18)年から、住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行うために各市町村に設置される機関。主な業務内容は、①介護予防、②総合相談、③権利擁護、④ケアマネジャー支援となっている。尼崎市では、各地区2か所の計12か所と、市包括支援担当が基幹型地域包括支援センター機能を担っている。

#### **地域情報共有サイト「あましえあ」** (11 ページほか)

公営・民営を問わず、地域の交流や集いの場、相談窓口、コミュニティ拠点施設、市民活動団体等の幅広い地域情報を掲載していくサイト。

## **な**

#### **日常生活自立支援事業** (10 ページほか)

高齢者や障がい者の方が地域で安心して生活できる

ように、各種福祉サービスの利用や手続き、サービスの利用料の支払いなどの支援を行う。

## は

### ファミリーサポートセンター

(41 ページほか)

援助を受けたい人と援助を行いたい人が会員となって、0歳～小学校6年生までの子どもを持つ家庭の支えあい活動を行うもの。

### フードドライブ (41 ページほか)

フードドライブとは、各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈する活動。

### フードパントリー (41 ページほか)

生活困窮者やひとり親家庭など、何らかの理由で十分な食事を取ることができない状況の人々に食品を無料で提供する支援活動。

### 福祉学習 (11 ページほか)

地域の当事者・ボランティア団体・施設等と連携し、自分の暮らすまちの福祉に関心をもってもらうための機会や場。

### 包括的相談支援事業 (22 ページほか)

属性や世代を問わない相談、必要に応じて支援機関のネットワークや複雑化・複合化した課題については適切に多機関協働事業と連携する相談支援事業。

### ホームスタート (44 ページ)

未就学児が1人でもいる家庭に、研修を受けた地域の子育て経験者が訪問し、家事・育児を一緒にしながら保護者に寄り添って支援する事業。

「家庭訪問型子育て支援ボランティア」

### ポストコロナ (12 ページほか)

ここでは、コロナ禍及びそれを含めたその後の状況を含めてポストコロナと呼ぶ。



## ま

### MYTREE ペアレンツプログラム

(41 ページほか)

虐待に至ってしまった子育てに悩む保護者を対象とした、再発防止のためのセルフケアと問題解決力を促すプログラム等。

## わ

### わが町シート(地域診断シート) (11 ページほか)

連協圏域を単位に地域の課題やその背景、現状を把握するための地域診断を目的としたシートであり、作成プロセスにおいて地域住民の方々との協力にも重点をおいているもの。

## 地域福祉推進計画策定にかかる地域福祉活動者(団体)等へのアンケート及び

### ヒアリングの実施結果について

#### 1. アンケート

(送付数) 813 部

(回答数) 405 部

(回答率) 50.4%

(期間) 2021(R3)年 5 月～6 月末日

(方法) ボランティアセンター・「むすぶ」の登録者、ファミリーサポートセンターの会員の実活動者、生活福祉資金貸付窓口相談者に郵送または手渡しでアンケートを送付した。回答については郵送での返信または WEB 上で実施した。

#### 2. ヒアリング

(回答数) 26 団体

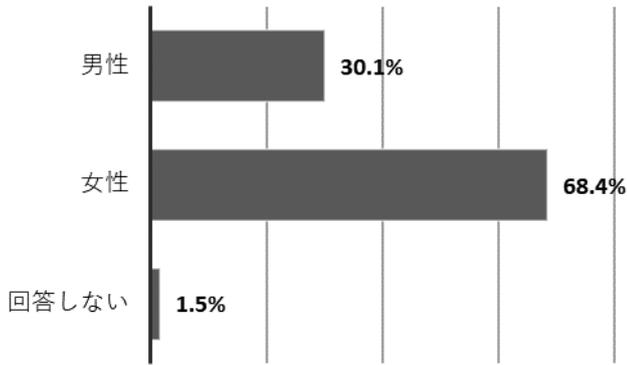
(期間) 2021(R3)年 4 月～6 月末日

(方法) 各むすぶグループが地域活動団体から個別に活動状況の聞き取りを行い、活動継続にかかる課題やコロナ禍での活動の現状を把握した。

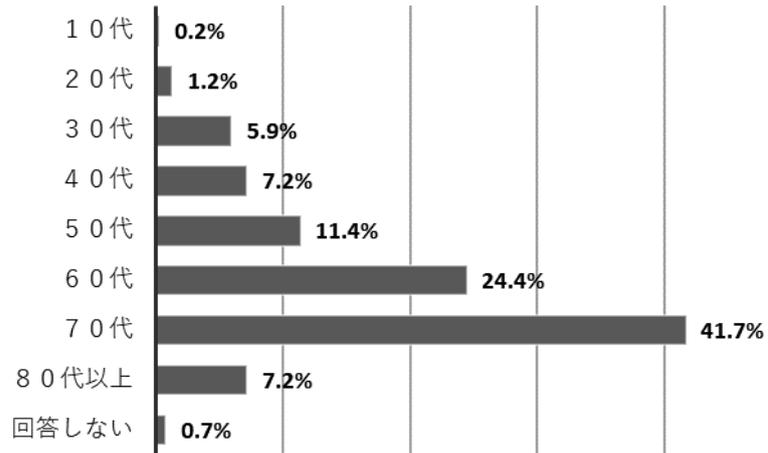
【地域福祉活動にかかるアンケート】（送付数 813部 回答数 405部 回答率 50.4%）

- 1 性別、年齢、お住まいの地区を教えてください。
- 2 現在のお住いでの居住年数を教えてください。

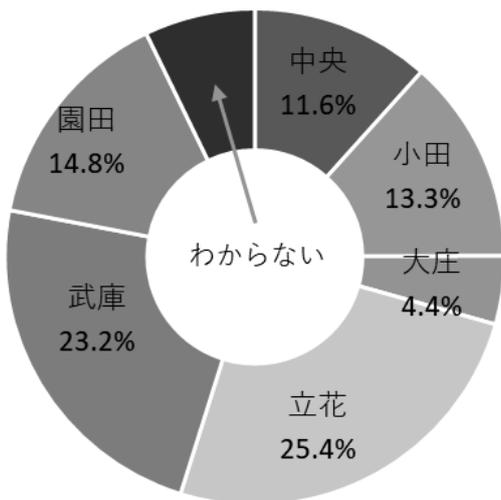
### 性別



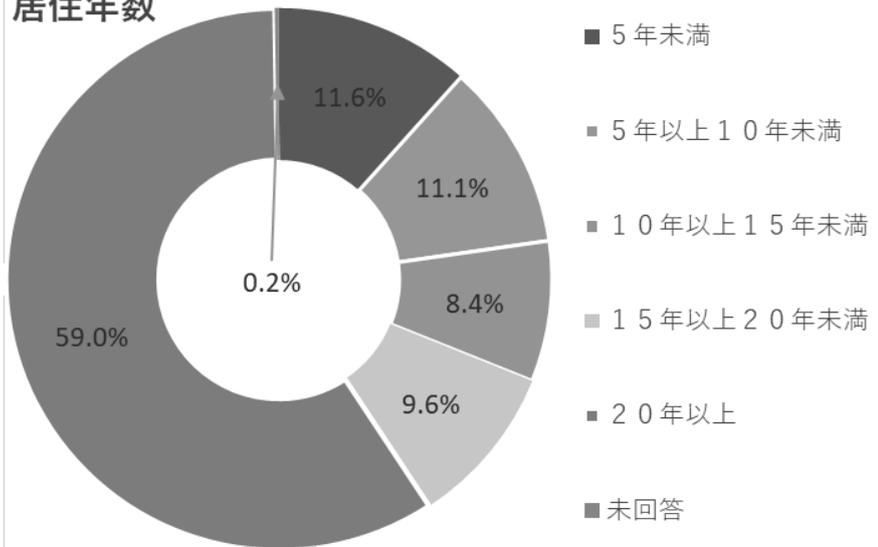
### 年齢



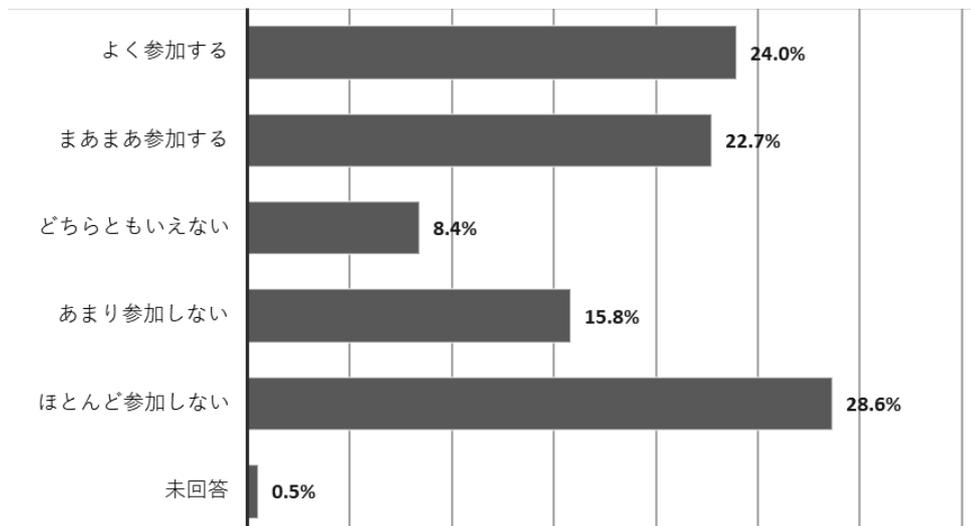
### 居住地区



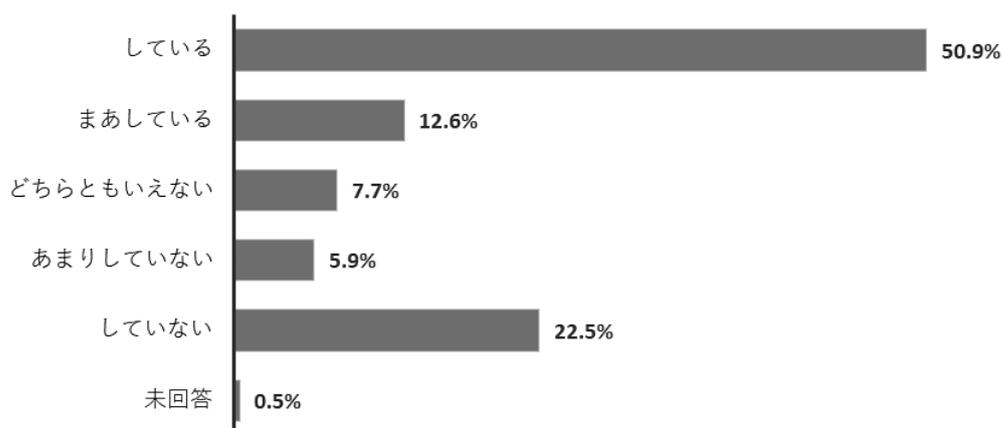
### 居住年数



- 3 地域の行事（まつり、清掃活動等々）に参加することはありますか

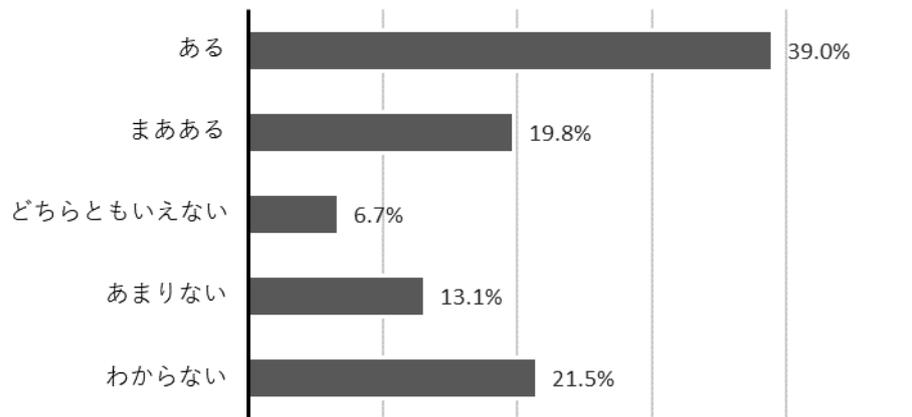


#### 4 地域活動やボランティア活動をしていますか

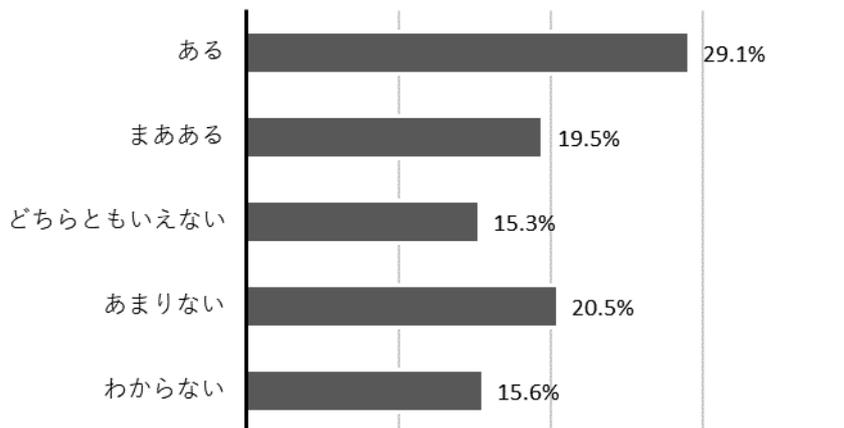


|                | 回答者数(人) | している   | まあしている | どちらともいえない | あまりしていない | していない | 未回答   |
|----------------|---------|--------|--------|-----------|----------|-------|-------|
|                | 405     | 50.9%  | 12.6%  | 7.7%      | 5.9%     | 22.5% | 0.5%  |
| <b>性別</b>      |         |        |        |           |          |       |       |
| 男性             | 122     | 54.1%  | 12.3%  | 9.0%      | 4.1%     | 20.5% | 0.0%  |
| 女性             | 277     | 49.1%  | 13.0%  | 7.2%      | 6.9%     | 23.5% | 0.4%  |
| 回答しない          | 6       | 66.7%  | 0.0%   | 0.0%      | 0.0%     | 16.7% | 16.7% |
| <b>年代別</b>     |         |        |        |           |          |       |       |
| 10代            | 1       | 100.0% | 0.0%   | 0.0%      | 0.0%     | 0.0%  | 0.0%  |
| 20代            | 5       | 20.0%  | 0.0%   | 0.0%      | 0.0%     | 80.0% | 0.0%  |
| 30代            | 24      | 4.2%   | 8.3%   | 20.8%     | 4.2%     | 58.3% | 4.2%  |
| 40代            | 29      | 13.8%  | 3.4%   | 10.3%     | 13.8%    | 58.6% | 0.0%  |
| 50代            | 46      | 28.3%  | 17.4%  | 13.0%     | 6.5%     | 32.6% | 2.2%  |
| 60代            | 99      | 53.5%  | 14.1%  | 8.1%      | 8.1%     | 16.2% | 0.0%  |
| 70代            | 169     | 65.1%  | 13.0%  | 4.1%      | 4.7%     | 13.0% | 0.0%  |
| 80代以上          | 29      | 72.4%  | 13.8%  | 6.9%      | 0.0%     | 6.9%  | 0.0%  |
| 回答しない          | 3       | 66.7%  | 0.0%   | 0.0%      | 0.0%     | 33.3% | 0.0%  |
| <b>地区別</b>     |         |        |        |           |          |       |       |
| 中央             | 47      | 51.1%  | 12.8%  | 8.5%      | 4.3%     | 21.3% | 2.1%  |
| 小田             | 54      | 50.0%  | 16.7%  | 5.6%      | 11.1%    | 16.7% | 0.0%  |
| 大庄             | 18      | 55.6%  | 11.1%  | 0.0%      | 5.6%     | 27.8% | 0.0%  |
| 立花             | 103     | 55.3%  | 13.6%  | 5.8%      | 5.8%     | 19.4% | 0.0%  |
| 武庫             | 94      | 52.1%  | 12.8%  | 5.3%      | 5.3%     | 24.5% | 0.0%  |
| 園田             | 60      | 43.3%  | 10.0%  | 20.0%     | 5.0%     | 21.7% | 0.0%  |
| わからない          | 29      | 44.8%  | 6.9%   | 3.4%      | 3.4%     | 37.9% | 3.4%  |
| <b>福祉協会加入別</b> |         |        |        |           |          |       |       |
| 加入             | 244     | 60.7%  | 13.5%  | 7.4%      | 5.3%     | 13.1% | 0.0%  |
| 未加入            | 115     | 31.3%  | 12.2%  | 8.7%      | 6.1%     | 40.9% | 0.9%  |
| 未組織地域          | 25      | 40.0%  | 12.0%  | 12.0%     | 8.0%     | 24.0% | 4.0%  |
| 未回答            | 21      | 57.1%  | 4.8%   | 0.0%      | 9.5%     | 28.6% | 0.0%  |

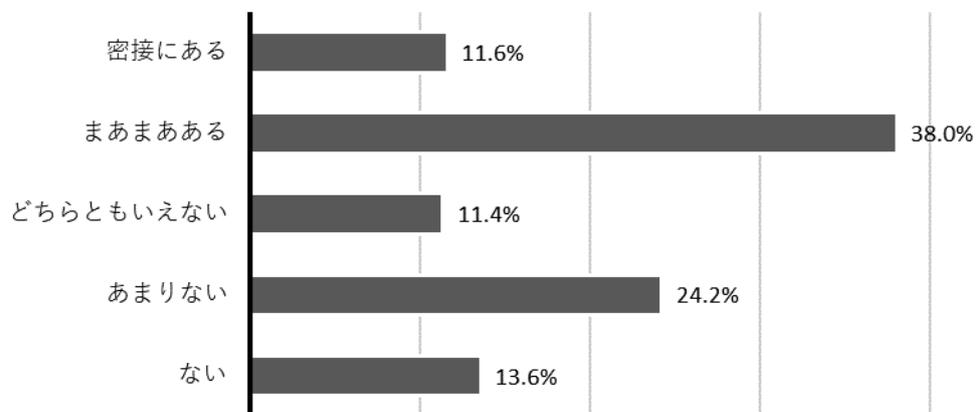
5 地域に高齢者や子どもが集うような場所がありますか。



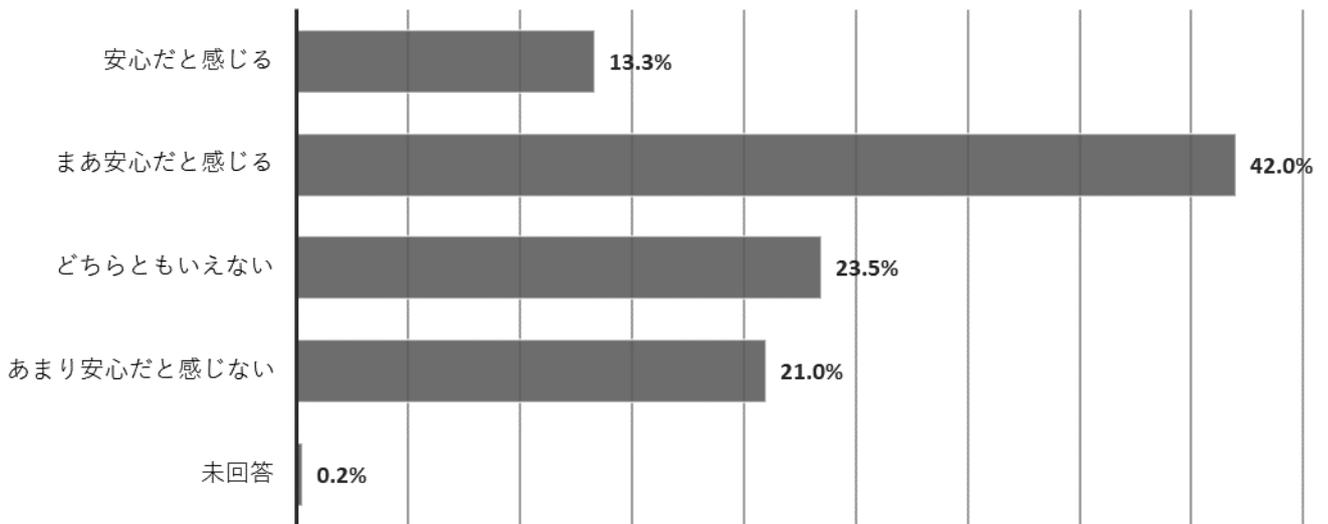
6 地域にご自身の活躍の場がありますか。



7 地域の異なる世代の人とつきあいがありますか。

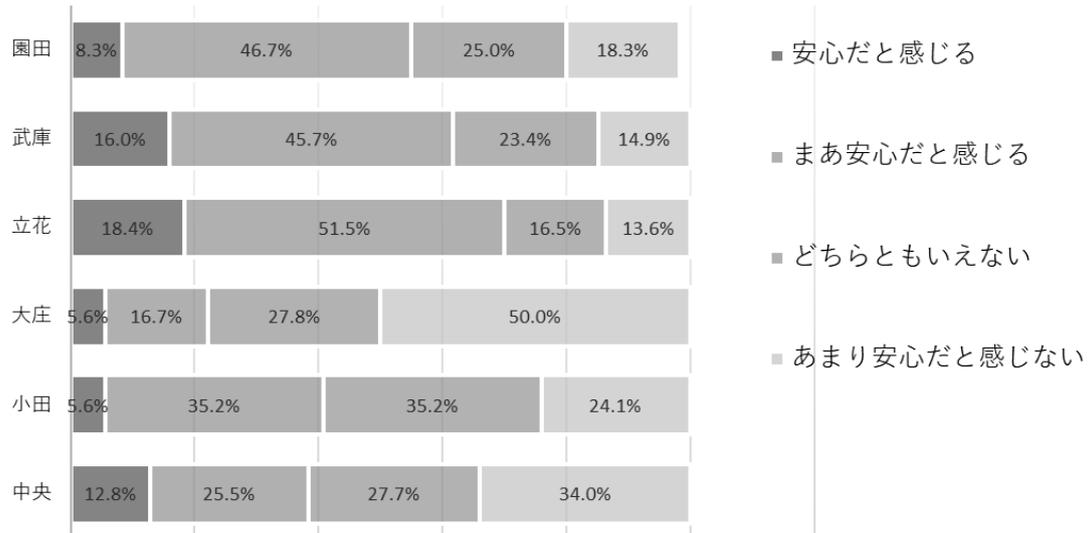


8 災害（大雨、地震など）に対してお住まいの地域は安心だと感じますか

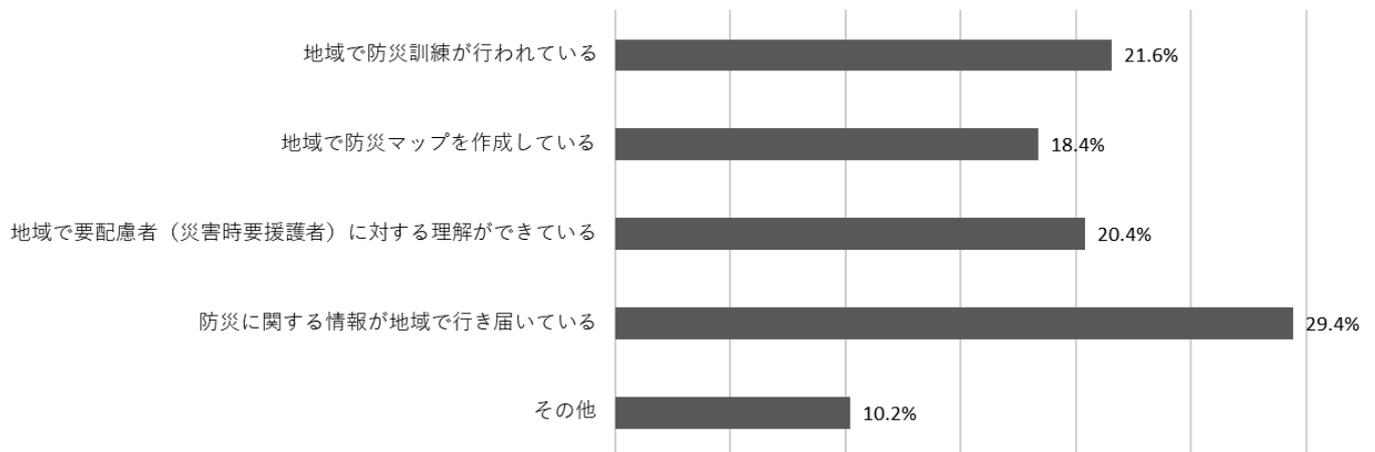


|                | 回答者数(人) | 安心だと感じる | まあ安心だと感じる | どちらともいえない | あまり安心だと感じない | 未回答  |
|----------------|---------|---------|-----------|-----------|-------------|------|
|                | 405     | 13.3%   | 42.0%     | 23.5%     | 21.0%       | 0.2% |
| <b>性別</b>      |         |         |           |           |             |      |
| 男性             | 122     | 20.5%   | 43.4%     | 16.4%     | 19.7%       | 0.0% |
| 女性             | 277     | 10.5%   | 41.5%     | 26.4%     | 21.3%       | 0.4% |
| 回答しない          | 6       | 0.0%    | 33.3%     | 33.3%     | 33.3%       | 0.0% |
| <b>年代別</b>     |         |         |           |           |             |      |
| 10代            | 1       | 0.0%    | 100.0%    | 0.0%      | 0.0%        | 0.0% |
| 20代            | 5       | 0.0%    | 20.0%     | 60.0%     | 20.0%       | 0.0% |
| 30代            | 24      | 0.0%    | 45.8%     | 33.3%     | 20.8%       | 0.0% |
| 40代            | 29      | 10.3%   | 37.9%     | 31.0%     | 20.7%       | 0.0% |
| 50代            | 46      | 4.3%    | 32.6%     | 26.1%     | 37.0%       | 0.0% |
| 60代            | 99      | 8.1%    | 43.4%     | 30.3%     | 18.2%       | 0.0% |
| 70代            | 169     | 19.5%   | 43.2%     | 17.8%     | 18.9%       | 0.6% |
| 80代以上          | 29      | 27.6%   | 51.7%     | 6.9%      | 13.8%       | 0.0% |
| 回答しない          | 3       | 0.0%    | 0.0%      | 33.3%     | 66.7%       | 0.0% |
| <b>地区別</b>     |         |         |           |           |             |      |
| 中央             | 47      | 12.8%   | 25.5%     | 27.7%     | 34.0%       | 0.0% |
| 小田             | 54      | 5.6%    | 35.2%     | 35.2%     | 24.1%       | 0.0% |
| 大庄             | 18      | 5.6%    | 16.7%     | 27.8%     | 50.0%       | 0.0% |
| 立花             | 103     | 18.4%   | 51.5%     | 16.5%     | 13.6%       | 0.0% |
| 武庫             | 94      | 16.0%   | 45.7%     | 23.4%     | 14.9%       | 0.0% |
| 園田             | 60      | 8.3%    | 46.7%     | 25.0%     | 18.3%       | 1.7% |
| わからない          | 29      | 17.2%   | 41.4%     | 13.8%     | 27.6%       | 0.0% |
| <b>福祉協会加入別</b> |         |         |           |           |             |      |
| 加入             | 244     | 15.2%   | 41.8%     | 21.3%     | 21.3%       | 0.4% |
| 未加入            | 115     | 5.2%    | 46.1%     | 29.6%     | 19.1%       | 0.0% |
| 未組織地域          | 25      | 12.0%   | 44.0%     | 20.0%     | 24.0%       | 0.0% |
| 未回答            | 21      | 38.1%   | 19.0%     | 19.0%     | 23.8%       | 0.0% |

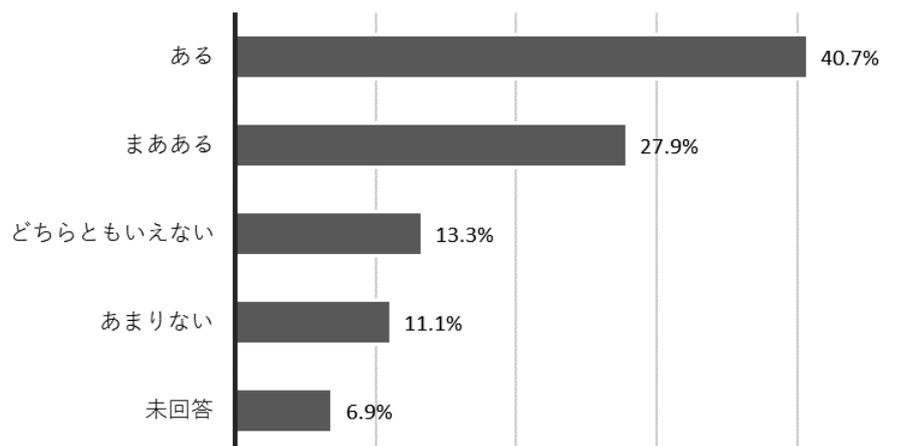
## 地区別



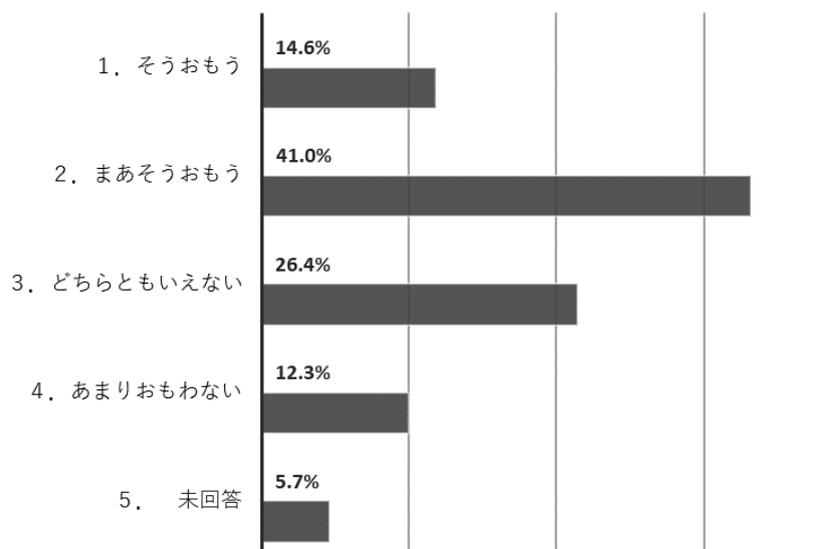
8-2 質問8で3もしくは4を選択された方にお聞きします。どのようにすれば安心につながっていくとお考えですか。(あてはまるものすべてに☑)



9 住んでいる地域で登下校時等の見守り・パトロールや街灯整備等の安全・安心を守る取り組みが行われていますか。



10 住んでいる地域は高齢者、子ども、障がいのある人にも暮らしやすいとおもいますか

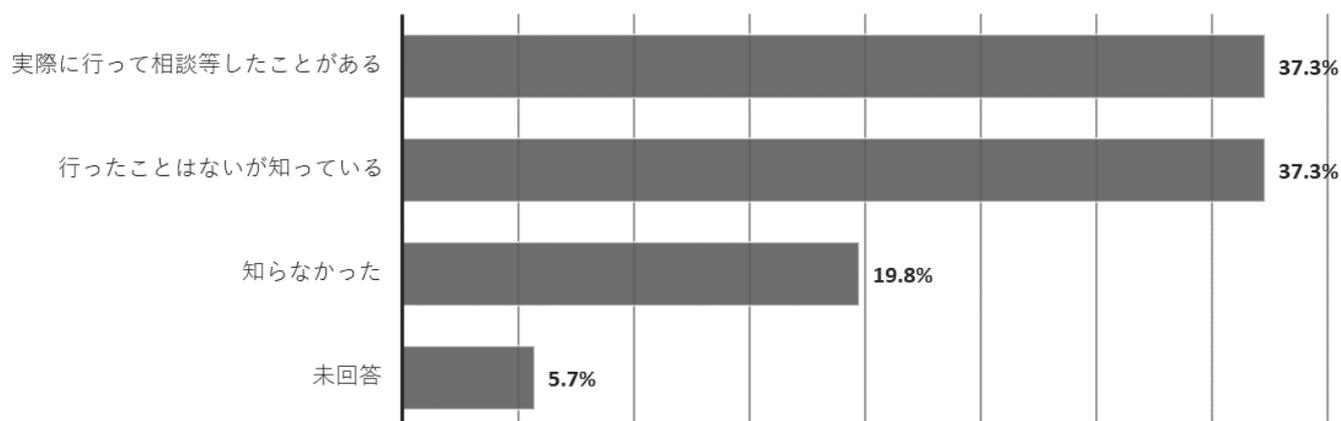


|                | 回答者数(人) | そうおもう | まあそうおもう | どちらともいえない | あまりおもわない | 未回答   |
|----------------|---------|-------|---------|-----------|----------|-------|
|                | 405     | 14.6% | 41.0%   | 26.4%     | 12.3%    | 5.7%  |
| <b>性別</b>      |         |       |         |           |          |       |
| 男性             | 122     | 14.8% | 44.3%   | 23.0%     | 12.3%    | 5.7%  |
| 女性             | 277     | 14.8% | 39.7%   | 27.4%     | 12.6%    | 5.4%  |
| 回答しない          | 6       | 0.0%  | 33.3%   | 50.0%     | 0.0%     | 16.7% |
| <b>年代別</b>     |         |       |         |           |          |       |
| 10代            | 1       | 0.0%  | 0.0%    | 0.0%      | 100.0%   | 0.0%  |
| 20代            | 5       | 0.0%  | 40.0%   | 60.0%     | 0.0%     | 0.0%  |
| 30代            | 24      | 12.5% | 41.7%   | 33.3%     | 8.3%     | 4.2%  |
| 40代            | 29      | 13.8% | 41.4%   | 20.7%     | 20.7%    | 3.4%  |
| 50代            | 46      | 4.3%  | 47.8%   | 26.1%     | 19.6%    | 2.2%  |
| 60代            | 99      | 8.1%  | 39.4%   | 32.3%     | 12.1%    | 8.1%  |
| 70代            | 169     | 17.2% | 42.6%   | 24.3%     | 10.1%    | 5.9%  |
| 80代以上          | 29      | 44.8% | 27.6%   | 13.8%     | 6.9%     | 6.9%  |
| 回答しない          | 3       | 0.0%  | 33.3%   | 33.3%     | 33.3%    | 0.0%  |
| <b>地区別</b>     |         |       |         |           |          |       |
| 中央             | 47      | 8.5%  | 48.9%   | 12.8%     | 19.1%    | 10.6% |
| 小田             | 54      | 16.7% | 46.3%   | 24.1%     | 13.0%    | 0.0%  |
| 大庄             | 18      | 22.2% | 22.2%   | 33.3%     | 16.7%    | 5.6%  |
| 立花             | 103     | 13.6% | 38.8%   | 28.2%     | 11.7%    | 7.8%  |
| 武庫             | 94      | 13.8% | 40.4%   | 29.8%     | 11.7%    | 4.3%  |
| 園田             | 60      | 13.3% | 43.3%   | 30.0%     | 6.7%     | 6.7%  |
| わからない          | 29      | 24.1% | 34.5%   | 24.1%     | 13.8%    | 3.4%  |
| <b>福祉協会加入別</b> |         |       |         |           |          |       |
| 加入             | 244     | 17.2% | 43.0%   | 23.0%     | 12.7%    | 4.1%  |
| 未加入            | 115     | 8.7%  | 39.1%   | 33.9%     | 10.4%    | 7.8%  |
| 未組織地域          | 25      | 8.0%  | 44.0%   | 32.0%     | 16.0%    | 0.0%  |
| 未回答            | 21      | 23.8% | 23.8%   | 19.0%     | 14.3%    | 19.0% |

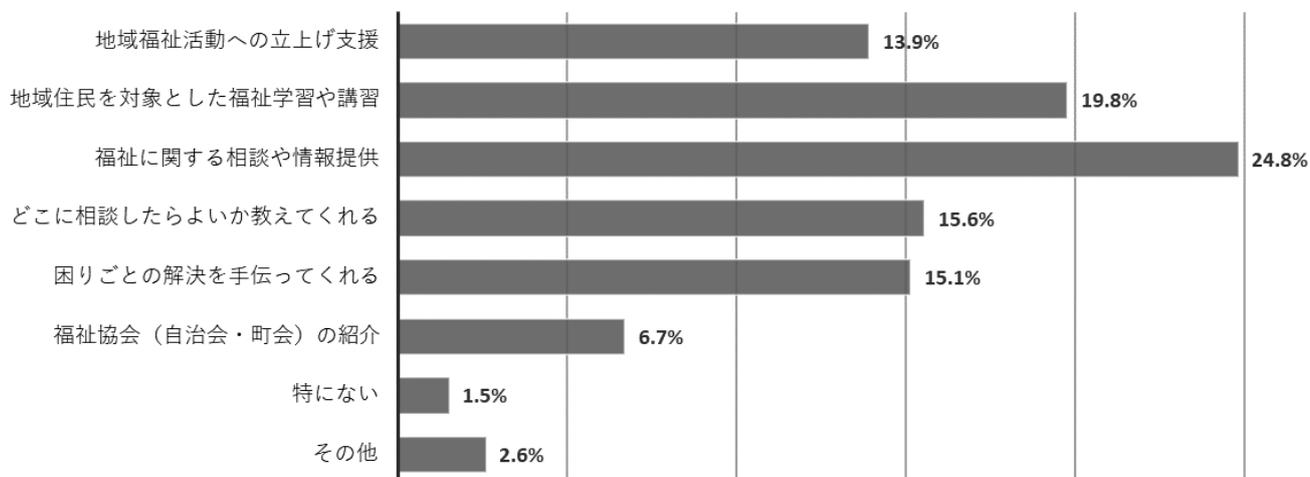
1 1 住んでいる地域において、現在及び将来どういった福祉活動や取り組みが増えていけばよいとお考えですか。（自由記述 抜粋）

|                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 子供から高齢者まで、特に現役世代の繋がりのできる場所があればいい。世代関係なく集える場所づくり                                                      |
| 異世代交流が自由に、自然にできるための活動（イベント含む）                                                                        |
| 高齢社会が進むにつれて日常生活に動きやすい影響造りを地域又公的関係先にて考えてほしい。<br>例えば、一つの地域の中でも日常の買物についてのマーケット、コンビニ等が高齢者にとって不便な場所が見られる。 |
| 町会加入の促進と単身者対策。若年・高齢問わず。                                                                              |
| 人と人とのつながりが、もう少しあれば良いと思う。新しい住人の人との交流がなかなかできない。                                                        |
| 気軽に声かけて助け合える関係作り                                                                                     |
| 防災に関して普段からの取り組み（避難場所の確認）他、を地域で考える機会をもつ                                                               |
| 居住して未だ年数が短いので、明確に分からない。                                                                              |
| どういった福祉活動取り組みがあるのかわからない。何をしているのか発信してほしい。                                                             |
| 1人暮らしの方の見守り、声かけなど。現在どのような取りくみをしているのかさえ知りません。                                                         |
| 引越してきた人にも気軽に参加できるしかけ作り                                                                               |
| 現在自治会がないので、そういう組織はあった方がよいのでは・・・と思う                                                                   |

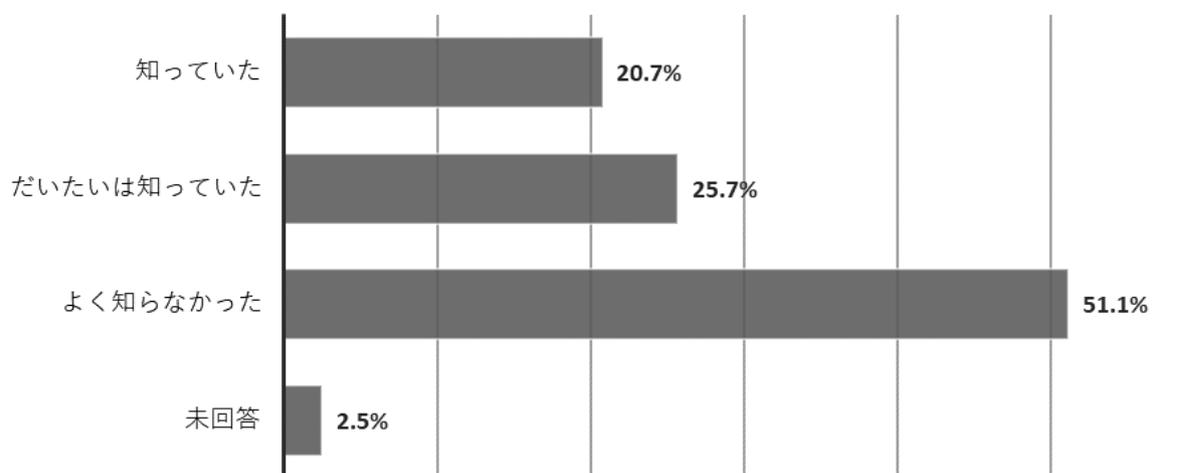
1 2 市内6地区の生涯学習プラザや庁舎には社会福祉協議会の支部事務局があることを知っていますか。



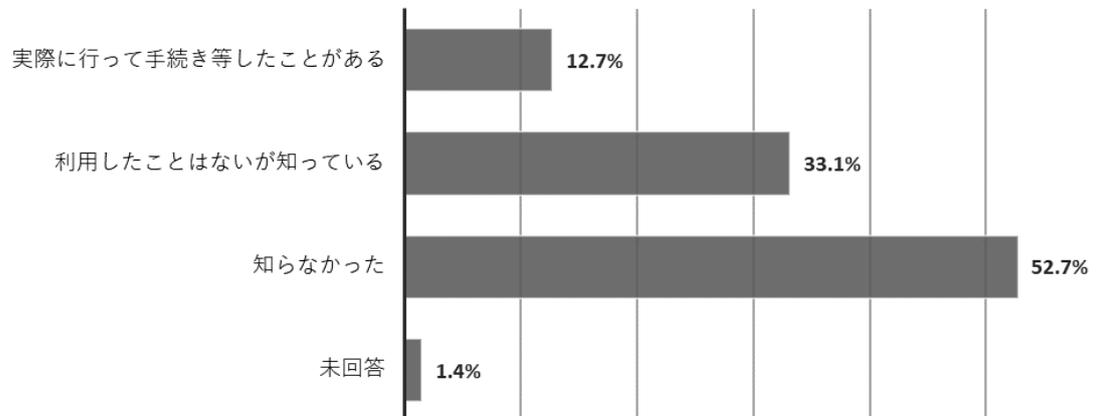
13 質問12で1もしくは2を選択された方にお聞きします。支部事務局にどのような役割を期待しますか（あてはまるものすべてに☑）



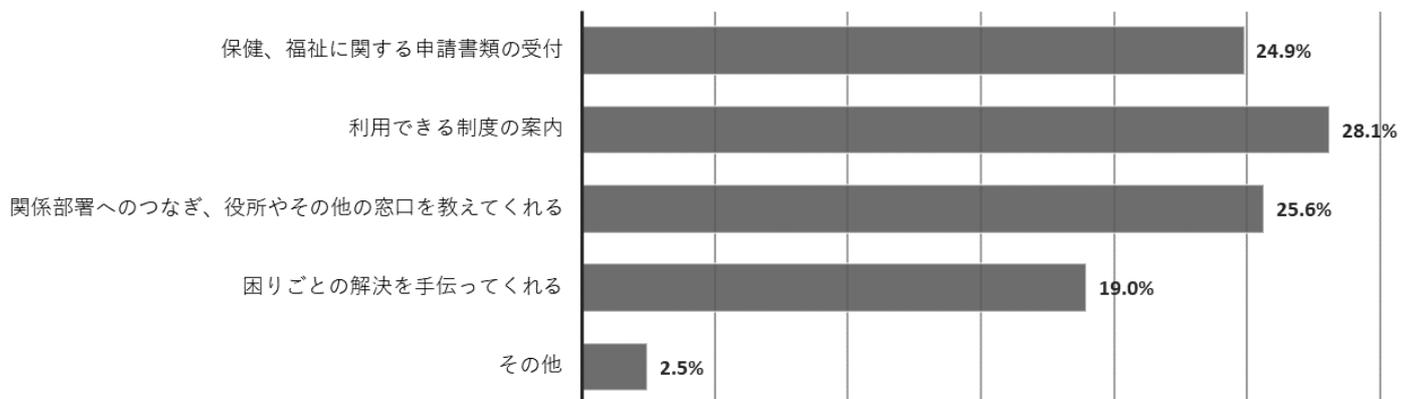
14 市内6地区の各支部事務局は、ささえあい地域活動センター「むすぶ」（地域の活動や場づくりを支援する、地域活動とボランティアを結びつけるなど）でもあります。こうした役割があることを知っていましたか。



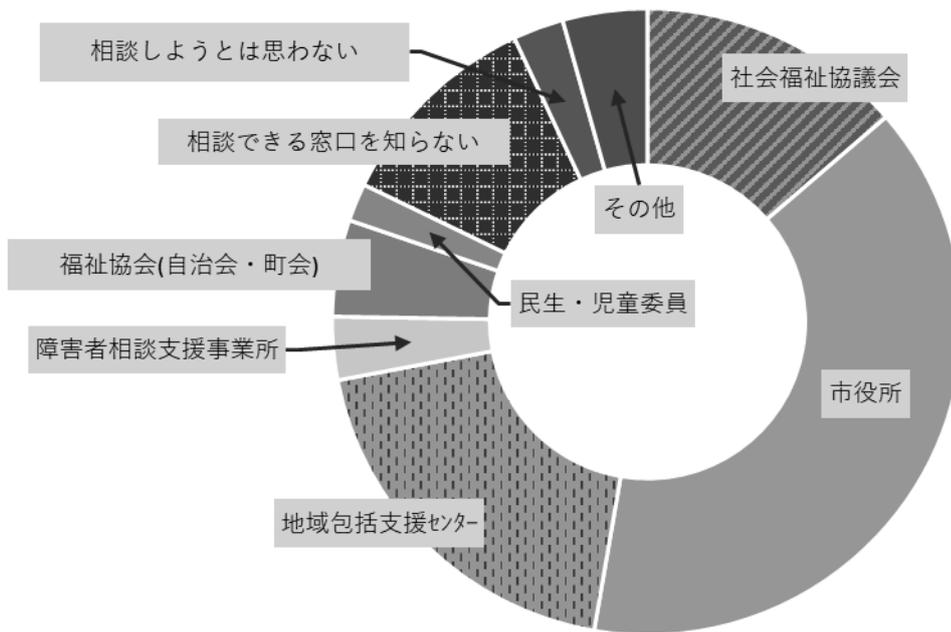
15 市内6地区の生涯学習プラザや庁舎等には市から委託を受けた社会福祉協議会の保健福祉窓口があることを知っていますか。



16 質問15で1もしくは2を選択された方にお聞きします。保健福祉窓口にどのような役割を期待しますか。(あてはまるものすべてに☑)

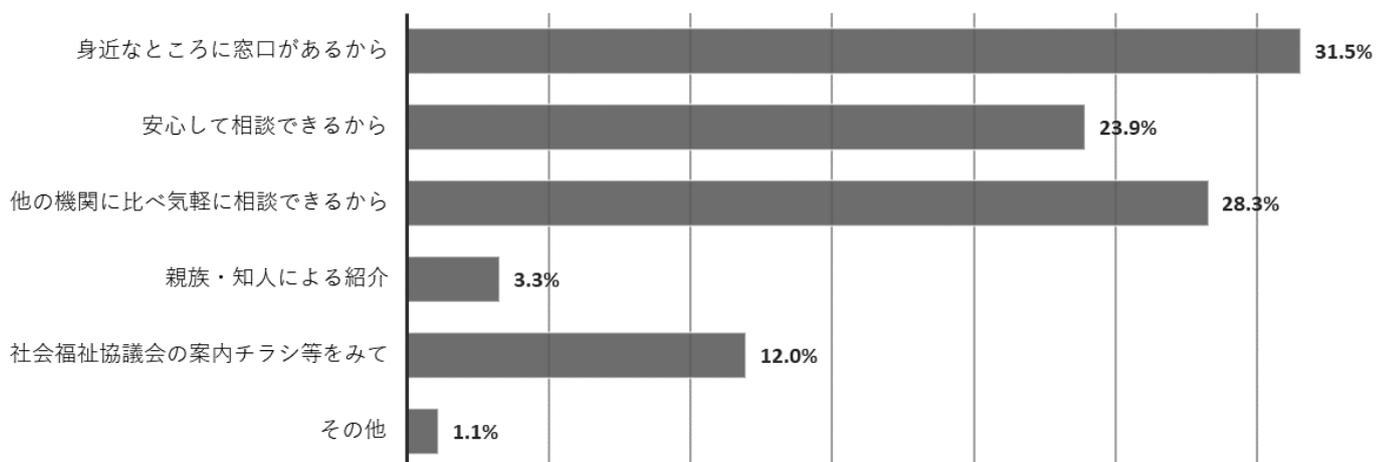


17 困りごとがあった時に相談しようと思う窓口はどこですか

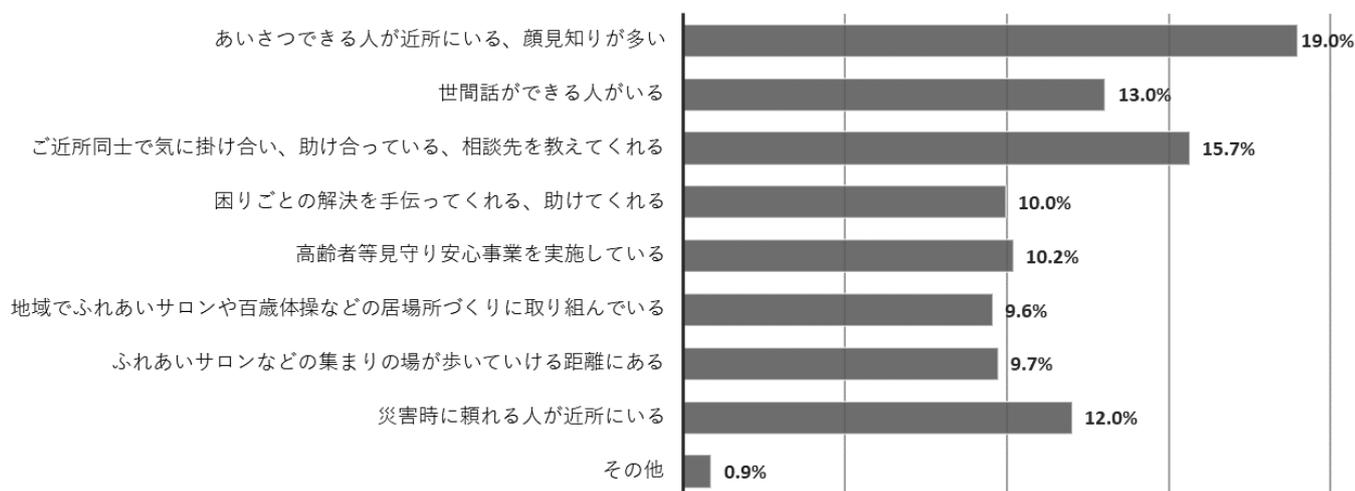


|                | 回答数 | 社会福祉協議会 | 市役所   | 地域包括支援センター | 障害者相談支援事業所 | 福祉協会(自治会・町会) | 民生・児童委員 | 相談できる窓口を知らない | 相談しようとは思わない | その他  |
|----------------|-----|---------|-------|------------|------------|--------------|---------|--------------|-------------|------|
| 総計             | 461 | 13.7%   | 39.0% | 19.3%      | 3.3%       | 5.0%         | 2.0%    | 10.8%        | 2.6%        | 4.3% |
| <b>性別</b>      |     |         |       |            |            |              |         |              |             |      |
| 男性             | 137 | 19.0%   | 40.9% | 14.6%      | 1.5%       | 8.0%         | 1.5%    | 7.3%         | 2.9%        | 4.4% |
| 女性             | 318 | 11.0%   | 38.7% | 20.8%      | 4.1%       | 3.8%         | 2.2%    | 12.6%        | 2.5%        | 4.4% |
| 回答しない          | 6   | 33.3%   | 16.7% | 50.0%      | 0.0%       | 0.0%         | 0.0%    | 0.0%         | 0.0%        | 0.0% |
| <b>年代別</b>     |     |         |       |            |            |              |         |              |             |      |
| 10代            | 1   | 100.0%  | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%       | 0.0%         | 0.0%    | 0.0%         | 0.0%        | 0.0% |
| 20代            | 5   | 0.0%    | 80.0% | 0.0%       | 0.0%       | 0.0%         | 0.0%    | 0.0%         | 20.0%       | 0.0% |
| 30代            | 29  | 10.3%   | 58.6% | 6.9%       | 3.4%       | 0.0%         | 3.4%    | 13.8%        | 0.0%        | 3.4% |
| 40代            | 35  | 11.4%   | 57.1% | 5.7%       | 5.7%       | 0.0%         | 2.9%    | 8.6%         | 2.9%        | 5.7% |
| 50代            | 55  | 12.7%   | 41.8% | 10.9%      | 5.5%       | 1.8%         | 3.6%    | 21.8%        | 0.0%        | 1.8% |
| 60代            | 107 | 14.0%   | 43.9% | 12.1%      | 3.7%       | 3.7%         | 0.9%    | 14.0%        | 1.9%        | 5.6% |
| 70代            | 194 | 14.4%   | 32.0% | 27.3%      | 2.6%       | 7.2%         | 1.0%    | 7.2%         | 3.6%        | 4.6% |
| 80代以上          | 28  | 14.3%   | 17.9% | 35.7%      | 0.0%       | 14.3%        | 3.6%    | 7.1%         | 3.6%        | 3.6% |
| 回答しない          | 7   | 14.3%   | 28.6% | 42.9%      | 0.0%       | 0.0%         | 14.3%   | 0.0%         | 0.0%        | 0.0% |
| <b>地区別</b>     |     |         |       |            |            |              |         |              |             |      |
| 中央             | 50  | 12.0%   | 38.0% | 12.0%      | 6.0%       | 10.0%        | 2.0%    | 6.0%         | 8.0%        | 6.0% |
| 小田             | 63  | 12.7%   | 38.1% | 22.2%      | 3.2%       | 4.8%         | 1.6%    | 11.1%        | 0.0%        | 6.3% |
| 大庄             | 24  | 20.8%   | 37.5% | 20.8%      | 4.2%       | 8.3%         | 0.0%    | 4.2%         | 0.0%        | 4.2% |
| 立花             | 112 | 9.8%    | 41.1% | 21.4%      | 0.9%       | 5.4%         | 1.8%    | 13.4%        | 3.6%        | 2.7% |
| 武庫             | 105 | 16.2%   | 35.2% | 21.9%      | 1.9%       | 2.9%         | 1.9%    | 13.3%        | 1.9%        | 4.8% |
| 園田             | 69  | 13.0%   | 40.6% | 17.4%      | 1.4%       | 4.3%         | 4.3%    | 13.0%        | 1.4%        | 4.3% |
| わからない          | 38  | 18.4%   | 44.7% | 13.2%      | 13.2%      | 2.6%         | 0.0%    | 2.6%         | 2.6%        | 2.6% |
| <b>福祉協会加入別</b> |     |         |       |            |            |              |         |              |             |      |
| 加入             | 272 | 15.1%   | 36.4% | 20.2%      | 1.8%       | 6.6%         | 2.2%    | 9.9%         | 2.6%        | 5.1% |
| 未加入            | 140 | 12.1%   | 46.4% | 12.1%      | 4.3%       | 2.1%         | 2.1%    | 13.6%        | 3.6%        | 3.6% |
| 未組織地域          | 29  | 13.8%   | 41.4% | 24.1%      | 3.4%       | 3.4%         | 0.0%    | 10.3%        | 0.0%        | 3.4% |
| 未回答            | 20  | 5.0%    | 20.0% | 50.0%      | 15.0%      | 5.0%         | 0.0%    | 5.0%         | 0.0%        | 0.0% |

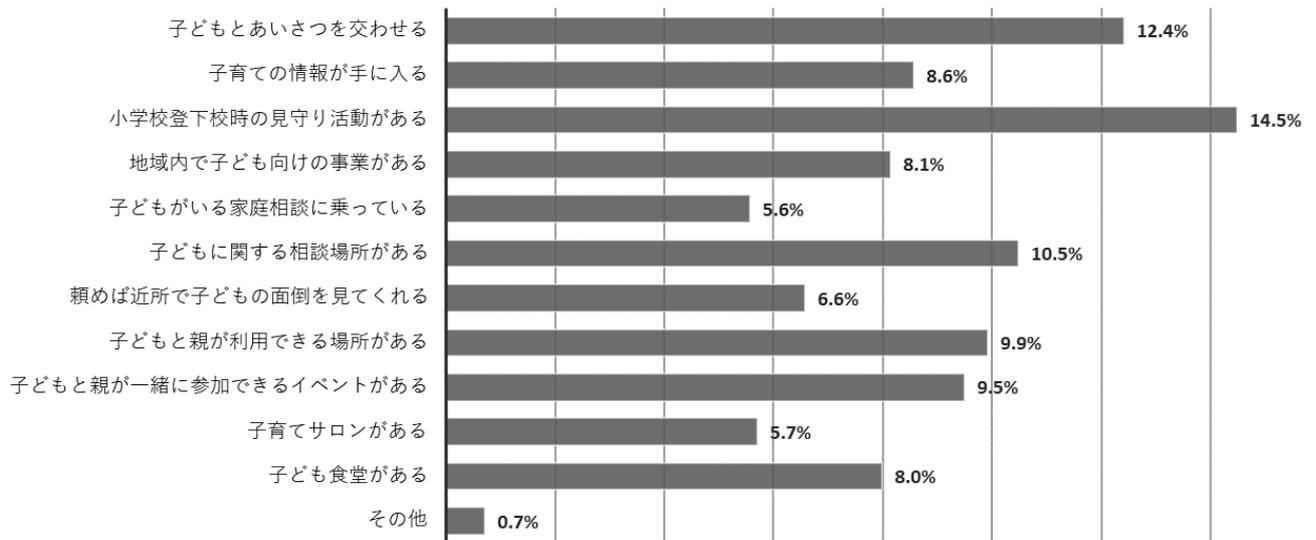
18 質問17で1を選択された方にお聞きします。困りごとがあった時に社会福祉協議会に相談する理由は何ですか。(あてはまるものすべてに☑)



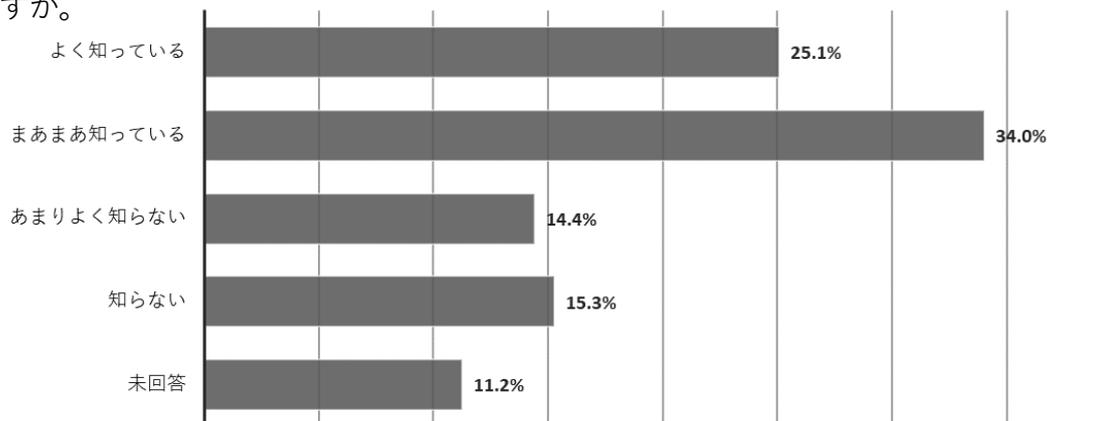
19 あなたが考える地域に必要な「つながり」とはどのようなものですか。(あてはまるものすべてに☑)



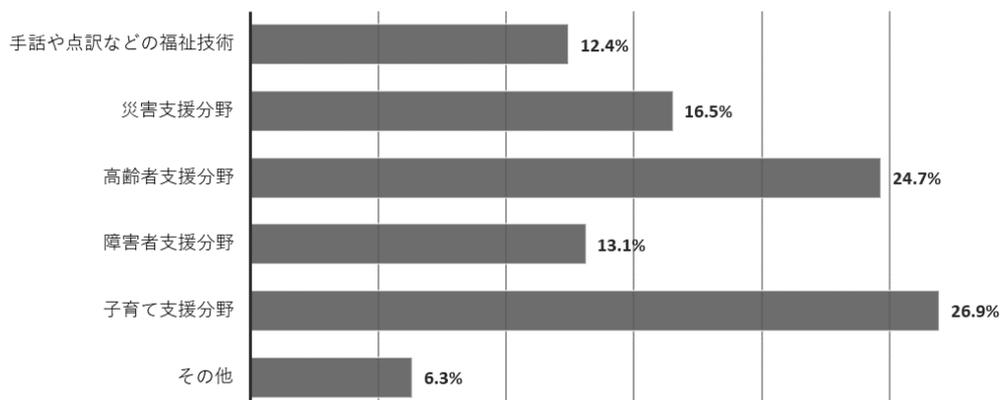
20 「地域での子育て支援」とはどのような取り組みをイメージされますか。(あてはまるものすべてに☑)



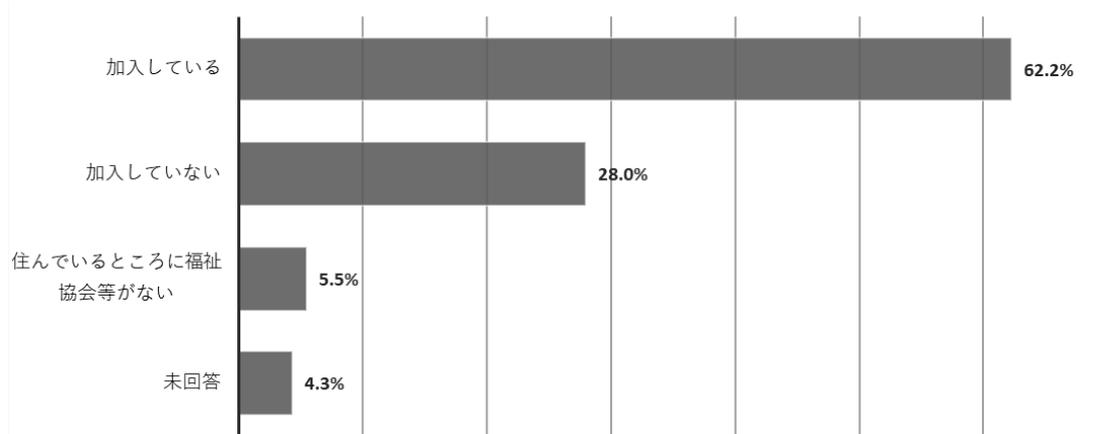
21 社会福祉協議会は地域福祉活動を広げるために、ボランティア講座を実施していますが、ご存知ですか。



22 どのようなボランティア活動であればやってみたいと思いますか。また今やっている活動以外でしたいと思うボランティア活動はどのような活動ですか。



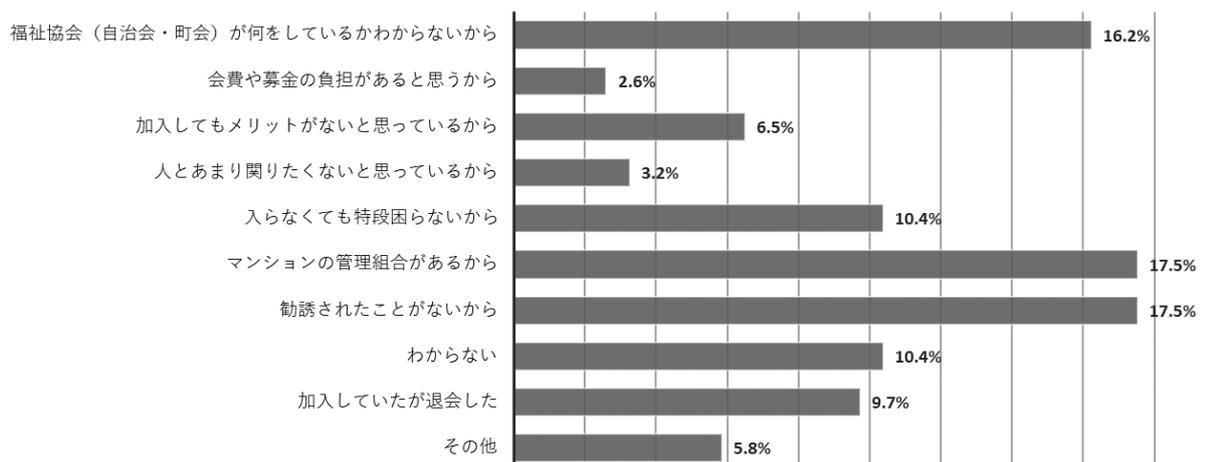
### 2 3 地域の福祉協会（自治会・町会）に加入されていますか。



### 2 4 質問2 3で1を選択された方にお聞きします。福祉協会（自治会・町会）に加入してよかったことや大変なことを教えてください。（自由記述 抜粋）

|                                               |
|-----------------------------------------------|
| 顔見知り、知り合いが増えた                                 |
| 加入していてよかったことも大変なこと特にない。                       |
| 自治会に入って人との関わりがふえた。地域での活動に参加することで自分の活動の幅が広がった。 |
| 次の役員をしてくれる方がなかなかいない。                          |
| 回覧板でいろいろな情報がわかること                             |
| 平時は何も困ったことはないですが、災害時には必要になると思う。               |
| 日々の暮らしに何となく安心感がある。                            |

### 2 5 質問2 3で2を選択された方にお聞きします。福祉協会（自治会・町会）に加入されない理由を教えてください。（2つまで）



**【地域福祉活動団体に対するヒアリング】（団体数 26）**

**【ヒアリング団体の基本情報等】**

| 基本情報                 | 団体数 | 対象(活動) |     | 活動内容       |                | 件数 |    |
|----------------------|-----|--------|-----|------------|----------------|----|----|
|                      | 26  | 高齢者    | 15  | 集い場        | 介護予防体操(100歳体操) | 7  | 25 |
| サロン(喫茶等)             |     |        |     |            | 4              |    |    |
| 健康講座                 |     |        |     |            | 2              |    |    |
| 老人給食(配食含む)           |     |        |     |            | 4              |    |    |
| カラオケ                 |     |        |     |            | 1              |    |    |
| こどもの居場所(こども食堂・地域食堂等) |     |        |     |            | 6              |    |    |
| 子ども                  |     | 5      | 訪問型 | 高齢者見守り活動   | 2              | 2  |    |
|                      |     |        |     | 紙芝居        | 1              |    |    |
| 子ども+高齢者              |     | 2      | その他 | 花づくりボランティア | 1              | 3  |    |
|                      |     |        |     | 登下校見守り     | 1              |    |    |
| 子どもの託児・見守り           | 1   |        |     |            |                |    |    |
| 制限なし                 | 2   |        |     |            |                |    |    |
| その他                  | 2   |        |     |            |                |    |    |
| 計                    | 26  |        |     |            |                |    | 30 |

※活動の内容については複数回答あり

**【コロナ禍での活動について(関連する目標：基本目標2)】**

| 4 現状                           | 件数 | %     | 合計 |
|--------------------------------|----|-------|----|
| 1 コロナ禍に関わらず継続して実施している          | 8  | 30.8% | 26 |
| 2 コロナの影響で一時中止、休止していたが現在は再開している | 11 | 42.3% |    |
| 3 コロナの影響で一時中止、休止し、現在も再開していない   | 7  | 26.9% |    |

5-①② 再開について

手指消毒・部屋の換気・検温などの基本の対策をしっかりとって再開している。  
 会食をやめて配食に切り替えている。  
 コロナ前の人数を2班にわけると、人数を制限して再開している。  
 短時間、茶話会をとりやめ体操だけで再開している。  
 オンラインに対応できるような紙芝居を実施

5-③ "withコロナ"への対応・課題・不安

ワクチン接種が順調に進んでほしい。  
 もしものことを考えると不安。  
 会食がまだできていない。一緒に作って食べるができるようになるにはどのようにしたらいいのか。

**【計画に関わる質問について(関連する目標：基本目標2・基本目標3)】**

6 現在の活動以外で必要と感じる活動

不登校支援  
 高齢者世帯の把握  
 若い世代の参加しやすい活動  
 多様な居場所づくり  
 認知症への理解を深めること  
 親子で取り組めるような活動  
 空き家等の活用した子ども食堂、学習支援  
 生活困窮世帯への食材配布

7 5年後、10年後の地域(ありたい姿)

子どもから大人まで自然体で関われる地域  
 町会の活性化・町会への加入促進  
 健康で和気あいあいとしてほしい  
 下町の風情がもどること(空き家対策)  
 助け合いのあたたかい町  
 お互いの顔の見えるご近所づくり・声のかけあえるご近所づくり  
 助けてが言える、一緒に動いてくれる地域  
 校区内にこどもの居場所がもっとできてほしい  
 人との交流が盛んになってほしい

【その他(関連する目標：基本目標1・基本目標2)】

| 11 社協の支部事務局、保健福祉窓口は知っていますか？ | 件数 | %     | 合計 |
|-----------------------------|----|-------|----|
| 1 支部事務局を知っている               | 23 | 88.5% | 39 |
| 2 保健福祉窓口を知っている              | 13 | 50.0% |    |
| 3 いずれも知らない                  | 1  | 3.8%  |    |
| 4 未回答                       | 2  | 7.7%  |    |

※複数回答(割合については回答団体数26で算出)

| 12 「むすぶ」は知っていますか？ | 件数 | %     | 合計 |
|-------------------|----|-------|----|
| 1 知っている           | 12 | 46.2% | 26 |
| 2 知らない            | 11 | 42.3% |    |
| 3 その他             | 1  | 3.8%  |    |
| 4 未回答             | 2  | 7.7%  |    |

| 13 災害に対してお住いの地域は安全だと思いますか？ | 件数 | %     | 合計 |
|----------------------------|----|-------|----|
| 1 思う                       | 8  | 30.8% | 26 |
| 2 思わない                     | 14 | 53.8% |    |
| 3 その他                      | 1  | 3.8%  |    |
| 4 未回答                      | 3  | 11.5% |    |

(主な意見)

マンションなので比較的安全

自主防災会に参加している

防災マップの更新、コロナでできていない避難訓練も実施していきたい

災害による。すべてにおいて地域が安全とは思わないが、その時に対処するしかない

どのような災害に対して注意をしていいかわからない。南部なので水害が不安。

浸水しやすい地域。避難場所が浸水しないか不安

災害の前に安全な所はない

川が近いので心配。避難場所に指定されているマンションがあるが住民が納得しているかわからない。

マンションなので津波については安心している。地震は不安。

大雨、洪水については大丈夫だと思う。津波は不安。

災害時には個の判断が大切でまずは自分が助かることが一番。災害時にその方まで手が回るのか疑問

## 社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会地域福祉推進計画策定委員会設置要綱

(名称)

第1条 この会は、「社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会地域福祉推進計画策定委員会」(以下「委員会」という。)という。

(目的)

第2条 委員会は、社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会(以下「市社協」という。)が地域福祉推進の中核となり、みんなで支えあい助けあう地域づくりをすすめていくための役割、実施事業、財政基盤の強化および事務局組織の今後のあり方を明確にするために次に掲げる事項について検討する。

- (1) 小地域における活動に関すること
- (2) 市社協として取り組むべき事業に関すること
- (3) 市社協の組織および経営に関すること
- (4) その他委員会が必要と認めた事項

(組織)

第3条 委員会は次の委員をもって構成し、理事長が委嘱する。

- |                       |    |
|-----------------------|----|
| (1) 学識経験者             | 1名 |
| (2) 市社協理事代表           | 1名 |
| (3) 社協各支部 代表          | 5名 |
| (4) 尼崎市民生児童委員協議会 代表   | 1名 |
| (5) ボランティア 代表         | 1名 |
| (6) 尼崎市身体障害者連盟福祉協会 代表 | 1名 |
| (7) 兵庫県社会福祉協議会職員      | 1名 |
| (8) 尼崎市職員             | 2名 |
| (9) 尼崎市地域包括支援センター 代表  | 1名 |
| (10) 地域活動団体           | 1名 |

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選任する。

(任期)

第4条 委員の任期は就任した日から計画策定までとする。

(専門部会)

第5条 効率的かつ集中的に審議を行うため専門部会を置く。

2 専門部会で取り扱う内容等については、委員会において決定する。

3 専門部会の部会員は、次に掲げる者のうちから、理事長が任命又は委嘱する。

- (1) 市社協職員
- (2) 兵庫県社会福祉協議会職員
- (3) 尼崎市職員

(旅費等)

第6条 委員等がその職務を果たすために必要なときは旅費等を支給することができる。

2 旅費等の支給は市社協旅費規程に準じ支給する。

(事務)

第7条 委員会の事務は、市社協地域福祉推進部事業推進グループにおいて所管する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、その他必要な事項は理事長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成23年4月14日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年6月21日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年5月17日から施行する。

社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会 地域福祉推進計画策定委員会委員名簿 (敬称略)

|      | 氏 名     | 選出区分等                       |
|------|---------|-----------------------------|
| 委員長  | 明 石 隆 行 | 学識経験者(種智院大学人文学部社会福祉学科教授)    |
| 副委員長 | 山 口 昇 次 | 尼崎市社会福祉協議会園田支部              |
| 委員   | 伴 公 子   | 尼崎市社会福祉協議会中央支部              |
| 委員   | 上 松 圭 三 | 尼崎市社会福祉協議会小田支部              |
| 委員   | 横 田 敏 治 | 尼崎市社会福祉協議会大庄支部              |
| 委員   | 山 下 勝 之 | 尼崎市社会福祉協議会立花支部              |
| 委員   | 古 田 一 夫 | 尼崎市社会福祉協議会武庫支部              |
| 委員   | 堀 内 史 子 | 尼崎市民生児童委員協議会連合会             |
| 委員   | 小 森 秀 美 | ボランティア代表(ボランティアグループ ま・どんな)  |
| 委員   | 高 尾 絹 代 | 尼崎市身体障害者連盟福祉協会              |
| 委員   | 濱 田 英 世 | 地域活動団体 (NPO 法人やんちゃんこ代表理事)   |
| 委員   | 頼 末 拓 也 | 地域包括支援センター (立花南地域包括支援センター長) |
| 委員   | 松 本 裕 一 | 兵庫県社会福祉協議会                  |
| 委員   | 西 田 真 弓 | 尼崎市総合政策局                    |
| 委員   | 高 橋 健 二 | 尼崎市健康福祉局                    |

社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会 地域福祉推進計画策定委員会専門部会部会員名簿

|     | 氏 名     | 所 属                        |
|-----|---------|----------------------------|
| 部会長 | 足 立 博 昭 | 地域福祉推進部 副部長/大庄むすぶグループリーダー  |
| 部会員 | 杉 本 善 希 | 法人マネジメント部 副部長/施設管理グループリーダー |
| 部会員 | 松 本 萌 子 | 法人マネジメント部 企画グループ           |
| 部会員 | 河 北 梨 沙 | 地域福祉推進部 ボランティアグループ         |
| 部会員 | 林 共 見   | 地域福祉推進部 武庫むすぶグループ          |
| 部会員 | 石 原 萌々香 | 安心サポート部 権利擁護グループ           |
| 部会員 | 中 村 由 貴 | 安心サポート部 子ども・家庭支援グループリーダー   |

## 地域福祉推進計画策定委員会開催状況

| 回     | 開催日                 | 議 題                                                                                                                                                                                                        |
|-------|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 1 回 | 2021(R3)年 6 月 18 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員紹介及び委嘱状交付</li> <li>・ 尼崎市社会福祉協議会地域福祉推進計画策定委員会設置要綱について</li> <li>・ 新地域福祉推進計画の策定について</li> <li>・ 現地域福祉推進計画の概要と取り組み状況について</li> <li>・ 新地域福祉推進計画の検討内容（案）について</li> </ul> |
| 第 2 回 | 2021(R3)年 8 月 26 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域福祉推進計画体系図について</li> <li>・ 主な取り組み項目について</li> </ul>                                                                                                                |
| 第 3 回 | 2021(R3)年 10 月 29 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域福祉推進計画（案）でめざすこと</li> <li>・ 地域福祉推進計画（案）基本目標 1 について</li> <li>・ 地域福祉推進計画（案）基本目標 2 について</li> <li>・ 地域福祉推進計画（案）基本目標 3 について</li> </ul>                                |
| 第 4 回 | 2022(R4)年 1 月 28 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域福祉推進計画 素案について</li> </ul>                                                                                                                                        |

## 地域福祉推進計画策定委員会専門部会開催状況

| 回     | 開催日                | 議 題                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 1 回 | 2021(R3)年 6 月 22 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己紹介</li> <li>・ 尼崎市社会福祉協議会 地域福祉推進計画 策定スケジュールについて</li> <li>・ 現地域福祉推進計画の概要と取り組み状況について</li> <li>・ 新地域福祉推進計画策定の検討内容（案）について</li> <li>・ 地域福祉推進計画の体系図について</li> <li>・ 新地域福祉推進計画の課題と検討項目について</li> </ul> |
| 第 2 回 | 2021(R3)年 7 月 6 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本目標 1 について</li> </ul>                                                                                                                                                                         |
| 第 3 回 | 2021(R3)年 7 月 19 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本目標 1 について</li> <li>・ 基本目標 2 について</li> <li>・ むすぶについて</li> </ul>                                                                                                                               |
| 第 4 回 | 2021(R3)年 7 月 30 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加入促進について</li> <li>・ 地域福祉推進計画体系図について</li> <li>・ 主な重点項目について</li> </ul>                                                                                                                           |
| 第 5 回 | 2021(R3)年 8 月 13 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域福祉推進計画体系図について</li> <li>・ 主な取り組み項目について</li> </ul>                                                                                                                                             |
| 第 6 回 | 2021(R3)年 8 月 23 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域福祉推進計画体系図について</li> <li>・ 主な取り組み項目について</li> </ul>                                                                                                                                             |

|        |                     |                                                                                                                                  |
|--------|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 7 回  | 2021(R3)年 9 月 22 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本目標 1 について</li> <li>・ 基本目標 2 について</li> <li>・ 基本目標 3 について</li> </ul>                    |
| 第 8 回  | 2021(R3)年 10 月 8 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体系図について</li> <li>・ 基本目標 1 について</li> <li>・ 基本目標 2 について</li> <li>・ 基本目標 3 について</li> </ul> |
| 第 9 回  | 2021(R3)年 11 月 16 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体系図について</li> <li>・ 基本目標 1 について</li> <li>・ 基本目標 2 について</li> <li>・ 基本目標 3 について</li> </ul> |
| 第 10 回 | 2021(R3)年 12 月 16 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体系図について</li> <li>・ 基本目標 1 について</li> <li>・ 基本目標 2 について</li> <li>・ 基本目標 3 について</li> </ul> |

社会福祉法人  
尼崎市社会福祉協議会

〒660-0828

尼崎市東大物町1丁目1-2 尼崎市社協会館内  
TEL.06-6489-3550 FAX.06-6489-3526

メールアドレス info@amasyakyo.jp

ホームページ <http://amasyakyo.jp>



ホームページQR



社会福祉協議会アスコット  
あかはねちゃん

この冊子の発行には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。